このたびは、スクラム ワゴン/バン を お買い求めいただきありがとうございます。

で使用の前に、必ずこの取扱書をお読みください。 お車の取扱いを誤ると、事故や故障の原因となります。本書をよく お読みいただき、いつまでも快適なカーライフをお楽しみください。

- 本書は、お車の取扱いや万一のときの処置などについて説明しています。
- 「**必読! 安全なドライブのために**」は、とくに重要な項目です。 しっかりお読みください。
- 本書では、次の記号を使用しています。

▲警告 、 **▲注意** 、 **注記** 、 **(mアドバイス** は、 とくにしっかりお読みください。

▲警告	取扱いを誤ると、死亡または重大な傷害につながる おそれがある内容です。
▲注意	取扱いを誤ると、傷害につながるおそれがある内容 です。
注記	取扱いを誤ると、物的損害につながるおそれがある 内容です。
√m アドバイス	お車を使ううえで知っておいていただきたい、また は知っておくと便利な内容です。

- ・イラストの中で「 ★ 」の記号があるときは、図示されている 行為の禁止を示しています。
- 保証や点検整備については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。 本書とあわせてお読みください。
- 本書とメンテナンスノートは、常にお車の中に保管してください。
- お車をおゆずりになるときは、次に所有されるかたのために、本書とメンテナンスノートをお車につけてお渡しください。
- 限定車の装備品や、マツダ販売店で取り付けた装備品などについては、装備品 に添付されている取扱説明書をお読みください。
- 車の仕様などの変更により、本書の内容やイラストとお車が一致しない場合が あります。あらかじめご了承ください。
- ご不明な点は、担当セールススタッフにおたずねください。

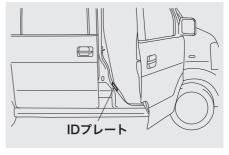
ご愛車に関するメモ

記入される記号・番号は、車検証、IDプレートをご覧ください。

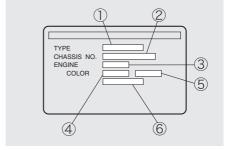
ご愛	車 の メ モ
車名および 車両型式	車名:
	型式:
車台番号	
エンジン型式	K6A型
車体色記号	
営業機種記号	
トランス	□マニュアルトランスミッション
ミッション	□オートマチックミッション
ナンバープレート (車両番号)	
ご購入年月日	年 月 日

IDプレート

運転席ドアを開いた所に貼付してあります。



68H00011



68H00022

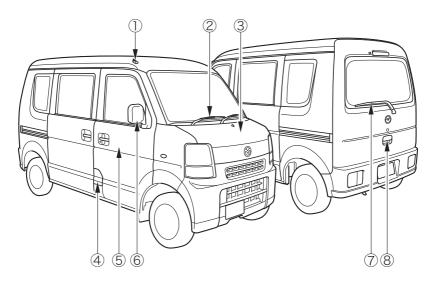
- ①車両型式
- ②車台番号
- ③エンジン型式
- ④車体色記号
- ⑤車体色と内装色の組み合わせ コード
- ⑥営業機種記号(補助記号)

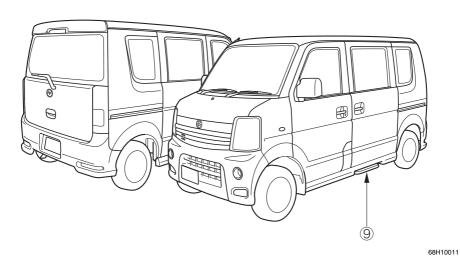
- 1. イラストもくじ
- 2. 必読! 安全なドライブのために
- 3. 運転装置の取扱い
- 4. 安全装備の取扱い
- 5. 快適装備の取扱い
- 6. お車との上手なつきあいかた
- 7. 万一のとき
- 8. サービスデータ
- 9. さくいん

1		イラストもくじ ······ 1-2
2		必読! 2-2
64 68 70 71	スイッチの使いかた ··· 3-58 エンジン始動 ··· 3-64 パーキングブレーキ ··· 3-68 チェンジレバー ··· 3-70 オートマチック車 ··· 3-71 パートタイム4WD車 ·· 3-80	警報装置 · · · · · · · · 3-19 各部の開閉 · · · · · · · 3-22 シートの調節 · · · · · · · 3-31 各部の調節 · · · · · · · 3-45
4		シートベルト · · · · · · · · 4-2 SRSエアバッグ · · · · · 4-15 ABS · · · · · · · · 4-22
5		エアコン、ヒーター ····· 5-2 オーディオ ····· 5-14 室内装備 ····· 5-17
6		お手入れ ・・・・・・・・ 6-2 寒冷時の取扱い ・・・・・ 6-9
17 7	電球切れ ····· 7-17 オーバーヒート ···· 7-17 その他 ···· 7-19	バッテリーあがり ・・・・・・ 7-11
8		サービスデータ ・・・・・・ 8-1
9		さくいん ・・・・・・・・・・・ 9-1

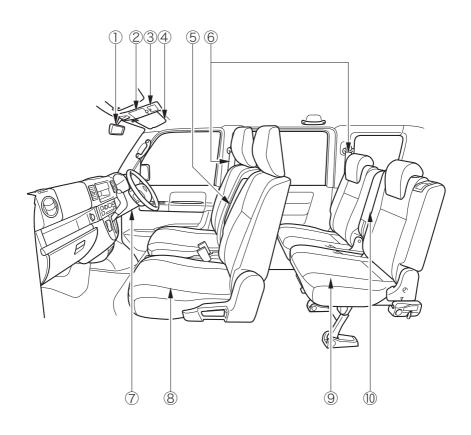
イラストもくじ

お車のタイプにより、異なる装備も含んでいます。



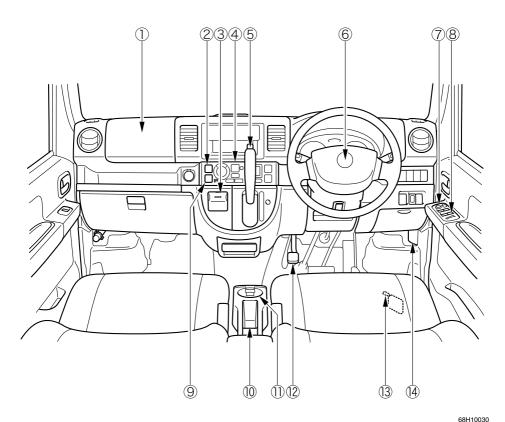


Dアンテナ ····· 5-14	⑤ドア	3-3
②フロントワイパー・・・・・・ 3-62	⑥ドアミラー ・・・・・・・・・・・・	3-45
③ボンネット ・・・・・・・・・・・・ 3-27	⑦リヤワイパー ・・・・・・・・・・・・	3-62
④燃料給油口	⑧バックドア ・・・・・・・・・・・・	3-4
(フューエルリッド) 3-30	⑨オートステップ ・・・・・・・・・	3-16

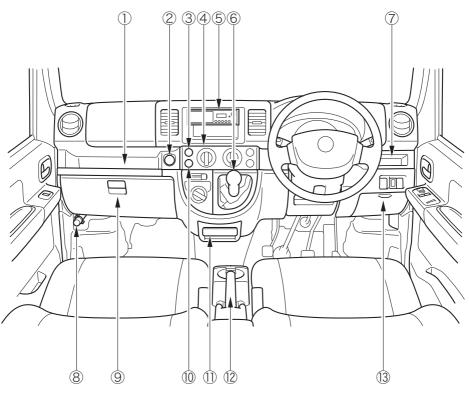


	68H10021
①ルームミラー ・・・・・・・・・・ 3-45	⑥シートベルト ・・・・・・・ 4-2
②オーバーヘッドコンソール ・・ 5-18	⑦チルトステアリング ・・・・・・ 3-47
③室内灯 5-17	⑧前席シート ・・・・・・・ 3-31
④サンバイザー ・・・・・・ 5-19	⑨後席シート ・・・・・・・ 3-34
⑤前席アームレスト・・・・・・ 5-25	⑩後席アームレスト ・・・・・・ 5-26

お車のタイプにより、異なる装備も含んでいます。

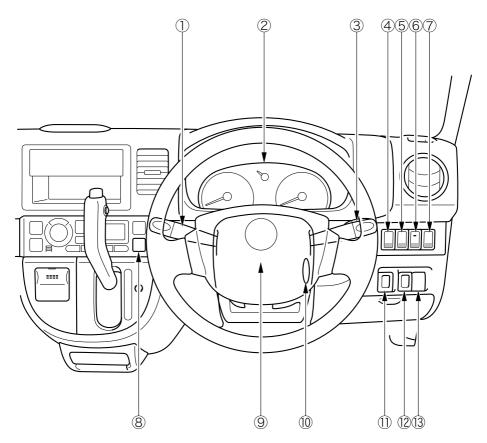


①助手席SRSエアバッグ ···· 4-18	⑨リヤデフォッガースイッチ
②非常点滅表示灯スイッチ ・・ 3-61	3-63
③インパネセンターポケット・・・ 5-23	ドアミラーヒータースイッチ
④フルオートエアコン 5-7	3-47
⑤セレクトレバー	⑩センターコンソールトレイ ・・ 5-25
オートマチック車・・・・・・・ 3-71	⑪カップホルダー(前席) ・・ 5-24
⑥ホーンスイッチ 3-63	⑫パーキングブレーキ
⑦ドアミラー角度調節/格納	(ペダル式) 3-69
スイッチ・・・・・・ 3-45	③フューエルリッドオープナー・・・ 3-30
⑧パワーウインドースイッチ・・・ 3-22	⑭ボンネットオープナー ・・・・ 3-27



	68H10041
①インパネトレイ・・・・・・ 5-21	⑨グローブボックス ・・・・・・・ 5-20
②アクセサリーソケット ・・・・ 5-21	⑩リヤデフォッガースイッチ
③非常点滅表示灯スイッチ ・・ 3-61	3-63
④マニュアルエアコン 5-3	ドアミラーヒータースイッチ
⑤オーディオ 5-14	3-47
⑥チェンジレバー	①カードケース ・・・・・・・・ 5-22
マニュアル車 3-70	灰皿5-22
クラッチスタートシステム	⑫パーキングブレーキ
マニュアル車・・・・・・・・ 3-66	(レバー式) 3-68
⑦インパネポケット 5-23	⑬リッド付インパネポケット ・・・ 5-23
8 発炎筒 ······ 7-19	

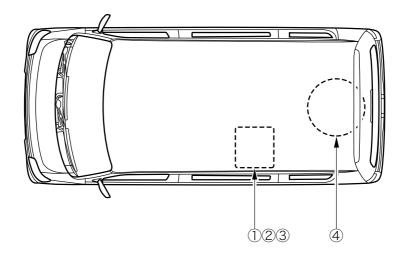
お車のタイプにより、異なる装備も含んでいます。



68H10050

①ワイパー/ウォッシャー	⑦パワー
スイッチ・・・・・・ 3-61	(運転
②メーター ・・・・・・・・ 3-48	⑧リヤヒ
警告灯 · · · · · · · · · 3-51	9運転席
表示灯 · · · · · · · · · 3-51	⑩エンシ
③ライトスイッチ ・・・・・・・・ 3-58	①パワー
方向指示器スイッチ ・・・・・ 3-60	メイン
④パワースライドドアスイッチ	12フォク
(助手席側) · · · · · · · · 3-14	4WD.
⑤オートステップスイッチ・・・ 3-16	⑬光軸訓
⑥シートヒータースイッチ	
(運転席のみ) 3-33	

⑦パワースライドドアスイッチ	_
(運転席側) · · · · · · · · · · ·	3-14
⑧リヤヒータースイッチ ・・・・	5-12
⑨運転席SRSエアバッグ・・・・	4-17
⑩エンジンスイッチ ・・・・・・・	3-64
①パワースライドドア	
メインスイッチ ・・・・・・・・	3-12
⑫フォグランプスイッチ ・・・・	3-64
4WDスイッチ	3-80
⑬光軸調整ダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3-59



68H10060

①ジャッキハンドル・・・・・・・	7-2
②ホイールナットレンチ・・・・・	7-2
③ジャッキ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7-2
④応急用スペアタイヤ・・・・・・	7-3

MEMO

とくに重要な項目ですのでしっかりお読 みください。

安全運転が第一

お車に装備されているシートベルト、SRS エアバッグシステム、ABS(アンチロックブレーキシステム)などの安全装備も、乗員の安全確保には限界があります。法定速度を厳守するとともに、スピードを控えめにして安全運転に心がけてください。

出発の前に(お車の確認) ・・・・・・・・・・・・・	2-2
荷物を積むときは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2-3
お子さまを乗せるときは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2-4
運転席に座って・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2-9
エンジンをかけるときは・・・・・・・・・・・	2-10
走行するときは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2-11
駐車するときは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2-16
給油するときは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2-19
オートマチック車を運転するときは・・・・・・・	2-20
オートステップ装備車の正しい使いかた・・・	2-21
パワースライドドア装備車の	
正しい使いかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2-22
SRSエアバッグ車を運転するときは ······	2-24
4WD車を運転するときは ・・・・・・・・・・・・・・・	2-25
ターボ車を運転するときは・・・・・・・・・・・・・・	2-26
こんなことにも注意して ・・・・・・・・・・・・・・・・・	2-26
エコドライブをしましょう ・・・・・・・・・・・	2-29

(出発の前に(お車の確認)

日常点検を確実に



68H200

車の走行距離、使用状態から判断した 適切な時期に実施してください。

→ メンテナンスノート (日常点検)

こんな症状に気づいたときは



68H20020

▲ 注意

次のような場合はマツダ販売店で点 検を受けてください。

- ●地面に油や液の漏れたあとが残っ ている
- ●ブレーキ液が不足している
- ●いつもと違うにおい、音、振動が ある
- ●ハンドルやブレーキを操作したと きの感じがいつもと違う

タイヤの空気圧をチェック

- 定期的に点検・調整してください。 この車の指定空気圧は、運転席ドア の開口部に貼付してある「空気圧ラ ベル」で確認できます。
 - → メンテナンスノート (日常点検)

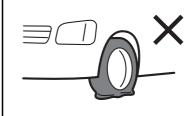


68H20030

● 空気圧が不足したまま走行すると、 タイヤの両端が摩耗する原因となり ます。また、燃費が悪くなります。

A警告

空気圧が極端に低いまま走行すると、タイヤがバースト(破裂)して 思わぬ事故につながるおそれがあり ます。



68H20040

▲ 注意

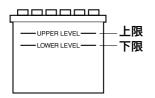
指定空気圧を守らないと、車の性能が十分に発揮できず、次のようなことが起きるおそれがあり、思わぬ事故につながったり、故障の原因となったりするおそれがあります。

- ●走行安定性が悪化する
- ブレーキをかけたときの制動距離 が伸びる
- ABS(タイプ別装備)の場合、正確なタイヤ回転速度が検出できなくなって正常に作動しなくなる
- ●4WD車では、その性能が十分に発揮できないばかりでなく、駆動系部品に悪影響をあたえる

バッテリーの液面を点検する

液面が下限より下にあるときは、バッテリー補充液を上限まで補給してください。バッテリー液が不足すると、バッテリーの寿命を縮めるおそれがあります。

- ・液面が見づらいときは、バッテリー を取り外して点検してください。取 り外しかたについては、マツダ販売 店にご相談ください。
 - **→ メンテナンスノート (日常点検)**



68H20050

▲ 警告

バッテリー液が不足すると、発熱や 爆発のおそれがあります。

排気管も点検



68H20060

排気管に穴やひび割れがないか、とき どき点検してください。

▲ 警告

排気管に漏れがあると、排気ガスが 車内に侵入して一酸化炭素中毒のお それがあります。異常を感じたとき は、マツダ販売店で点検を受けてく ださい。

荷物を積むときは

荷物の積み過ぎは、車体や走行に悪影 響をおよぼします。

車種	最大積載量	
	2名乗車	4名乗車
バンタイプ車	350 kg	250 kg

※最大積載量はお車の状態により異なります。

▲警告

●燃料や薬品が入った容器、スプレー 缶などを車内に持ち込まないでくだ さい。引火や爆発のおそれがありま す。



68H2007

- ●重い荷物は、かたよりのないように 均等に積んでください。荷物のかた よりがあると、カーブなどで横転す るおそれがあります。
- ●インパネの上に物を置かないでください。運転視界をさまたげたり、発進時や走行中に動いたりして、安全運転のさまたげになるおそれがあります。また、万一の事故で助手席SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、助手席SRSエアバッグがふくらんだときにとばされたりして、けがのおそれがあります。



▲注意

●車内に荷物を積み重ねないでください。視界のさまたげになるばかりでなく、急ブレーキで荷物が飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



68H2008

●動物を乗せるときは、動きまわらないように注意してください。運転のさまたげになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながったりするおそれがあります。

お子さまを乗せるときは

いつもより慎重に安全を確保 し、スピードを控えめに安全 運転を心がけましょう。

お子さまは後席に乗せる



できるだけ大人が隣にすわり、お子さまを見守ってください。助手席に乗せるとお子さまの不意の動作が気になったり、お子さまがいたずらしたりして、運転のさまたげになるおそれがあります。

▲ 警告

- ●後席のお子さまが走行中にドアを開けないように、チャイルドプルーフをご使用ください。
 - → 3-8ページ

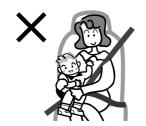
(チャイルドプルーフ)

●やむをえず助手席に乗せるとき(お子さま用シートが必要な場合を除く)は、助手席をいちばん後ろに下げてください。助手席を前に出していると、助手席 SRS エアバッグがふくらんだときの衝撃でお子さまがけがをするおそれがあります。

お子さまもシートベルトを着用

▲警告

●ひざの上にお子さまを抱かないでください。しっかり抱いていても、衝突のときなどに十分に支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。



68H20110

●必ずシートベルトを着用させてくだ さい。

- ●一本のシートベルトを二人以上で使用しないでください。
- ●シートベルトが首やあごにかかるときや、腰骨にかからないようなお子さまには、チャイルドシートやジュニアシートをご使用のうえ、後席に乗せてください。シートベルトを正しく使用しないと、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。



68H20120

●首がすわっていないお子さま、ひと りすわりのできないお子さまには、 ベビーシートをご使用のうえ、後席 に乗せてください。

シートベルトで遊ばせない



68H20130

⚠警告

お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。ベルトを身体に巻きつけるなどして遊んでいるときに、 窒息など重大な傷害を受けるおそれがあります。万一の場合は、ハサミでベルトを切断してください。

お子さま用シートの使用について

▲警告

助手席には、お子さま用シートが必要なお子さまを乗せないでください。後ろ向き前向きにかかわらず、お子さま用シートを適切に取り付けることができません。



■ 一体式後席シート車

- 一体式後席シート車の場合、お子さま 用シートが必要なお子さまを乗せな いでください。いずれの席でもお子さ ま用シートを適切に取り付けること ができません。
- 助手席サンバイザーの両面には、次 の警告ラベルが貼られています。



▲ 警告

SRS 助手席エアバッグ

このシートに、後ろ向きのチャイルドシートを 取り付けないでください。

エアバッグの衝撃により、死亡または重大な 傷害に至るおそれがあります。

チャイルドシートの取り付け可否については、取扱説明書に記載の適合表でご確認ください。

- 詳しくは、取扱説明書をお読みください -

※警告ラベルで使用される「チャイルドシート」は、本書で使用される「お子さま用シート」のことを表わします。

■ 分離式後席シート車

- お子さま用シートは、助手席で使用することができません。後席に取り付けてください。
- ◆お子さま用シートは、お子さまの年齢や体格に合った適切なものを選んでください。
 - → 4-9 ページ (お子さま用シート の選択について)
- ●助手席サンバイザーの両面には、次 の警告ラベルが貼られています。



▲ 警告

SRS 助手席エアバッグ

このシートに、後ろ向きのチャイルドシートを 取り付けないでください。

エアバッグの衝撃により、死亡または重大な 傷害に至るおそれがあります。

チャイルドシートの取り付け可否については、 取扱説明書に記載の適合表でご確認ください。

- 詳しくは、取扱説明書をお読みください -

85K20020

※警告ラベルで使用される「チャイルドシート」は、本書で使用される「お子さま用シート」のことを表わします。

- この車の後席には、次のタイプのお 子さま用シートを取り付けることが できます。
 - シートベルトで固定するタイプの お子さま用シート
 - → 4-7ページ (お子さま用シート のシートベルトによる固定)
 - ワゴンタイプ車の場合、ISOFIX タイプのお子さま用シート
 - → 3-41ページ(ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具)
- お子さま用シートの種類によっては、この車に正しく取り付けられないものがあります。使用する前に、お子さま用シートに付属の取扱説明書をよく読み、取り付け方法や取扱いなどについてご確認ください。
- お子さま用シートには、マツダ純正 品をお勧めします。詳しくは、マツ ダ販売店にご相談ください。
- お子さま用シートを使用していて も、お子さまの安全の確保には限界 があります。スピードは控えめにし て、安全運転に心がけてください。

⚠警告

- ●走行する前に、お子さま用シートが 確実に固定され、ガタつき、ゆるみ などがないことを確認してください。
- ●お子さま用シートを取り付けたシートの背もたれを倒さないでください。お子さま用シートが適切に固定されなかったり、衝突したときなどに体がシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ●万一の事故でお子さま用シートに強い衝撃を受けた場合は、外観に異常がなくても再使用しないでください。 いざというときに性能を十分発揮できないおそれがあります。

▲注意

お子さま用シートは、使用していないときでもしっかりとシートに取り付けるか、荷室に収納してください。シートから取り外したまま客室内に放置すると、ブレーキをかけたときなどに乗員や物にあたるおそれがあります。

ドアやウインドーの開閉、シートの調節は大人が行なう

お子さまの手足や首をはさまないよう に、大人が開閉や調節を行なってくだ さい。

- → 2-22ページ (パワースライドドア 装備車の正しい使いかた)
- → 3-10ページ (スライドドアクローザー)
- → 2-21ページ (オートステップ装備 車の正しい使いかた)



⚠ 警告

パワーウインドー(タイプ別装備)は、お子さまが自分で操作しないように、ウインドーロックスイッチをご使用ください。

→ 3-23ページ (ウインドーロックスイッチ)

窓から顔や手を出さない



68H20160

68H220170

⚠警告

お子さまが手や顔などを出さないように注意してください。急ブレーキで重大な傷害を受けたり、転落したりするおそれがあります。また、車外の物などにあたって重大な傷害を受けるおそれがあります。

車から離れるときは

▲警告

車から離れるときは、お子さまだけ を車内に残さないでください。

- ●お子さまのいたずらで、車の発進 や火災などの事故を起こすおそれ があります。
- ●炎天下の車内は高温になり、お子さまが熱射病にかかるおそれがあります。エアコンをつけていても、車内にお子さまだけを残さないでください。

お子さまを荷室に乗せない



68H20180

▲ 警告

荷室は人が乗る構造になっていません。お子さまを乗せないでください。 急ブレーキなどで思わぬ事故につながるおそれがあります。

道路上での停車中も、お子さまを荷 室で遊ばせないでください。

運転席に座って

ハンドル、シート、ミラーの 調節は走行前に



68H20190

▲警告

- ●走行中にハンドルの調節(タイプ別装備)やシートの調節、ルームミラーやドアミラーの調節をしないでください。ハンドル操作を誤ったり、前方不注意となったりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - → 3-47ページ (チルトステアリング)
 - → 3-31ページ(前席シート)
 - → 3-45ページ (ルームミラー、ドアミラー)
- ●背もたれを必要以上に倒さないでください。ヘッドレストやシートベルトが本来の機能を発揮できません。

シートベルトは正しく着用



65J106

▲警告

- ●走行前にシートベルトを正しく着用 してください。
- ●助手席や後席の同乗者全員にシート ベルトを着用させてください。
 - **→ 4-2ページ (シートベルト)**

運転席の足元付近に物を置か ない

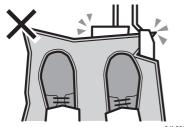


64L20030

▲ 警告

空き缶などを足元に放置しないでください。ペダル操作ができなくなって思わぬ事故につながるおそれがあります。

車に合ったフロアマットを 適切に使用する



641.20040

▲ 警告

ペダル操作のさまたげになって思わ ぬ事故につながるおそれがあります ので、次のことをお守りください。

- ●足元の形に合わないフロアマット を使わない
- ●フロアマットを重ねて敷かない
- ●フロアマットは固定具などで確実 に固定する

マツダ純正フロアマットの例



68H2063

※運転席および助手席側のフロア (カーペット下)には、マツダ純正 フロアマットを固定するための固 定具(ホック)があります。

_ √lm アドバイス -

この車専用のマツダ純正フロアマットのご使用をおすすめします。

エンジンをかけるときは

換気が悪いところでエンジン をかけたままにしない



68H20230

▲ 警告

- ●車庫の中など、換気が悪いところで エンジンをかけたままにすると、一 酸化炭素中毒のおそれがあります。
- ●エンジンをかけた状態で、バックドアを開けたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入します。
- ●車内で排気ガスのにおいがしたときは、すべての窓を全開にし、エアコン、ヒーターの内外気切替えを外気導入に切り替え、ファンを強にして換気します。換気してもにおいが消えないときは、すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。

窓越しのエンジン始動はしない



68H20240

運転席にすわり、ブレーキペダルを踏んでからエンジンを始動してください。

⚠警告

窓越しのエンジン始動はしないでく ださい。思わぬ事故につながるおそ れがあります。

→ 3-64ページ

(エンジンのかけかた)

走行するときは

周囲をよく確認してから発進する



68H20250

▲ 注意

- ●周囲の安全をしっかりと確認してか ら発進してください。
- ●バックミラーだけでは後方の安全が 十分に確認できません。車を後退さ せるときは、車からおりて自分の目 で後方を確認してください。

エンジン始動直後の空ぶかし、急加速をしない



68H20260

注記

エンジンが暖まっていないので、暖 機が完了するまでは空ぶかしや急加 速をしないでください。エンジン故 障の原因となります。

携帯電話やカーナビゲーションなどに気を取られないで



85K2114

▲ 警告

- ●運転者は、走行中に自動車電話や携帯電話などを使用しないでください。 会話や電話の操作に気を取られ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ●運転者は、走行中にテレビを見たり、カーナビゲーションやオーディオなどを操作したりしないでください。前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルの中に手を入れてス イッチなどを操作しない



▲警告

ハンドル操作のさまたげになり、思 わぬ事故の原因となります。

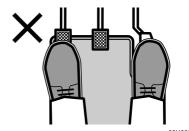
ブレーキペダルに足をのせた まま走行しない

▲ 注意

ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキ装置が過熱したりして、効きが悪くなるおそれがあります。

クラッチペダルに足をのせた まま走行しない

マニュアル車



68H20290

▲注意

クラッチが早く摩耗したり過熱したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

必要以上に長い時間、半クラッチ操作 を行なわないでください。

走行中はニュートラルにしない



68H20300

▲注意

緊急時以外は、走行中にチェンジレバーまたはセレクトレバーをニュートラルにしないでください。エンジンブレーキがまったく効かないため、思わぬ事故の原因となります。

こんなときどうする?

●警告灯が点灯したら?

ただちに安全な場所に停車して処置 をしてください。

→ 3-51ページ (警告灯・表示灯の見かた)

●床下に強い衝撃を受けたら?

ただちに安全な場所に停車し、ブレーキ液や燃料が漏れていないか、排気管などに異常がないか点検してください。異常が見つかったときは、マツダ販売店にご連絡ください。

● タイヤが突然パンクしたら?

ハンドルをしっかり握り、慎重にブレーキをかけて徐々にスピードを落とし、安全な場所に停車してください。

→ 7-2ページ (パンク)

ブレーキペダルが重く感じたら?

車には、エンジンの負圧を利用して ブレーキペダルを踏む力を軽減する ブレーキ倍力装置がついています。 エンジンの負圧が低下していると、 ブレーキペダルを踏んだときに重く 感じることがありますが、異常では ありません。そのままペダルを強く 踏んでください。

長い下り坂ではエンジンブ レーキを使用する

長い下り坂ではエンジンブレーキ (※)を併用してください。アクセルペダルから足を離し、走行速度に合わせて、次のようにします。

■ マニュアル車

ギヤを1速ずつシフトダウンします。

→ 3-70ページ

(チェンジレバーの操作)

■ 3速オートマチック車

セレクトレバーを[2] または[L] にシフトダウンします。

■ 4速オートマチック車

オーバードライブ(O/D)スイッチを OFF にするか、セレクトレバーを $\boxed{2}$ または $\boxed{\square}$ にシフトダウンします。

→ 3-71ページ

(セレクトレバーの操作)

※エンジンブレーキとは、走行中にアクセルペダルから足を離したときに起こるブレーキ効果のことをいいます。エンジンブレーキは低速ギヤほどよく効きます。



68H20320

▲警告

ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキ装置が過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。

横風が強いときは



68H20330

トンネルの出口や橋の上、大型トラックが通り過ぎるときなどに、横風を受けて車が横に流されることがあります。あわてずハンドルをしっかり握り、徐々にスピードを落として進路を立て直してください。

草の生い茂った場所は走行しない



▲警告

草などが駆動系部品や排気管にからまると、駆動装置が損傷したり、火災につながったりするおそれがあります。

滑りやすい路面ではゆっくり 走る



▲注意

濡れた路面や凍結路、積雪路などでは、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキなど「急」のつく運転はしないでください。スリップ事故につながるおそれがあります。

水たまりを高速で通り抜けない



68H20360

▲ 注意

水たまりや濡れた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることがあります。これをハイドロプレーニング現象といい、ハンドルやブレーキがまったく効かなくなって思わぬ事故につながるおそれがあります。

水たまりを走行したあとや洗車後はブレーキの効きを確認



68H20370

- 周囲の安全を確かめてから低速でブレーキペダルを数回踏み、ブレーキの効きを確かめてください。
- ブレーキの効きが悪いときは、効きが回復するまで低速で繰り返しブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキ装置のしめりを乾かしてください。

冠水した場所は走行しない



68H20380

万一、冠水した場所を走行したときは、ブレーキの効きを確かめながら安全な場所に停車し、マツダ販売店にご連絡ください。また、次の項目などについて点検を受けてください。

- ブレーキの効き具合
- エンジン、トランスミッション、デファレンシャルなどのオイル量および質の変化(オイルが白濁している場合は、水が混入していますのでオイル交換が必要です)
- ◆ベアリング、ジョイント部などの潤 滑不良

注 記

冠水した場所や、深い水たまりを走行しないでください。エンスト、電 装品のショート、エンジン破損など の原因になります。

スタック(立ち往生)したと きは

- ぬかるみや砂地などで、駆動輪が空 転して脱出できなくなることをス タックといいます。
- ●前進と後退を繰り返すときは、駆動 装置などが損傷するおそれがあるた め、次のことに注意してください。
 - オートマチック車 は、セレクト レバーを確実に入れてからアクセ ルを軽く踏んでください。
 - 数回行なっても脱出できないとき は、操作を中止してください。
- タイヤの下に石や木を入れると脱出 しやすくなります。
- パートタイム4WD車は、2WDの状態 でスタックしたときに4WDへ切り替 えると脱出しやすくなります。
 - → 3-80ページ (2WD54WDの切替え操作)

脱出しようとする前に、周囲の安全 を十分に確認してください。勢いよ く発進して事故を起こすおそれがあ ります。

注記

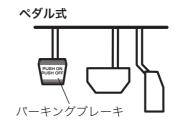
タイヤを高速で空転させないでくだ さい。タイヤが異常に過熱して破損 したり、駆動装置が損傷するおそれ があります。



駐車するときは

パーキングブレーキをしっか りとかけて

オートマチック車



68H20401

セレクトレバーを P に入れてくだ さい。

▼ニュアル車



チェンジレバーを R (リバース) ま たは1速に入れてください。

- 坂道で駐車するときは、次のことを お守りください。
 - パーキングブレーキをしっかり とかけ、車が動き出さないこと を確認してください。
 - マニュアル車は、下り坂では チェンジレバーをR、上り坂で は1速に入れてください。

3 市販品の輪止めや石などでタイヤを固定し、車が動き出さないようにしてください。

▲ 警告

急な坂道には駐車しないでください。 無人で車が動き出すなど、思わぬ事 故につながるおそれがあります。

車を移動するときはエンジン をかけて

▲ 注意

坂道を利用して惰性で車を移動しないでください。ハンドルをまわすときやブレーキペダルを踏むときに強い力が必要となって、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

エンジンをかけたまま仮眠し ない



▲警告

- ●周囲の状況や風向きで排気ガスが車 内に侵入し、一酸化炭素中毒のおそ れがあります。
- ●無意識にセレクトレバーやチェンジレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- ●無意識にアクセルペダルを踏み続けると、エンジンや排気管が過熱して 火災のおそれがあります。

燃えやすい物の近くに駐車し ない



68H20430

▲ 警告

枯れ草、紙くず、ベニヤ板などの可 燃物の近くに車を止めないでくださ い。排気管や排気ガスが高温になる ため、火災のおそれがあります。

車から離れるときはエンジン を止めてドアを施錠



68H20440

少しの間でも車から離れるときは、現金や貴重品を車内に放置しないでください。 盗難のおそれがあります。

▲ 警告

エンジンをかけたまま車から離れないでください。火災や盗難など思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない



68H20450

注記

駐車するときや車庫入れのとき、ハンドルをいっぱいにまわして力をかけた状態を長く続けないでください。パワーステアリング装置が損傷する原因となります。

車内にパソコンや携帯電話などを放置しない

盗難にあったり、水分や湿気または温度変化などにより故障したりするおそれがあります。

ライターやメガネなどを放置 しない



68H20460

▲警告

- ●炎天下で駐車するときは、車内にライターやスプレー缶、プラスチック製品(メガネやカード、CDケースなど)や炭酸飲料缶を放置しないでください。車内が高温になるため、ライターやスプレー缶の自然発火や爆発による火災、メガネやカード、CDケースなどの変形やひび割れ、炭酸飲料缶の破裂を起こすおそれがあります。
- ●操作部が露出しているライターやスプレー缶をグローブボックスや小物入れなどに入れたり、床やシートのすき間に落としたままにしたりしないでください。荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して火災につながるおそれがあります。

給油するときは

→ 3-30ページ (燃料給油口)

火気にきをつけて



▲警告

必ず次のことをお守りください。

- ●エンジンを止めてください。
- ●給油中はドアや窓を閉めてください。
- ●ガソリンは引火性が高いため、タ バコなどの火気は厳禁です。

セルフスタンドで給油するときは

▲ 警告

セルフスタンドで給油するときは必ず次のことをお守りください。

●フューエルキャップを開ける前に、車体または給油機の金属部分に手を触れて、身体の静電気(※)を除去してください。身体に静電気を帯びていると、放電による火花で燃料に引火し、やけどのおそれがあります。

また、給油中は車内にもどらない でください。再び帯電するおそれ があります。

- ●給油口には、静電気除去を行なった方以外の人を近づけないでください。
- ※空気が乾燥すると、身体に多くの 静電気が帯電します。また、かさ ね着をすると、繊維の摩擦により 静電気が発生します。とくに乾燥 する季節は注意してください。
- ●フューエルキャップはゆっくりとゆるめ、空気が抜ける音が止まったらキャップを開けます。急に開けると燃料タンク内の圧力が急激に抜け、燃料が吹き出すおそれがあります。
- ●給油ノズルは確実に給油口へ差し 込んでください。給油ノズルが確 実に差し込まれていないと、オー トストップの作動が遅れ、燃料が 吹きこぼれるおそれがあります。
- ◆給油ノズルのレバーを止まるところまで確実に引いてください。
- ●給油ノズルのオートストップ作動後は、追加給油しないでください。オートストップ作動後に追加給油すると、燃料があふれ出るおそれがあります。
 - ※給油機によっては、早期に自動停止機能が作動して給油できない場合があります。スタンド従業員の指示に従ってください。

▲ 警告

- ●燃料をこぼさないようにしてください。こぼれた場合は、ただちに柔らかい布などでふき取ってください。 火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。また、そのまま放置すると、塗装のしみ、変色、ひび割れの原因となります。
- ●給油後は、給油ノズルを確実にもとの位置にもどし、フューエルキャップをしっかりと閉めてください。 キャップが確実に閉まっていないと、燃料が漏れたり、火災が発生したりするおそれがあります。
- ●燃料は人体に有害な物質を含んでいます。気化した燃料を吸い込まないでください。
- ●その他、スタンドに掲示されている 注意事項をお守りください。

無鉛ガソリン以外は使用しない

注記

有鉛ガソリンや粗悪ガソリン、その他の燃料(アルコール系、軽油など)を使用すると、エンジンや燃料配管系などに悪影響をおよぼします。

オートマチック車を 運転するときは

オートマチック車には特有の操作上の注意があります。**3-71ページ**の「オートマチック車」もあわせてお読みいただき、正しい取扱いをしてください。

クリープ現象に注意して

エンジンをかけて停車しているとき、セレクトレバーが[P]N以外に入っていると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくり動きます。これをクリープ現象といいます。

▲ 注意

- ●セレクトレバーを P N 以外に入れているときは、ブレーキペダルをしっかり踏んでください。
- ●エンジン始動直後やエアコン作動時は、クリープ現象が強くなることがあります。とくにしっかりブレーキペダルを踏んでください。

R (リバース) ポジション 警告ブザー

セレクトレバーを \mathbb{R} に入れると室内で警告ブザーが鳴り、セレクトレバーが \mathbb{R} に入っていることを運転者に知らせます。

_ ╣ﺳ アドバイス ―

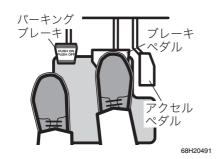
R (リバース) ポジション警告ブザーは、車外の人に車の後退を知らせるためのものではありません。

ペダルの踏み間違いに注意

▲ 警告

アクセルペダルとブレーキペダルを 踏み間違えると、思わぬ事故につな がります。 ペダルの踏み間違いを防ぐため、エンジンをかける前にアクセルペダルとブレーキペダルを実際に足で踏んで、位置を確認してください。

ブレーキペダルは右足で踏む



左足では適切なブレーキ操作ができません。ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけてください。

セレクトレバーを操作すると きは

- 前進と後退を繰り返すときなどは、 セレクトレバーをR に入れたこと を忘れることがあります。車を後退 させたあとは、すぐにR からN に入れる習慣をつけてください。
- 切り返しなどで前進と後退を繰り返すときは、完全に停車してからセレクトレバーを操作してください。

▲ 警告

アクセルペダルを踏んだままでセレクトレバーを操作しないでください。 急発進して事故を起こすおそれがあります。

セレクトレバーの位置は目で 確認

始動時や降車時は $\mathbb P$ 、前進時は $\mathbb D$ 、後退時は $\mathbb R$ にあることを目で確認してください。

車から離れるときは



68H20500

▲ 警告

エンジンをかけたまま車から離れないでください。万一、セレクトレバーが P 以外に入っていると、車がひとりでに動き出すおそれがあります。また、車に乗り込むときに誤ってセレクトレバーを動かしたりアクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ急発進のおそれがあります。

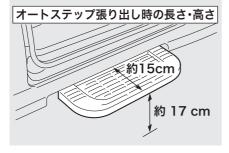
オートステップ装備車の 正しい使いかた

3-16ページの「オートステップ」もあわせてお読みいただき、オートステップ装備車の特性や操作上の注意を十分理解して正しい取扱いをしてください。

オートステップとは

オートステップは、高齢のかたや小さいお子さまが助手席側のスライドドアから乗り降りするときの補助装置です。

- オートステップは、車体の左側面から約15 cm、地上から約17 cmの高さまで張り出します。ただし、次のような場合には、地上からの高さが変わります。
 - 車に人や物をのせている
 - オートステップに人が乗っている
 - 路面に凹凸がある
- ◆オートステップの張り出しおよび格納動作は、スライドドアの開閉からそれぞれ約2秒間かかります。
- ◆オートステップの許容荷重は150 kg までとなっています。



68H205

助手席側のスライドドアから 乗り降りするときは

▲ 注意

- ◆オートステップと車体のすきまに、手や足などを入れないでください。
- ●とくに次のような場合は、周囲の安全を十分に確認してから、助手席側のスライドドアを開閉してください。オートステップの作動により、

人にけがをさせたり、物が破損する おそれがあります。

- 縁石や壁などがある狭い場所
- スライドドアの近くに人がいたり 物がある
- オートステップの上に人が乗って いる
- ●助手席側のスライドドアを完全に閉めないと、オートステップは格納したれません。半ドアの状態で走行した場合、一定の速度になるとオートステップは自動的に格納されますが、人が歩くような遅い速度のとますもはいるかないことがあります。張らといるおそれがありますので、ドアが完全に閉まっているか確認してください。

オートステップの手入れ

→ 3-56ページ

(オートステップ警告灯)

- → 6-12ページ (オートステップ装備車の手入れ)
- → 7-16 ページ (オートステップ用 ヒューズが切れたとき)
- → 7-24ページ (オートステップが格納されないときは)

パワースライドドア装備車 の正しい使いかた

3-11ページの「パワースライドドア」 もあわせてお読みいただき、パワース ライドドア装備車の特性や操作上の注 意を十分理解して正しい取扱いをして ください。

パワースライドドアとは

パワースライドドアは、ドアハンドル、運転席にあるスイッチ、またはキーレスエントリーの操作により、自動開閉が可能です。

- ●自動開閉中は、周囲に注意をうなが すため、警告ブザーが "ピッピッ ピッ"と断続的に鳴り続けます。
- ●パワースライドドアには、スライドドアクローザー機能があります。
 - → 3-10ページ

(スライドドアクローザー)

- パワースライドドアには、自動開閉 するときの安全装置として、はさみ 込み防止機構があります。
 - → 3-16ページ

(はさみ込み防止機構)

パワースライドドアを開閉す るときは

▲警告

●パワースライドドアを開けるときは、後席窓から手や頭などの身体を出さないでください。身体をはさまれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。



- ●パワースライドドアの開閉は、車外および車内のスライドドア周囲の安全を十分に確認してから行なってください。ドアに手足や顔などの身体をはさまれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- パワースライドドアの開閉はお子さまではなく大人が行ない、お子さまの身体をはさまないように気をつけてください。



COLLONES

- ●パワースライドドアは、走行中に自動開閉できないようになっていますが、次の条件をみたすと自動開閉する場合があります。完全に停車したことを確認してから操作してください。車が動いているときの開閉は、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ・車速が約3 km/h以下
 - パーキングブレーキがかかっているか、ブレーキペダルを踏んでいる

▲注意

後輪のタイヤ交換などをするときは、安全のため、パワースライドドアメインスイッチを OFF にし、ドアを全閉状態にしてください。誤って自動開閉してしまった場合、手などの身体をはさまれ、けがのおそれがあります。

→ 3-12ページ (パワースライドド アメインスイッチ)

SRSエアバッグ車を 運転するときは

SRS エアバッグシステムの効果を発揮させるために、**4-15 ページ**の「**SRS エアバッグ**」もあわせてお読みいただき、正しい取扱いをしてください。

シートベルトは必ず着用

▲警告

SRSエアバッグシステムは、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトと併用することで、その効果を発揮するシートベルトの補助拘束装置です。したがってSRSエアバッグシステムが装備されている車であっても、シートベルトを必ず着用してください。

着座姿勢

瞬時にふくらむ SRS エアバッグにより 強い衝撃を受けるおそれがあるため、 運転者および助手席の同乗者は、シートに奥深くすわり、背もたれに背中を 軽くつけてください。また、シートを 前方に出し過ぎないようにシートの位 置を調節してください。



68H20190

▲ 警告

ハンドルやインパネに、顔や胸などを近づけたり、足を置いたりしないでください。SRSエアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRS エアバッグシステムを 正常に機能させるために



66K20540

▲ 警告

- ●ハンドルを交換する、ハンドルの パッド部にステッカーを貼る、色を ぬる、カバーでおおうなどの改造を しないでください。
- ●インパネ上面には、ステッカーを 貼ったり色をぬったりしないでくだ さい。また、アクセサリーや芳香 剤、ETC 車載器やポータブルカー ナビなどを取り付けたり置いたり、 傘などを立てかけたりしないでくだ さい。
- ●フロントガラスやルームミラーにアクセサリー(マツダ純正用品を除く)などを取り付けないでください。

お子さま用シートの取付け

- → 2-6 ページ (お子さま用シートの使用について)
- → 4-9ページ (お子さま用シートの選択について)

4WD車を運転するときは

4WD車には特有の操作上の注意があります。正しい取扱いをしてください。

パートタイム 4WD 車は、3-80ページの「2WD≒4WD の切替え操作」
 もあわせてお読みください。

路面の状況に注意して走行する

フルタイム4WD車 パートタイム4WD車

▲注意

4WD 車は、雪道、急坂路、砂地、ぬかるみなどのタイヤがスリップしやすい路面で優れた走行性能を発揮しますが、万能ではありません。また、オフロード(不整地)、ラリー専用車ではありません。次のことをお守りください。

- ●砂地やぬかるみなど、タイヤが空 転しやすいところでは連続走行し ないでください。
- ●ブレーキ性能は2WD車と比べてほとんど差がありません。滑りやすい路面での走行には十分車間距離をとってください。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作も、2WD車と同様に慎重に行なってください。

●渡河走行や水中走行をしないでくだ さい。



4WDで急旋回をしない

パートタイム4WD車



68H20550

⚠警告

4WDで急カーブや脇道、駐車場で急旋回をすると、ハンドルをまわすときの力が大きくなるとともに、タイトコーナーブレーキング現象(※)が起きて、思いがけない事故を起こすおそれがあります。また、駆動装置が損傷する原因となります。

※タイトコーナーブレーキング現象とは、4WDでの急旋回時に、前輪と後輪の回転の差を吸収しきれない状態が生じ、ブレーキをかけたときと同じ状態になることをいいます。

乾燥した舗装路では4WDで 走行しない

パートタイム4WD車



68H20560

▲ 注意

濡れた舗装路でも 4WD で走行することは、できるだけ避けてください。タイヤがスリップしにくい路面では、前輪と後輪の回転の差を吸収しきれず次のような状態が生じます。

- ●駆動装置に無理な力がかかって、 損傷するおそれがある
- ●タイヤの摩耗が早まる
- ●ハンドルが重くなる
- ●カーブではブレーキがかかったよ うな状態になる

´ターボ車を運転するときは

ターボ車には特有の操作上の注意があります。正しい取扱いをしてください。

ターボとは

エンジンに多量の空気を送り込んで、 より大きな馬力を引き出す精密装置で す。

ターボ装置には高温で超高速回転する 羽根が取り付けられており、その軸受 部をエンジンオイルで潤滑・冷却して います。

注記

ターボ装置の潤滑や冷却を適切に行なうために、次のことをお守りください。守らないと、ターボ軸受部の固着や異音の原因となります。

●エンジン始動直後などのエンジンが暖まっていないときは、空ぶかしや急加速をしないでください。



00110000

- ●高速走行、登坂走行直後は、すぐにエンジンを止めないでください。高速走行直後は約1分、登坂走行直後は約2分のアイドリング運転をしてターボ装置を冷やしてから、エンジンを止めてください。
- ●エンジンオイル、オイルフィルター は定期的に交換してください。
 - → 2-28ページ (エンジンオイル を交換するときは)

こんなことにも注意して

マッチ、タバコの火は確実に消す



68H20580

▲ 警告

- ●マッチ、タバコの火は確実に消し、 吸いがらを入れた灰皿(タイプ別装 備)は完全に閉めてください。
- ●灰皿(タイプ別装備)の中に吸いがらをため過ぎたり、紙など燃えやすい物を入れたりしないでください。

外装部品に力をかけすぎない

注記

スポイラー、リヤバンパー、サイドス カートなどに強い力をかけないでく ださい。破損するおそれがあります。

段差などに注意して

注記

次のような場合は、バンパーまたは 車両下部が破損するおそれがありま す。十分注意してください。

- ●路肩など段差がある場所への乗り 入れ
- ●わだちやくぼみなどがある道路の 走行

不正改造はしない



68H20590

▲ 警告

- ●この車に適さない部品を取り付けたり、自己流のエンジン調整や配線をしたりしないでください。思いがけない火災や事故を起こしたり、不正改造になることがあります。
- ●無線機、オーディオ、ETC車載器などの電気製品の取付け、取外しをするときは、マツダ販売店にご相談のではいい。また、バッテリー端子から直接電気製品の電源をとったり、アース線を直接つなげたりしないでください。電子部品の働きをさまたげたり、火災、故障、バッテリーあがりなどを起こしたりするおそれがあります。
- ●ホイール、ホイールナットは指定のマツダ純正品以外を使用しないでください。走行中にナットがゆるんでホイールが外れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、燃費や走行安定性が悪化したり、故障の原因となったりします。

注記

ディスチャージへッドライト装備車では、次のような改造をするとオートレベリング機能(自動光軸調整機能)が正常に作動しなくなるおそれがあります。

- ◆サスペンションの改造(車高やサスペンションの硬さ変更)
- ●指定サイズ以外のタイヤやホイールの装着

部品の取付け、取外し、修理 をするときは

▲警告

●SRSエアバッグ、シートベルトプリテンショナーは、その機能に影響をあたえる部品に手を加えると、思いがけないときに作動したり、必要なときに正常に作動しなかったりすることがあります。

次のような場合は、システムに悪影響をおよぼします。事前にマツダ販売店にご相談ください。

- ハンドルの取外し、ハンドルまわりの修理など
- インパネまわり、センターコン ソール付近の修理および電気配 線の修理
- オーディオ用品などの取付け
- ダッシュボード周辺の板金塗装お よび修理
- センターピラーまわりの修理

アクセサリーの取付けに注意 して



68H20600

▲警告

窓ガラスにアクセサリーを取り付け ないでください。アクセサリーや吸 盤が視界をさまたげたり、吸盤がレ ンズの働きをして火災を起こしたり するおそれがあります。また、SRS エアバッグが作動したときに、アク セサリーがとんでけがをするおそれ があります。

エンジンオイルを交換すると きは

■ 定期的に交換する

- 標準的な使用方法では、エンジンオイルは10,000 km (ターボ車は5,000 km) ごと、または6か月ごとのどちらか早い方で交換し、エンジンオイルフィルターは10,000 kmごとに交換してください。
- ●指定のエンジンオイルを使ってください。
 - **→ 8-1ページ (サービスデータ)**
- ●厳しい条件(シビアコンディション) で使用した場合は、標準的な場合よ り早めの交換が必要です。
 - **→ メンテナンスノート**

注 記

交換時期を守ってください。劣化したオイルや目詰まりしたフィルターは、エンジン故障や異音の原因となります。交換については、マツダ販売店へお申し付けください。

(エコドライブをしましょう)

タイヤの空気圧を適正に

- タイヤの空気圧が低いとガソリンを 多く消費します。適正な空気圧にし てください。
- この車の指定空気圧は、運転席ドアの開口部に貼付してある「空気圧ラベル」で確認のうえ、調整してください。



68H20030

不要な荷物は積まない

燃費が悪化したりタイヤが早く摩耗し たりするなど、車に悪影響があります。

暖機運転は適切に

長期間、車を使用しなかったときや極低温のときは、数十秒の暖機運転を行なってから走行を開始してください。それ以外の場合はエコドライブのため、エンジンを始動したら、すみやかに走行を開始してください。

急発進、急加速、急ブレーキなど「急」のつく運転はしない



68H20610

空ぶかしをしない



68H20260

燃料を消費するだけで、何の効果もありません。

車速に応じたギヤで走行する

低速ギヤを使って高いエンジン回転数で走行すると燃費が悪くなります。走 行速度に応じた正しいギヤをお使いく ださい。

3. 運転装置の取扱い

ドアの開閉	
キー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3-2
	3-3
キーレスエントリー ・・・・・・	3-9
スライドドアクローザー ・・・・・・・・・・・・	3-10
パワースライドドア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3-11
オートステップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3-16
警報装置	
セキュリティアラーム(警報装置) ・・・・・・・	3-19
各部の開閉	
パワーウインドー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
手動ウインドー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
ボンネット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3-27
エンジンルーム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3-28
燃料給油口 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	3-30
シートの調節	
前席シート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
後席シート ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
フルフラットシート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3-43
各部の調節	
ルームミラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3-45
ドアミラー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
チルトステアリング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3-47
メーター	
メーターの見かた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
警告灯・表示灯の見かた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3-51

各部の開閉

エンジン始動

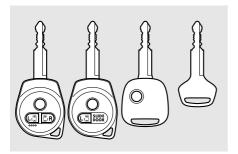
チェンジレバー

オートマチック車

3-80

丰—

- ◆ キーが 2 本ついています。キーの組合 せは、お車により異なります。
- キーは、エンジンの始動・停止のほか に、ドアの施錠・解錠に使用します。
- ◆キーを紛失したり、車内に閉じ込めたりしないように注意してください。



68H30010

▲警告

リモコンキーを航空機内へ持ち込む場合は、機内で操作ボタンを押さないでください。また、バッグなどに入れるときは、簡単に操作ボタンが押されないように収納してください。操作ボタンが押されると、電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあります。

※リモコンキーは、航空機内での使用 が制限される電子機器に該当します。

▲ 注意

キーホルダーのアクセサリーなどは必要最小限にしてください。アクセサリーを多数付けたり、重い物を付けたりすると、走行中の振動などでエンジンスイッチに差したキーがまわるおそれがあります。

また、大きなアクセサリーを付けていると、膝や手などがあたってキーをまわしてしまうおそれがあります。

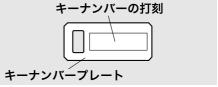
→ 3-64 ページ (エンジンスイッチ の各位置のはたらき)

- √lm アドバイス ―

- ●盗難などを防ぐため、キーを紛失したときは、すみやかにマツダ販売店にご相談ください。
- ◆キーのご購入については、マツダ販売店にご相談ください。

キーナンバープレート

キーナンバープレートには、キー作成時 に必要なキーナンバーが打刻されていま す。



68H30020

- √lm アドバイス -

- ●お客様以外の方にキーナンバーを知られないよう、キーナンバープレートは車両以外の場所に、大切に保管してください。万一、キーを紛失したときは、マツダ販売店にキーナンバーを伝えてご相談ください。
- ●お車をおゆずりになるときは、次に 所有される方のために、キーナン バープレートをお車のキーとともに お渡しください。

ドア

▲警告

- ●シートベルトや荷物などをはさまないように、ドアを確実に閉めてください。半ドアの場合、走行中にドアが開くおそれがあります。
- ●エンジンをかけた状態で、バックドアを開けたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入して、一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- ●火災や盗難などの事故防止のため、 車から離れるときは、エンジンを止 めドアを施錠してください。

▲ 注意

- ●ドアの開閉は、お子さまではなく大人が行ない、手、足、頭などをはさまないように気をつけてください。
- ●ドアを開けるときは、後ろからの車 に注意してください。とくに風が強 い日は注意してください。
- ●スライドドアを開けるときは、後席 窓から手や頭などの身体を出さない でください。身体をはさまれ、けが のおそれがあります。



●スライドドアの開閉は、車外および 車内のスライドドア周囲の安全を十 分に確認してから行なってください。 ドアに手足や頭などの身体をはさま れ、けがのおそれがあります。



68H2053

- ●傾斜地では、スライドドアを開けた ままにしないでください。スライド ドアが不意に閉まるおそれがありま す。
- ●バックドアやスライドドアを開ける ときは、完全に開けてください。開 けかたが不完全な場合、思わぬとき に閉まって、けがのおそれがありま す。
- ●エンジンがかかっているときは、排 気管の真後ろでバックドアを開閉し ないでください。やけどなどのおそ れがあります。

- √lm アドバイス -

セキュリティアラーム (タイプ別装備) のセット状態およびドアの開けかたによっては、警報が作動する場合があります。

→ 3-19ページ

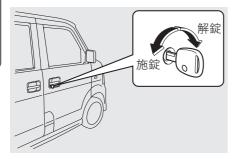
(セキュリティアラーム)

キー操作による車外からの 施錠・解錠

→ 3-9ページ (キーレスエントリー)

■ 前席ドア

キーを差し込んで車の前方向にまわすと 解錠、後ろ方向にまわすと施錠できます。



68H30051

■ バックドア

ワゴンタイプ車

運転席ドアにキーを差し込んで、車の前 方向にまわすと解錠、後ろ方向にまわす と施錠できます。

バックドアを開けるときは、解錠後、 ドアハンドルを手前に引きながらドア を持ち上げます。

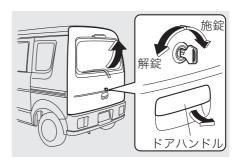


68H30061

バンタイプ車

バックドアにキーを差し込んで、時計方向にまわすと施錠、反時計方向にまわすと と解錠できます。

● バックドアを開けるときは、解錠後、 ドアハンドルを手前に引きながらドア を持ち上げます。



68H30071

バックドアを閉めるときは

ドア下面右側の手かけ部を持って引き下 げます。最後はドアを外側から手で、少 し勢いをつけて押しつけます。



68H30081

▲注意

バックドアを支えているダンパース テーの損傷や作動不良を防ぐため、次 のことをお守りください。ステーが円 滑に動かなくなったり、バックドアを 開けたときに、保持できなくなったり するおそれがあります。

- ●ステーのロッド部(ドア開閉時に摺動する棒部分)に傷をつけたり、泥 やビニール片、テープなどの異物を 付着させたりしないでください。
- ●ステーに手をかけたり、物をかけた りしないでください。

ダンパーステー 68H30092

車内からの施錠・解錠

■ 前席ドア、スライドドア

ドアを閉めてロックレバーを施錠側にすると施錠、解錠側にすると解錠できます。



68H30101



68H30110

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

- ۥﺳアドバイス ---

解錠時、ロックレバーの赤い表示が見 えます。目安としてください。

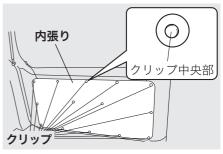
■ ワゴンタイプ車のバックドア

故障やバッテリーあがりなどでバックドアが解錠できないときは、マツダ販売店で点検を受けてください。

緊急を要するときは、下記手順で解錠してください。

1 バックドアの内張りを外します。

● 固定しているクリップ14個は、中央部を先のとがったもので"カチッ"と音がするまで押し込んでから外します。



68H30121

注記

クリップ中央部を強く押しすぎないでください。クリップが外れにくくなったり、クリップ中央部が脱落したりするおそれがあります。

2 レバーを引き上げると、解錠します。施錠するときは、レバーを押し下げます。



68H30132

▲注意

レバー操作をするときは、バックドアの穴周囲のエッジ部分をさわらないでください。けがのおそれがあります。

前記手順でバックドアが解錠できない ときは

荷物を満載するなどして、バックドアの 内張りが外せず、バッテリー交換もでき ない場合で、緊急を要するときは、次の 手順で解錠してください。

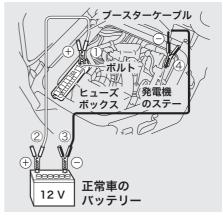
- 1 ブースターケーブルと、12 V バッ テリーを使用している正常車を用意 します。
- **2** 運転席シートを引き上げて、エンジンルームが見える状態にします。
 - → 3-28ページ

(エンジンルーム)

- 3 エンジンルーム内のヒューズボック スカバーを外します。
 - → 7-13ページ

(ヒューズボックス)

- 4 1 本目のブースターケーブルを①→ ②の順序で接続し、2 本目のブース ターケーブルを③→④の順序で接続 します。
 - ①ヒューズボックス内の助手席側に あるボルトの頭部
 - ②バッテリー正常車の ① 端子
 - ③バッテリー正常車の ⊖ 端子
 - 4発電機のステー



68H30140

注 記

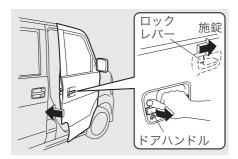
ブースターケーブルを接続した状態で、絶対にエンジンをかけないでください。過電流で配線がショートするなどの故障の原因となります。

- [5] パワードアロック機能でバックドア を解錠します。
 - → 3-8ページ (キーまたはロックレバー操作 によるパワードアロック)
- 6 取り付けたときと逆の順序でブースターケーブルを外します。

キーを使わない施錠

■ 前席ドア

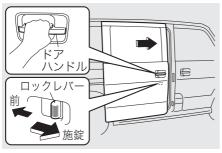
ロックレバーを施錠側(車の前方向)にして、ドアハンドルを引いたままドアを 閉めると施錠できます。



68H30151

■ スライドドア

ロックレバーを施錠側(車の後ろ方向) にして、ドアを閉めると施錠できます。



68H30162

− √lm アドバイス −

「**キーを使わない施錠**」をするときは、キーが手元にあるか確認してください。キーを閉じ込むおそれがあります。

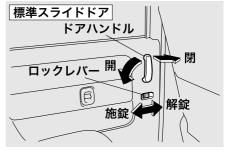
重内からの開閉

■ スライドドア (手動開閉時)

- 車内から開けるときは、ロックレバー を解錠側(車の前方向)にして、車内 のドアハンドルを開く方向(車の後ろ 方向)に倒します。
- ●車内から閉めるときは、車内のドアハンドルを閉める方向(車の前方向)に押します。

→ 3-11ページ

(パワースライドドア)



68H30170

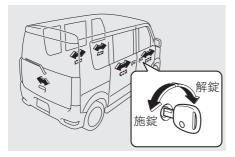


68H30180

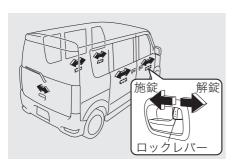
キーまたはロックレバー操作 によるパワードアロック

→ 3-9ページ (キーレスエントリー)

運転席ドアをキーまたはロックレバー操作で施錠・解錠すると、助手席/スライドドアおよびバックドアも同時に施錠・解錠します。



68H30191



68H30201

■ ドアロック解除機能

衝突などで SRS エアバッグが作動すると、自動的にすべてのドアロックを解除します。

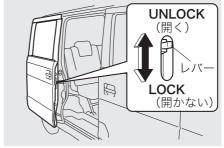
- 。トートバイス -

エアバッグが作動したときでも、ドアロックモーターの配線やモーター自体が損傷した場合は、ドアロック解除機能が作動しません。

チャイルドプルーフによる 施錠・解錠

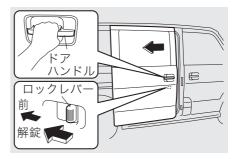
車内からスライドドアが開かないように できます。後席乗員(とくにお子さま) によるドア誤開放を防止するために使用 してください。

スライドドアの前向き面にあるレバーをLOCK (開かない)の位置にして、ドアを閉めます。ロックレバーの位置に関係なく、車内からはドアが開きません。



001100040

●ドアを開けるときはロックレバーを解 錠側(車の前方向)にして、外からド アハンドルを引きます。



68H30222

▲注意

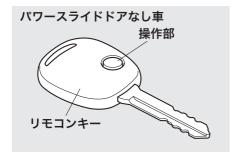
スライドドアは、窓から手を出して外側のドアハンドルで開閉しないでください。腕などをはさまれ、けがのおそれがあります。

キーレスエントリー

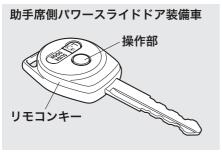
タイプ別装備

すべてのドアが閉まっているときに、車から約2m以内の範囲でリモコンキーの操作部を押すと、すべてのドアを施錠・解錠できます。

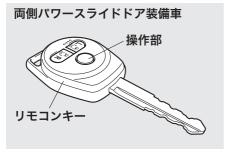
・施錠したときは、ドアハンドルを引いて施錠されているか確認してください。



68H30231



68H30241



68H30251

▲ 警告

火災や盗難などの事故防止のため、車 から離れるときは、エンジンを止めて ドアを施錠してください。

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

注記

リモコンキーには、精密な電子部品が 組み込まれています。電子部品の故障 を防ぐため、次のことをお守りくださ い。

- ●インパネの上などの高温になるよう な場所に置かない
- ●落下させるなどして、強い衝撃をあたえない
- ●水洗いをしたり、水中に入れたりしない

- ۥﺳ アドバイス ---

- ●次のようなときは、キーレスエント リーが作動しません。
 - いずれかのドアが開いている
 - エンジンスイッチにキーを差し込んでいる。
- ●キーレスエントリーの作動距離は、 周囲の影響で変わることがあります。また、強い電波などが発生している場所では、キーレスエントリーが作動しないことがあります。
- ●少しの間でも車から離れるときは、 現金や貴重品を車内に放置しないで ください。盗難のおそれがあります。
- ●1 台の車両で、3 個のリモコンキーまで登録できます。
- ●リモコンキーでドアの施錠・解錠が できないときは、キーを使って施 錠・解錠をしてください。
- ●キーレスエントリーが正しい距離で 作動しないときは、電池の消耗が考 えられます。
 - → 6-6ページ

(リモコンキーの電池交換)

- ۥﺳアドバイス ---

- ●リモコンキーを必要以上に操作する と、電池の消耗が早まります。
- ●リモコンキーのご購入、暗証コードの 登録については、マツダ販売店にご相 談ください。

アンサーバック機能

キーレスエントリーによるドアの施錠・ 解錠を知らせる機能です。

アンサーバック	初期設定 (工場出荷時)		設定切	替え時
機能	ロック (施錠)	アンロック (解錠)	ロック (施錠)	アンロック (解錠)
非常点滅 表示灯	1回点滅	2回点滅		
室内灯 (スイッチが DOOR位置)		約10秒間	2回点滅	約10秒間

- キーレスエントリーの作動と同時に室 内灯を点灯または点滅させたい場合 は、室内灯スイッチをDOOR位置にし ます。
- 室内灯が約 10 秒間点灯したあとは、 徐々に減光しながら消灯します。
 - → 5-17ページ (室内灯)

_ √m アドバイス —

アンサーバック機能の設定切替え(カスタマイズ)については、マツダ販売店にご相談ください。

タイマーロック機能

盗難防止のため、自動的にドアを施錠する機能です。

- ◆キーレスエントリーで解錠したあと、 約30秒以内にいずれのドアも開けな かったときに自動的にドアを施錠します。
- タイマーロック機能が作動すると、セキュリティアラームが自動的にセットされます。(警報なしのAモードを除く)
 - → 3-19ページ (セキュリティアラーム)

スライドドアクローザー

タイプ別装備

スライドドアクローザーは、スライドドアを完全に閉めるための補助機能です。 スライドドアを半ドアの状態まで閉める と、この機能が作動して自動的に全閉になります。

- スライドドアクローザーは、パワース ライドドアには標準装備されていま す。また、パワースライドドアでなく ても、タイプにより、助手席側のスラ イドドアにこの機能が装備されている 車両があります。
- パワースライドドアは、パワースライドドアメインスイッチを OFF にするなどして手動開閉に切り替えたあとでも、スライドドアクローザーが作動します。
 - → 3-12 ページ (パワースライドド アメインスイッチ)

●パワースライドドアは安全のため、スライドドアクローザー作動中に車内または車外のドアハンドルを引くと、作動を途中で停止できます。ただし、作動を途中で停止させると、半ドアとなる場合があります。ドアを一度開けて再び閉めて、ドアが完全に閉まっているか確認してください。

▲ 警告

スライドドアが半ドア状態から自動的 に全閉になります。指などをはさまな いように気をつけてください。



68H20531

▲注意

クローザー機能だけがあるスライドドア (パワースライド機能なし)の場合、次のようなときには作動を途中で停止できません。指などをはさまないよう、とくに注意してください。

- ●ロックレバーが施錠側にあるとき に、車内または車外のドアハンドル を引く
- ●チャイルドプルーフのレバーが LOCK 位置にあるときに、車内のド アハンドルを引く

注記

スライドドアクローザーはモーターの 駆動力を利用しているため、エンジン 停止状態で必要以上に使用すると、 バッテリーあがりの原因となります。 また、バッテリーの性能が低下してい るときは、作動しない場合があります。

– √lm アドバイス ----

スライドドアクローザー作動中にエン ジンを始動すると、クローザーが正常 に作動しない場合があります。

パワースライドドア

タイプ別装備

パワースライドドア解錠後、ドアハンドル、運転席にあるスイッチ、またはリモコンキーの操作により、自動開閉が可能です。

- タイプにより、助手席側のスライドドアだけに装備されている車両と、両側のスライドドアに装備されている車両があります。
- 自動開閉するときは、ドアハンドルなどの操作をする前に、運転席にあるパワースライドドアメインスイッチを ON にする必要があります。
 - → 3-12ページ (パワースライドドア メインスイッチ)
- 自動開閉中は、周囲に注意を促がすため、警告ブザーが"ピッピッピッ"と 断続的に鳴り続けます。
- パワースライドドアが施錠されている と、自動で開けられません。先にドア を解錠してください。
- 急な坂道では、パワースライドドアを 自動開閉できない場合があります。
- 自動開閉中にエンジンを始動すると、 パワースライドドアが正常に作動しな くなる場合があります。

▲ 警告

●パワースライドドアを開けるときは、後席窓から手や頭などの身体を 出さないでください。身体をはさまれ、重大な傷害を受けるおそれがあ ります。



- ●パワースライドドアの開閉は、車外 および車内のスライドドア周囲の安 全を十分に確認してから行なってく ださい。ドアに手足や頭などの身体 をはさまれ、重大な傷害を受けるお それがあります。
- ●パワースライドドアの開閉はお子さまではなく大人が行ない、お子さまの身体をはさまないように気をつけてください。



68H20531

●パワースライドドアは、走行中に自動開閉できないようになっていますが、次の条件をみたすと自動開閉する場合があります。完全に停車したことを確認してから操作してください。車が動いているときの開閉は、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 車速が約3 km/h以下
- パーキングブレーキがかかっているか、ブレーキペダルを踏んでいる

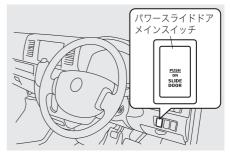
注記

- ●ドアが凍結しているときは、パワースライドドアが開閉可能かを手動で確認してから、自動開閉操作を行なってください。凍結したまま操作を繰り返すと、故障の原因となります。
 - → 6-10ページ (ドアの凍結)
- ●パワースライドドアは、モーターの 駆動力を利用しているため、必要以 上に使用するとバッテリーあがりの 原因となります。また、バッテリー が弱っているときは、作動しない場 合があります。

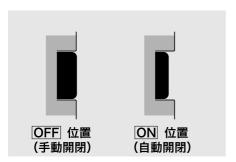
パワースライドドアメインス イッチ

パワースライドドアは、パワースライドドアメインスイッチを押すことによって、自動開閉(ON)と手動開閉(OFF)に切り替えられます。

● 通常は ON 位置(自動開閉)にして おきます。



68H30261



68H30270

▲警告

パワースライドドアメインスイッチが OFF のときでも、スライドドアク ローザーは作動します。指などをはさ まないように気をつけてください。

→ 3-10ページ

(スライドドアクローザー)

▲注意

- ●自動開閉中に、パワースライドドアメインスイッチを OFF にするなどして手動開閉に切り替えると、ドアが途中で停止し、警告ブザーが鳴ります。坂道などの傾斜地の場合、途中で停止したドアが不意に動き出すおそれがあります。十分に注意して開閉操作を行なってください。
- ●後輪のタイヤ交換などをするときは、安全のため、パワースライドドアメインスイッチを OFF にしてください。誤って自動開閉してしまうと、手などの身体をはさまれ、けがのおそれがあります。

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

■ メインスイッチが ON でもこんなときは自動開閉ができません

安全のため、次のようなときはメインス イッチが $\boxed{\text{ON}}$ でも自動開閉ができません。

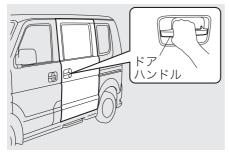
- 車が動いている(車速3 km/h以上)
- エンジンスイッチが ON のときに、 下記条件のいずれも満たさない場合
 - パーキングブレーキがかかっている
 - ブレーキペダルを踏んでいる
 - セレクトレバーが P 位置
- ●パワースライドドアを開けたままバッテリーを外すなどしてシステムへの電源供給を一度絶ち、再びバッテリーを接続するなどして、ドアを全閉にするまで
- タッチセンサーが断線している(断線 時でも自動で開くことは可能)

- dm アドバイス -

前記のようなときに、ドアハンドルで 手動開閉すると警告ブザーが"ピーー" と鳴って、ドアにブレーキがかかった ような状態になることがあります。(断 続クラッチ制御)これは坂道の影響な どで手動開閉時にドアが急開閉するの を防ぐためであり、異常ではありませ ん。

車外のドアハンドルによる自 動開閉

パワースライドドアが全開または解錠状態の全閉時に、車外のドアハンドルを引くと、自動開閉ができます。



68H3028

- 自動開閉中に車外のドアハンドルを引くと、パワースライドドアの動く方向は反転し、全開または全閉になります。ただし、パワースライドドア作動開始直後にドアハンドルを引くと、反転しない場合があります。
- ●パワースライドドアが途中まで開いて 停止している状態では、車外のドアハ ンドルを引いても自動開閉ができませ ん。その場合、一度ドアを手動で全閉 または全開にしてから再度ドアハンド ルを引くと、自動開閉ができます。

車内のドアハンドルによる自 動開閉

● パワースライドドアが解錠状態の全閉時に、車内のドアハンドルを開く方向 (車の後ろ方向)に倒すと、自動で開けます。



00110000

- パワースライドドアが全開のときは、 車内のドアハンドルを前後どちらかに 倒すと、自動で閉められます。
- 自動開閉中に車内のドアハンドルを前後どちらかに倒すと、パワースライドドアの動く方向は反転し、全開または全閉になります。ただし、パワースライドドア作動開始直後にドアハンドルを倒すと、反転しない場合があります。
- ●パワースライドドアが途中まで開いて 停止している状態では、車内のドアハ ンドルを倒しても自動開閉ができませ ん。その場合、一度ドアを手動で全閉 または全開にしてから再度ドアハンド ルを倒すと、自動開閉ができます。

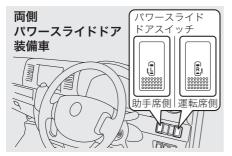
パワースライドドアスイッチ による自動開閉

パワースライドドアが全開または解錠状態の全閉時に、運転席にあるパワースライドドアスイッチを 0.5 秒以上押すと、自動開閉ができます。

● タイプにより、スイッチの位置は次の 図のどちらかになります。



68H30302



68H30312

- スイッチは長押ししてください。(0.5 秒以上) スイッチを押している時間が 短いと、警告ブザーが "ピー" と鳴る だけで、自動開閉ができません。
- 自動開閉中にもう一度スイッチを押す と、ドアの動く方向は反転し、全開ま たは全閉になります。ただし、パワー スライドドア作動開始直後にスイッチ を押すと、反転しない場合があります。
- ●パワースライドドアが途中まで開いて 停止しているときにスイッチを長押し すると、自動的に全開になります。全 閉にしたい場合は、再度スイッチ操作 をしてください。

リモコンキーによる自動開閉

パワースライドドアが全開または解錠状態の全閉時に、リモコンキーのパワースライドドアボタンを 1 秒以上押すと、自動開閉ができます。

3. 運転装置の取扱い/ドアの開閉

● タイプにより、ボタンの位置は次の図のどちらかになります。



68H30320



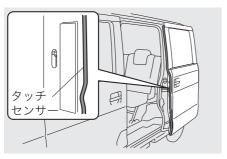
68H30330

- ボタンは長押ししてください。(1 秒 以上) ボタンを押している時間が短いと、警告ブザーが "ピー" と鳴るだけで、自動開閉ができません。
- 自動開閉中にもう一度ボタンを押す と、ドアの動く方向は反転し、全開ま たは全閉になります。ただし、パワー スライドドア作動開始直後にボタンを 押すと、反転しない場合があります。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときは、リモコンキーによる自動開閉ができません。
- ●パワースライドドアが途中まで開いて 停止しているときにボタンを長押しす ると、自動的に全開になります。全閉 にしたい場合は、再度ボタン操作をし てください。

はさみ込み防止機構

パワースライドドアには、自動開閉する ときの安全装置として、はさみ込み防止 機構があります。

- 自動で閉めているときに、ドア前端部 のタッチセンサーが異物のはさみ込み を検知すると、ドアの動く方向は反転 し、全開になります。
- 自動開閉中に、異物をはさみ込むなど してドアに一定以上の負荷がかかると、 ドアの動く方向は反転し、全開または 全閉になります。(過負荷検知方式)
- 自動開閉中に、2 回以上はさみ込みを 検知すると警告ブザーが鳴り、パワー スライドドアが手動開閉に切り替わる 場合があります。再度、自動開閉に切り替えるには、一度ドアを全開または 全閉にする必要があります。
- タッチセンサーに手などを強く触れた ままにしていると、パワースライドド アを自動で閉められません。



68H30342

▲警告

はさまれる異物の形状や硬さ、はさまれかたによっては、タッチセンサーで 検知できなかったり、過負荷検知されなかったりして、はさみ込み防止機構が作動しない場合があります。重大な 傷害を受けるおそれがありますので、 十分に注意して開閉操作を行なってください。

▲注意

全閉直前または全開直前の位置では、 はさみ込みを検知できない領域があり ます。指などをはさまないように気を つけてください。

注記

パワースライドドア前端部のタッチセンサーは、刃物などの鋭利なもので傷つけないでください。タッチセンサーが切断されると、自動で閉められなくなります。

オートステップ

タイプ別装備

2-21 ページの「**オートステップ装備車 の正しい使いかた**」もあわせてお読みください。

- エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。
- オートステップは、助手席側のスライドドアから乗り降りするときの補助装置です。物をのせる、腰掛ける、お車のお手入れの際の踏み台にするなど、乗り降りするときの補助以外の用途には使用しないでください。

注記

オートステップは、モーターの駆動力 を利用しているため、エンジン停止状態で必要以上に使用するとバッテリー あがりの原因となります。また、バッ テリーの性能が低下しているときは、 作動しない場合があります。

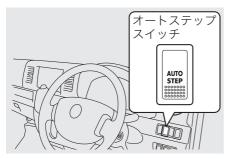
オートステップスイッチ

オートステップは、次のときに助手席側 スライドドアの開閉と連動して張り出さ れたり格納されたりします。

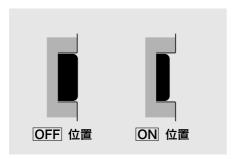
● 停車状態でオートステップスイッチが ON のとき

ただし、次の条件ではオートステップス イッチが OFF でもオートステップは作動します。

- 張り出した状態で、スライドドアを閉めた
- 張り出した状態で、走行を開始した



68H30351



68H30360

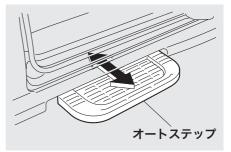
オートステップの警告

■ 作動時

オートステップが作動すると、エンジン スイッチの位置に関係なく、警告ブザー が鳴ります。

- 警告ブザーは、オートステップ張り出し時(スライドドアを開けると同時) に約1秒間、格納時(スライドドアを閉 めると同時)に約0.5秒間鳴ります。
- エンジンスイッチが ON のときは、 オートステップが張り出している間、 メーター内のオートステップ警告灯が 点滅します。

→ 3-56ページ (オートステップ警告灯)



68H30372

■ 作動中に人や物にあたったり、 異物をはさみ込んだりしたと き

作動が停止して次の状態になります。

- エンジンスイッチの位置に関係なく、 警告ブザーが約5秒間断続的に鳴ります。
- エンジンスイッチが ON のときは、 オートステップが格納されるまでメーター内のオートステップ警告灯が点灯 します。

■ 作動しないときや警告灯が点 灯したままのとき

オートステップが作動しないときや、 メーター内のオートステップ警告灯が点 灯したままのときは、次のことが考えら れます。

- ●オートステップが凍結している
 - → 6-12ページ (オートステップ装備車の手入れ)
- オートステップ用ヒューズが切れている。
 - → 7-16 ページ (オートステップ用 ヒューズが切れたとき)

オートステップが作動しない とき

次の場合には、オートステップが作動しません。

- ◆オートステップスイッチが OFF の状態でスライドドアを開けた
- ◆オートステップスイッチが ON の状態で、走行中にスライドドアを開けた
- ◆オートステップスイッチが ON の状態で、走行中に先にスライドドアを開けてから停止した
- ●停車しているときにスライドドアを開けた状態で、オートステップスイッチを OFF から ON にした

助手席側のスライドドアから 乗り降りするときは

- ◆オートステップが完全に張り出したことを確認してから乗り降りしてください。
- オートステップは、1人ずつ乗り降りしてください。許容荷重は150 kgです。

▲注意

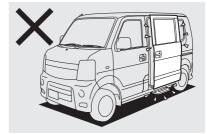
- ◆オートステップと車体のすき間に手 や足などを入れないでください。
- ●助手席側のスライドドアスイッチに ふれないでください。オートステッ プが不意に作動し、けがのおそれが あります。



68H3038

●助手席側のスライドドアを完全に閉めないと、オートステップは格納されません。半ドアの状態で走行した場合、一定の速度になると警告がずーが鳴り、オートステップは自動的に格納されますが、人が歩くような遅い速度のときはオートステップが格納されないことがあります。

張り出したオートステップが人や物にあたるおそれがありますので、完全にドアを閉め、メーター内のオートステップ警告灯が消灯しているか確認してから走行してください。



68H30391

- ●助手席側のスライドドアを完全に閉めても、オートステップが完全に格納されないときは故障が考えられます。張り出したオートステップが人や物にあたるおそれがありますので、ステッププレートを取り外してください。
 - → 7-24ページ (オートステップが 格納されないときは)
- ●雨天時、降雪時および洗車直後など には、オートステップが滑りやすく なるため、車への乗り降りはとくに 注意してください。

セキュリティアラーム (警報装置)

タイプ別装備

セキュリティアラームは、ドアをキーレスエントリーで施錠すると、約 20 秒後にセットされます。

セット状態にて、キーレスエントリー以外のもの(※)で解錠していずれかのドアを開けると、警報が作動して周囲に異常を知らせます。

※キーやロックレバーを含む

- 工場出荷時は、警報ありの< Dモード >になっています。任意で警報なしの <Aモード>に切り替えてください。
 - → 3-21ページ (モード設定の切替えのしかた)
- 警報を誤作動させたときは
 - → 3-20ページ

(警報の停止のしかた)

– √lm アドバイス —

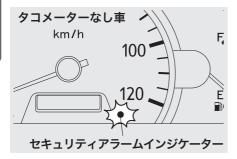
- ●セキュリティアラームは、一定の条件下で警報を発する機能です。室内への侵入を防ぐ機能はありません。
- ●アラームのセット中は、ドアを必ず キーレスエントリーで解錠してくだ さい。キーを使ってドアを解錠する と、警報が作動します。
- ●車を貸すときや、セキュリティア ラームを知らない方が運転するとき は、作動についてよく説明するか、 アラームを警報なしのく A モード> に切り替えてください。誤って警報 を作動させると、周囲への迷惑にな ります。
- ●アラームをセットしていても、現金 や貴重品を車内に放置しないでくだ さい。盗難のおそれがあります。

3. 運転装置の取扱い/警報装置

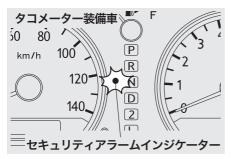
セキュリティアラームのセットのしかた(Dモード時)

ドアをキーレスエントリーで施錠してください。セキュリティアラームインジケーターが小刻みに点滅し、約20秒後にアラームがセットされます。

セット中は、セキュリティアラームインジケーターが約2秒間隔で点滅します。



68H3040



68H30411

√mアドバイス −

●警報の思わぬ作動を防ぐため、車内 に人が残っているときはアラームを セットしないでください。車内の人 がロックレバーで解錠し、いずれか のドアを開けた場合にも警報が作動 します。

- ●すべてのドアをキーまたはロックレ バーで施錠すると、アラームがセッ トされません。
- ●タイマーロック機能が作動すると、 アラームが自動的にセットされます。(警報なしのAモードを除く)
 - → 3-10ページ

(タイマーロック機能)

セキュリティアラームの解除 のしかた

ドアをキーレスエントリーで解錠してください。アラームが解除され、セキュリティアラームインジケーターが消灯します。

警報の停止のしかた

警報を誤作動させたときは、エンジンス イッチを ON にしてください。警報を 途中で停止できます。

- √lm アドバイス -

- ●警報を停止した場合でも、ドアを キーレスエントリーで施錠すると、 約20秒後にアラームが再びセット状態となります。
- ●アラームセット状態または警報作動 状態でバッテリー端子を外すと、警 報が停止します。ただし、再度バッ テリー端子を接続すると、警報が作 動します。
- ●警報が終了しても、アラームの解除 をせずにいずれかのドアを開ける と、再び警報が作動します。

駐車時に警報が作動した場合

盗難などにより警報が作動した場合、エンジンスイッチを ON にすると、セキュリティアラームインジケーターが約8秒間小刻みに点滅し、室内ブザーが4回鳴ります。盗難にあっていないか車の中を確認してください。

セキュリティアラームモード

<**Aモード**>と<**Dモード**>の2つのモードがあります。警報の作動は次のようになります。

<**A**モード>

警報は作動しません。

<Dモード> (工場出荷時)

非常点滅表示灯が約 40 秒間点滅するとともに、室内ブザーが約 10 秒間断続的に鳴ります。室内ブザーが鳴り終えると、ホーンが約 30 秒間断続的に鳴ります。

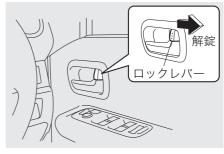
※< Dモード>では、セキュリティア ラームインジケーターも点滅します。

モード設定の切替えのしかた

次の手順で切り替えてください。

1 エンジンスイッチにキーを差して、 すべてのドアを閉め、ロックレバー を解錠側(車の後ろ方向)にしま す。

3. 運転装置の取扱い/警報装置



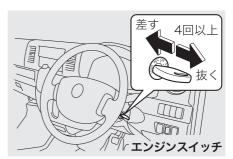
68H30422

- √lm アドバイス -

解錠時、ロックレバーの赤い表示が見 えます。目安としてください。

※次の②から③までの一連の手順は、 15秒以内に完了してください。

2 キーを抜きます。抜いたキーを再び 差します。これらの操作を4回以上 行ない、最後にキーを差した状態に します。



68H30431

3. 運転装置の取扱い/警報装置

3 ロックレバーを施錠側(車の前方 向)にして施錠します。解錠側(車 の後ろ方向)にして解錠します。こ れらの操作を3回行ない、最後に施 錠状態にします。



68H30442

前記の手順を行なうと、モード設定が下表の順で切り替わります。また、設定確認ブザーの回数によって設定状態が確認できます。

モード設定状態	設定確認ブザー
<aモード></aモード>	•
<dモード></dモード>	40

_ √lm アドバイス *--*--

- ●アラームがセット状態のときは、モー ド設定の切り替えはできません。
- ②から ③ までの手順を 15 秒以内に できなかったときは、はじめからや りなおしてください。
- ●モード設定を切り替えるときは、すべてのドアを閉めたまま行なってください。

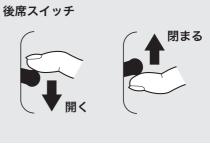
パワーウインドー

タイプ別装備

エンジンスイッチが ON のときに、パワーウインドースイッチを操作すると、ウインドーの開閉ができます。



68H30451



68H31630

▲警告

- ●パワーウインドーは強い力で開閉します。閉めるときは手や首をはさま ないように注意してください。
- ●窓から手を入れてパワーウインドー スイッチを操作しないでください。手や首をはさむおそれがあります。

▲注意

ウインドーガラスを開閉するときは、 ガラスにふれないでください。巻き込 まれるおそれがあります。

注 記

バッテリー保護のため、エンジンがか かっているときにウインドーを開閉し てください。

– √mアドバイス –

●走行中に後席ウインドーだけを開けていると、耳を圧迫するような音が発生する場合があります。これは開いているウインドー周辺の気圧変動にともなう現象で、異常ではありません。空のビンなどの口に、横から息を吹きかけたときに音が鳴る現象と同じです。

後席ウインドーを開けたままでこの 音を軽減したい場合は、次のような 方法があります。

- 前席ウインドーも開ける。
- •後席ウインドーの開き具合を変える。
- ●後席ウインドーは、中間位置までし か開きません。



■ ウインドーロックスイッチ

運転席ドアにあるウインドーロックス イッチの ロック 側を押すと、助手席/ 後席ウインドーの開閉ができなくなります。

● ロックを解除するときは、ウインドー ロックスイッチの 解除 側を押します。



68H30480



68H30490

▲ 警告

お子さまにはパワーウインドースイッチを操作させないでください。お子さまが誤って操作すると、重大な傷害につながるおそれがあります。お子さまを乗せているときは、ウインドーロックスイッチを ロック 位置にしてください。

- √lm アドバイス ―

ウインドーロックスイッチが「ロック」 位置のときでも、運転席ウインドーは 開閉できます。

運転席での開閉

前席ウインドーまたは前席/後席ウインドーが開閉できます。



68H30500



68H30510

■ 運転席ウインドーの開閉 (オート機構付)

- ・ウインドースイッチを軽く操作する と、操作している間だけ開閉します。 スイッチから手を離すと、ウインドー はその位置で止まります。
- ウインドースイッチを強く操作する と、オート機構が作動してスイッチか ら手を離しても自動で全開または全閉 します。

途中で止めたいときは、操作した方向 と逆の方向に軽く操作します。

■ 運転席ウインドーのオフディレイタイマー機能

運転席ウインドーは、エンジンスイッチ \overline{ON} の位置から \overline{ACC} または \overline{LOCK} にしたあとでも、30 秒以内は開閉が可能です。

- √lm アドバイス ―

30 秒以内でも、運転席ドアを開けて 閉めると、運転席ウインドーの開閉が できません。

■ 助手席/後席ウインドーの 開閉

ウインドースイッチを操作している間だけ開閉します。スイッチから手を離すと、ウインドーはその位置で止まります。

●パワースライド機能がない、またはクローザー機能がないスライドドアの場合、ドアが開いていると、後席ウインドーの開閉ができません。スライドドアを全閉にしてから、ウインドースイッチを操作してください。

■ はさみ込み防止機構

運転席ウインドーには安全装置として、 はさみ込み防止機構があります。

●オート機構を作動させて自動で閉めているときに、異物をはさみ込むなどしてウインドーに一定以上の負荷がかかると、ウインドーの動く方向が反転し、少し開いて停止します。(過負荷検知方式)

▲ 警告

はさまれる異物の形状や硬さ、はさまれかたによっては過負荷検知されず、はさみ込み防止機構が作動しない場合があります。重大な傷害を受けるおそれがありますので、十分に注意して開閉操作を行なってください。

▲ 注意

閉まり切る直前は、はさみ込みを検知 できない領域があります。指などをは さまないように気をつけてください。

_ √m アドバイス -

- ●ウインドーの故障で、はさみ込み防止機構が作動し、自動で閉めることができない場合があります。この場合、運転席ウインドースイッチを引き上げ続けると、完全に閉めることができます。
- ●悪路などを走行中にウインドーを自動で閉めると、衝撃や荷重がウインドーに加わって、はさみ込み防止機構が作動することがあります。

3. 運転装置の取扱い/各部の開閉

■ オート機構の初期設定のしかた

故障などで、運転席ウインドーの自動開 閉ができないときは、次の手順でオート 機構の初期設定を行なってください。

- **1** エンジンを始動します。
- **2** 運転席ウインドースイッチを押し続け、ウインドーを完全に開けます。
- **3** 運転席ウインドースイッチを引き上げ続け、ウインドーを完全に閉めます。
- 4 そのままスイッチを2秒以上引き上げ続けます。
- **5** 運転席ウインドーが自動開閉できるようになったか確認します。
- 手順 □~ 国を何度繰り返しても運転 席ウインドーが自動開閉できない場 合、システムの異常が考えられます。 マツダ販売店で点検を受けてくださ い。

助手席、後席での開閉

自席のウインドーだけ開閉できます。

- ウインドースイッチを操作している間 だけ開閉します。スイッチから手を離 すとウインドーはその位置で止まります。
- ◆お子さまを乗せているときは、運転席 ドアのウインドーロックスイッチを ロック 位置にしてください。
 - → 3-23ページ (ウインドーロックスイッチ)
- パワースライド機能がない、またはクローザー機能がないスライドドアの場合、ドアが開いていると、後席ウインドーの開閉ができません。スライドドアを全閉にしてから、ウインドースイッチを操作してください。



68H30520



68H30530

- √m アドバイス –

ウインドーロックスイッチが ロック 位置のときは、助手席/後席ウインドーの開閉ができません。

手動ウインドー

タイプ別装備

- 運転席、助手席、後席での開閉 ドアにあるハンドルをまわして開閉しま す。
- ●開閉方向は車両の左側と右側で逆になります。



68H30540

▲警告

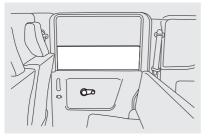
ウインドーの開閉は、お子さまではなく大人が行なってください。誤ってお子さまが開閉すると、手足や首などの身体をはさまれ、重大な傷害につながるおそれがあります。

- √lm アドバイス ―

●走行中に後席ウインドーだけを開けていると、耳を圧迫するような音が発生する場合があります。これは開いているウインドー周辺の気圧変動にともなう現象で、異常ではありません。空のビンなどの口に、横から息を吹きかけたときに音が鳴る現象と同じです。

後席ウインドーを開けたままでこの 音を軽減したい場合は、次のような 方法があります。

- 前席ウインドーも開ける。
- 後席ウインドーの開き具合を変える。
- ●後席ウインドーは、中間位置までし か開きません。



68H30

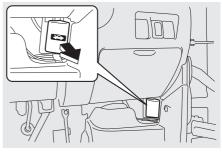
ボンネット

▲ 警告

- ●お子さまにはボンネットを開閉させないでください。ボンネットは重いため、けがのおそれがあります。また、ボンネット内は高温になるため、やけどのおそれがあります。
- ●ボンネットを開けているときは、お 子さまを近づけないでください。
- ●点検や清掃に使用した工具や布などは、ボンネット内に置き忘れないでください。故障の原因となったり、ボンネット内は高温になるため車両 火災につながったりするおそれがあります。

開けかた

1 運転席足元のボンネットオープナー を引くと、ボンネットの先端が少し 浮き上がります。



68H3056



68H30572

▲注意

エンジン回転中や停止直後は、ロックレバーが熱くなっていることがあります。やけどのおそれがありますので、ロックレバーを操作する前に確認してください。

注 記

ワイパーアームを起こした状態で、ボンネットを開けないでください。ワイパーアームやボンネットが傷つくおそれがあります。

- 3 ボンネットを固定します。
 - 車体側にあるステーをホルダーから外し、ボンネット側の固定穴に 差し込みます。



68H30583

▲注意

- ●エンジン回転中や停止直後は、ステーが熱くなっていることがあります。やけどのおそれがありますので、ステーを持つ前に確認してください。
- ●ステーは固定穴に確実に差し込んでください。ステーが外れると、ボンネットに身体がはさまれることがあります。
- ●ボンネットが風にあおられて、ス テーが外れることがあります。とく に風の強い日は注意してください。
- ●ボンネットを開けたときは、ボン ネット先端部に頭や肩などの身体を ぶつけないよう気をつけてくださ い。けがのおそれがあります。

閉めかた

- 1 ボンネットを片手でささえながら、 ステーを外して、もとのホルダーに 固定します。
- 2 ボンネットを閉めます。
 - ボンネットを20 cmぐらいの高さまでゆっくりと下げて、手を離します。



68H305

▲ 注意

- ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように気をつけてください。また、強く押さえると、ボンネットがへこむおそれがあります。
- ●ボンネットが完全に閉まっているか確認してください。完全に閉まっていないと、走行中に開くおそれがあります。

エンジンルーム

前席シートを引き上げると、エンジンルーム内の点検ができます。

▲警告

- お子さまにはシートを開閉させないでください。シートは重いため、けがのおそれがあります。また、エンジンルーム内は高温になるため、やけどのおそれがあります。
- ●シートを開けているときは、お子さまを近づけないでください。
- ●点検や清掃に使用した工具や布などは、エンジンルーム内に置き忘れないでください。故障の原因となったり、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながったりするおそれがあります。

■ 開けかた

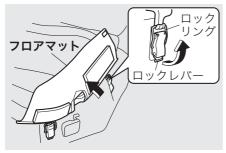
- スライドレバーを引き上げて、シー トを後方へいっぱいまでスライドさ せます。
- リクライニングレバーを引き上げ | **2** | リクフューション て、背もたれを前方へ倒します。
 - → 3-32ページ

(背もたれの角度調節)



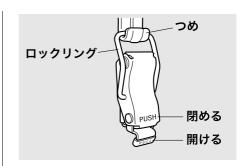
68H30601

- **3** シート前側下部のフロアマットをめくり上げます。
- 4 ロックレバーを引き起こして、ロッ クリングをつめから外します。



68H30611

3. 運転装置の取扱い/各部の開閉



68H30620

5 シート前側を持ち上げます。



68H30631

▲ 注意

シートを持ち上げるときは、シート全 体が急に後方へ倒れることがありま す。手などをそえて操作してください。

■ 閉めかた

「開けかた」と逆の手順で行ないます。

- シートを固定するときは、ロックレ バーの PUSH 側を押します。
- シート固定後は、シートをゆすって、 確実に固定されているか確認してくだ さい。

▲ 注意

シートをもどすときは、手などをはさ まないように気をつけてください。

燃料給油口

2-19 ページの「**給油するときは**」もあわせてお読みください。

▲警告

必ず次のことをお守りください。

- ●エンジンを止めてください。
- ●給油中はドアや窓を閉めてください。
- ●ガソリンは引火性が高いため、タバコなどの火気は厳禁です。

●閉めるときは時計方向にまわし、カチッという音が2回以上するまで締めます。

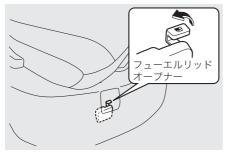


68H30652

フューエルリッド

運転席ドアの下側にあります。

- 開けるときは、運転席足元のフューエルリッドオープナーを引き上げます。
- 閉めるときは、フューエルリッドを手で押しつけます。



68H30641

フューエルキャップ

●開けるときは、ゆっくり反時計方向に まわします。

▲警告

- ●フューエルキャップはゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まったらキャップを開けます。急に開けると燃料タンク内の圧力が急激に抜け、燃料が吹き出すおそれがあります。
- ●燃料をこぼさないようにしてください。こぼれた場合は、ただちに柔らかい布などでふき取ってください。 火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。また、そのまま放置すると、塗装のしみ、変色、ひび割れの原因となります。
- ●給油後は、フューエルキャップを しっかりと閉めてください。キャッ プが確実に閉まっていないと、燃料 が漏れたり、火災が発生したりする おそれがあります。
- ●指定のマツダ純正フューエルキャップ以外は使用しないでください。燃料漏れのおそれがあります。

キャップホルダー

フューエルリッドの裏側にあります。

● 給油中は外したキャップが車体にあた らないように、ひもの部分をかけてく ださい。



前席シート

→ 5-25ページ(アームレスト)

▲ 注意

- ●シートを調節するときは、手足をは さんだり、身体にあてたりしないよ うに気をつけてください。
 - → 2-9 ページ (ハンドル、シート、 ミラーの調節は走行前に)
- ●シートを調節したあとは、シートを 前後にゆするなどして、確実に固定 されているか確認してください。

正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるように、次のこ とに注意してシートを調節してくださ い。

●背もたれと腰の間にすき間のないよう にシートに深くすわります。

3. 運転装置の取扱い/各部の開閉

- ●ペダル類を踏み込んだときに、ひざが 伸びきらないで余裕があるようにシー トを前後に調節します。
- 背中を背もたれに軽くつけ、ハンドル を握ったときにひじが軽く曲がる程度 に背もたれの角度を調節します。



68H30660

背もたれと背中の間にクッションなど を入れないでください。正しい運転姿 勢がとれないばかりか、シートベルト やヘッドレストの効果が十分に発揮さ れないおそれがあります。

前後位置の調節

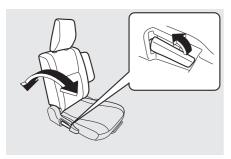
スライドレバーを引き上げたまま、シー トを前後に動かします。



68H30672

背もたれの角度調節

- ●後方へ倒すときは、リクライニングレバーを引き上げたまま、背中で軽く押します。
- 前方へ起こすときは、背中を少し浮かせて、リクライニングレバーを引き上げます。



68H30681

▲ 警告

背もたれを必要以上に倒さないでください。シートベルトや SRS エアバッグシステムが本来の効果を発揮できません。

▲注意

背もたれから離れてリクライニングレバーを操作すると、背もたれが急に起きあがって前方に倒れることがあります。手などをそえて操作してください。

ヘッドレストの高さ調節と 取外し・取付け

■ 高さの調節

走行前に、ヘッドレスト中央の高さが耳の位置になるように調節し、しっかりと 固定します。背が高い人は、固定できる 範囲で一番高い位置にしてお使いください。

- ●高くするときは、ヘッドレストを手で 持ち上げます。
- 低くするときは、ロックボタンを押したままヘッドレストを押し下げます。

■ 取外しかた

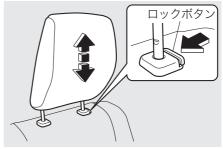
ロックボタンを押したまま引き抜きます。

⚠警告

ヘッドレストを外したまま、走行しないでください。

■ 取付けかた

ヘッドレストの前後の向きを間違えない ように、固定される位置まで差し込み、 高さの調節をします。



68H30691

⚠ 警告

ヘッドレストは、しっかりと固定して ください。また、ヘッドレストを前後 逆に取り付けないでください。ヘッド レストが本来の効果を発揮できませ ん。

ヘッドレストを前後逆に取り付ける と、ヘッドレストの高さ調節ができま せん。

シートヒータースイッチ (運転席のみ)

タイプ別装備

エンジンスイッチが ON のときに使用できます。

- ■スイッチを押すと、シート内にある ヒーターが作動して、スイッチ内の表 示灯が点灯します。
 - もう一度押すとヒーターが切れます。
- シートが適温になったら、スイッチを 切ってください。



68H30701

▲注意

- ●長時間ヒーターを使用すると、低温 やけど(水ぶくれなど)の原因にな ります。
- ●毛布や座ぶとんなど、保温性の高い ものをシートにかけないでください。 過熱の原因となります。

注 記

- ●シートの上に重い荷物を置いたり、 針やくぎなどをシートに刺したりしないでください。
- ●シートをお手入れするときは、ベンジン、ガソリンおよびアルコールなどの溶剤を含む洗浄液を使用しないでください。シート表面やヒーターが損傷する原因となります。
 - **→ 6-4ページ (内装のお手入れ)**

- ●水やジュースなどをこぼしたとき は、柔らかい布などでふき取り、十 分に乾かしてからご使用ください。
- ●バッテリー保護のため、エンジンが かかっているときに使用してくださ い。

- dlm アドバイス -

ヒーターには、自動的にスイッチが切れるタイマー機能がありません。また、スイッチを切らないと、エンジンスイッチを \boxed{ON} にするたびにヒーターが自動的に入ります。

長い荷物を積むとき (助手席シート)

後席シートの格納のあとに、助手席の背もたれを前方へ倒すと、より長い荷物が 積めます。

- → 3-36ページ (分割可倒式シートの格納のしかた)
- → 3-39ページ (一体式シートの格納のしかた)

▲ 警告

- ●前方へ倒した背もたれの上に、人を乗せないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに投げ出されてけがのおそれがあります。また、シートが破損する原因となります。
- ●背もたれを前方へ倒したときは、荷物を確実に固定してください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、 荷物が飛び出して身体にあたるおそれがあります。

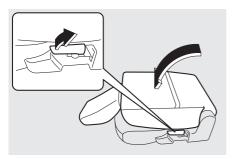
■ 背もたれの前方への倒しかた

1 スライドレバーを引き上げ、助手席 シートを後方へいっぱいまでスライ ドさせます。また、ヘッドレストを 一番低い位置に調節します。



68H31650

2 リクライニングレバーを引き上げ、 背もたれを前方へいっぱいまで倒し ます。



68H30711

- √m アドバイス -

手順[]を行なわずに背もたれを前方へ倒すと、グローブボックスやアクセサリーソケットのふたの開閉、エアコン吹出し口のノブの操作ができなくなる場合があります。

■ もとにもどすときは

「**背もたれの前方への倒しかた**」と逆の 手順で行ないます。

● 背もたれをゆすって、確実に固定されているか確認してください。

後席シート

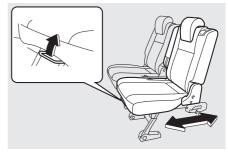
▲ 注意

- ●シートを調節するときは、手足をは さんだり、身体にあてないように気 をつけてください。
- ●シートを調節したあとは、シートを 前後にゆするなどして、確実に固定 されているか確認してください。

前後位置の調節

タイプ別装備

スライドレバーを引き上げたまま、シートを前後に動かします。



68H30721

▲警告

シートの下に物を置かないでください。物がはさまって、シートが固定されないおそれがあります。

背もたれの角度調節

タイプ別装備

- | 片方の手を背もたれにそえ、もう一方の手で背もたれ上面にあるロックレバーをいっぱいに引き上げます。
 - シートからおりて操作してください。シートにすわったままロックレバーを引き上げると、背もたれが急に最大角度まで倒れ込むことがあります。
 - ロックレバーはいっぱいに引き上げてください。ロックが解除されないうちに背もたれを倒そうとすると、レバーの動きが重くなります。
- 2 ロックレバーを引き上げたまま、背もたれを好みの角度の少し手前まで倒します。



68H30731

3 ロックレバーから手を離し、固定される位置まで背もたれを倒します。

▲警告

背もたれを必要以上に倒さないでください。シートベルトが本来の効果を発揮できません。

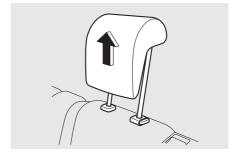
ヘッドレストの高さ調節と 取外し・取付け

タイプ別装備

■ 使用時の位置

使用するときは、ヘッドレストを手で持ち上げ、しっかりと固定します。

使用時

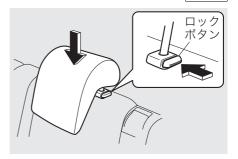


68H31720

■ 収納時の位置

収納するときは、ロックボタンを押したままヘッドレストを一番下まで押し下げます。

収納時



68H31730

■ 取外しかた

ロックボタンを押したまま引き抜きます。

▲警告

ヘッドレストを外したまま、後席に人 を乗せないでください。

▲ 注意

取り外したヘッドレストは、客室内に 放置しないでください。急ブレーキを かけたときなどに乗員や物などに当 たって、思わぬ事故につながるおそれ があります。

■ 取付けかた

ヘッドレストの前後の向きを間違えない ように、固定される位置まで差し込み、 高さ調節をします。

▲ 警告

- ●ヘッドレストは、しっかり固定してください。また、ヘッドレストを前後逆に取り付けないでください。ヘッドレストが本来の効果を発揮できません。ヘッドレストを前後逆に取り付けると、ヘッドレストの高さ調節ができません。
- ●お子さま用シートを取り付けるとき は、お子さま用シートを取り付けるとストな子さま用シートがへ、へ高 いたのを防ぐため、一番できる範囲でそのできるできるできるできるできるできるできるできるできるできる状場では、 ではお子さま用シートにあたしてがまりまして、いる子さまのをしてくださいため、 ではないため、衝突のときないため、なまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

分割可倒式シートの格納のし かた

タイプ別装備

後席シートを格納すると、荷室が広く使 えます。

▲警告

倒した背もたれの上や荷室に人を乗せないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、投げ出されてけがをするおそれがあります。

▲注意

- ●格納前に、シートの下に物が落ちて いないか確認してください。
- ●シートを動かすときは、手足をはさんだり、身体にあてたりしないよう に気をつけてください。

■ 格納のしかた

- 1 格納のさまたげにならないよう、前席を前方へ動かします。
 - → 3-31ページ (前席シート)
- 2 シートベルトのバックルをシート クッション内に収納します。



68H30750

注記

バックルは、シートクッション内に収納してください。シートを動かすときに破損するおそれがあります。

3 アームレストを手前に倒しているときは収納します。また、ヘッドレストを一番低い位置に調節します。



68H30761

- 4 スライド機構付後席の場合、シートスライドレバーを引き上げて、シートを"シート格納範囲"までスライドさせます。
 - "シート格納範囲" については、 シート外側にあるラベルをお読み ください。



68H30771

_ √m アドバイス -

スライド機構付後席の場合、シートを "シート格納範囲"まで動かさない と、シートを完全に格納できません。

3. 運転装置の取扱い/シートの調節

5 ロックレバーを引き上げ、そのまま 背もたれを前方へ倒します。

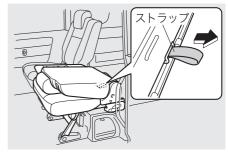


68H30781

- √lm アドバイス —

後席のヘッドレストを取り外すと、よりフラットにシートを格納できます。

6 シート裏側にあるストラップを引き 上げ、シートのロックを解除しま す。



68H30791

▲注意

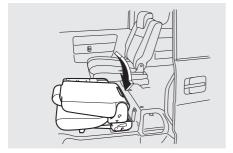
荷物の固定などに、ストラップを使用 しないでください。走行中に突然シー トのロックが外れ、思わぬけがのおそ れがあります。

7 ベルトを持ってシート全体を引き上げ、前方へ動かします。



68113080

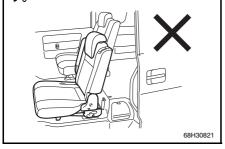
- ◆後席のヘッドレストが前席にあたる場合は、前席を前方へ動かしてください。
- 8 シート後部を押し下げます。



68H30811

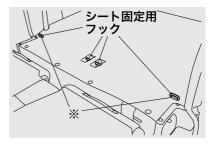
▲警告

背もたれだけをもとにもどして、人を 乗せないでください。後席が固定され ていないため、ブレーキや加速、衝突 のときなどに、けがのおそれがありま す。



▲注意

- ●シート裏のロック部品に指などを入れないでください。けがのおそれがあります。
- ●荷物の固定などに、シート固定用フックを使用しないでください。また、フックやシート裏のロック部品に砂などの異物を付着させないでください。ロック部品が損傷したりフックが曲がったりして、シートが固定できなくなるおそれがあります。



68H3083

※スライド機構なし後席の場合、外側にあるシート固定用フックはありません。(中央のみ)

■ もとにもどすときは

3-36 ページの「**格納のしかた**」と逆の 手順で行ないます。

▲ 注意

- ●シートをもどす前に次のことを確認 してください。シートが適切に固定 できなくなり、けがにつながるおそ れがあります。
 - ・シートをもどす場所に、物が落ちていないか確認してください。また、荷室床のシート固定用フックに砂などの異物が付着していたら取り除いてください。そのままシートをもどすと、フックやシート裏のロック部品が損傷するおそれがあります。

- ●シートをもどしたあとは、背もたれをゆすったり座面を押したりして、シートが確実に固定されているか確認してください。固定が不確実な場合、走行中に突然シートのロックが外れ、思わぬけがのおそれがあります。
- 一体式シートの格納のしかた

タイプ別装備

後席シートを格納すると、荷室が広く使 えます。

▲ 警告

倒した背もたれの上や荷室に人を乗せないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、投げ出されてけがのおそれがあります。

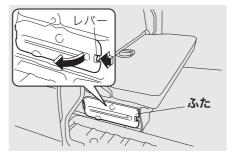
▲ 注意

- ●格納前に、シートの下に物が落ちて いないか確認してください。
- ●シートを動かすときは、手足をはさんだり、身体にあてたりしないよう に気をつけてください。

■ 格納のしかた

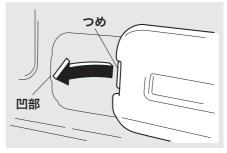
- 1 格納のさまたげにならないよう、前席を前方へ動かします。
 - → 3-31ページ(前席シート)
- ※ラバー仕様などの厚手のフロアマットを後席足元に敷いていると、シート格納のさまたげになる場合があります。格納前にフロアマットを荷室に収納するか、次の[2]から[3]までの手順を行なってください。

- 2 後席の右側床下にあるふたを外します。
 - ◆レバーを車の後ろ方向へ押しながら、ふたを手前に引きます。



68H30861

外したふたを取り付けるときは、 つめを車体の凹部に合わせてから、ふたを押し付けます。



68H30871

- √lm アドバイス −

左側のふたを外すときは、ジャッキハ ンドルを先に外す必要があります。

→ 7-2ページ(ジャッキハンドル)

3 フロアマットを後席の右側床下に収納します。

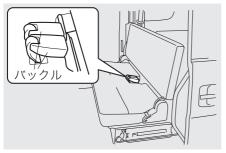


68H30850

- √m アドバイス -

お車のタイプやフロアマットの形状により、この場所には入らない場合があります。

4 シートベルトのバックルを図のようにします。



68H30881

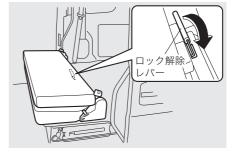
注記

バックルは図のようにしてください。 シートを動かすときに破損するおそれ があります。 5 シート左側にあるストラップを引き 上げ、そのまま背もたれを前方へ倒 します。



68H30891

6 シート裏側にあるロック解除レバー を引き上げ、シートのロックを解除 します。



68H30901

[7] シート全体を両手で支えて、前方へ 約180度回転させます。



68H30910

▲注意

- ●シート裏のロック部品に指などを入れないでください。けがのおそれがあります。
- ●荷物の固定などに、シート裏のロック部品やシート固定用フックを使用しないでください。また、ロック部品やフックに砂などの異物を付着させないでください。ロック部品が損傷したりフックが曲がったりして、シートが固定できなくなるおそれがあります。

− √lm アドバイス −

シートを格納するときは、下図のよう に手をそえ、背もたれを開かないよう にすると、床とのあたりなく格納しや すくなります。



■ もとにもどすときは

3-39 ページの「**格納のしかた**」と逆の 手順で行ないます。

▲注意

- シートをもどす前に次のことを確認 してください。シートが適切に固定 できなくなり、けがにつながるおそ れがあります。
 - シートをもどす場所に、物が落ちていないか確認してください。ま

た、荷室床のシート固定用フック に砂などの異物が付着していたら 取り除いてください。そのまま シートをもどすと、フックやシー ト裏のロック部品が損傷するおそ れがあります。

●シートをもどしたあとは、背もたれをゆすったり、座面を押したりして、シートが確実に固定されているか確認してください。固定が不確実な場合、走行中に突然シートのロックが外れ、思わぬけがのおそれがあります。

ISOFIX対応チャイルドシート 固定専用金具

ワゴンタイプ車の後席には、ECE R44 (※1)の基準に適合した ISOFIX (※2)タイプのお子さま用シート (別売り)を固定するための専用金具が装備されています。 (ただし、バンタイプ車の後席には装備されていません)

- ●座面と背もたれのすき間にある金具が、ISOFIX対応チャイルドシート固定 用アンカー(以下ISOFIXアンカーと略す)です。
- 背もたれ裏側下方にある金具が、チャイルドシート固定用テザーアンカー (以下テザーアンカーと略す)です。
- ※1 ECE R44 とは、お子さま用シート に関する国際法規です。
- ※2 ISOFIX とは、お子さま用シートの 固定装置の大きさや取付け方法を統 した国際標準化機構【ISO(※ 3)】の規格です。
- ※3 ISOとは、International Organization for Standardization (インターナショナル オーガニゼイション フォー スタンダーディゼイション)の略です。

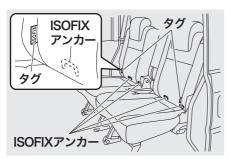
<マツダ純正用品の場合>

	ISOFIX アンカー	テザー アンカー
ISOFIXタイプの ベビーシート (後ろ向きに固定)	(使用)	○ (使用)
ISOFIXタイプの チャイルドシート (前向きに固定)	(使用)	○ (使用)

- お子さま用シートは、お子さまの年齢 や体格に合った適切なものを選んでく ださい。
 - → 4-9 ページ (お子さま用シートの 選択について)
- ISOFIXタイプのお子さま用シートは、 シートベルトで固定する必要がありま せん。
- シートベルトで固定するお子さま用シートを取り付けるときは、4-7ページの「お子さま用シートのシートベルトによる固定」をお読みください。

■ 固定のしかた

- 1 ISOFIX アンカーの位置を確認しま す。
 - 座面と背もたれのすき間にあります。



68H31660

- √lm アドバイス -

ISOFIX アンカーがある付近には、前 図のようなタグがついています。

- 2 テザーアンカーの位置を確認します。
 - 背もたれ裏側下方にあります。



68H31670

- **3** 後席のヘッドレストは、お子さま用シートに当たらない高さに調節するか取り外します。
 - → 3-35 ページ (ヘッドレストの 高さ調節と取外し・取付け)



68H40111

▲ 警告

ヘッドレストを調節してもお子さま用シートに当たる場合は、ヘッドレストを取り外してください。ヘッドレストに当たった状態ではお子さま用シートが確実に固定されないため、衝突のと

きなどにお子さまが重大な傷害を受け るおそれがあります。

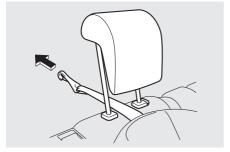
- 4 座席が確実に固定されているか確認します。
- 5 お子さま用シートに付属の取扱説明書にしたがって、お子さま用シートのコネクターを ISOFIX アンカーへ差し込みます。



68H31680

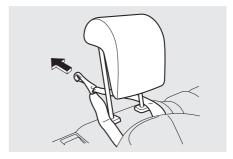
- 6 テザーベルトを使用する場合、次のようにしてテザーアンカーへ取り付けます。
 - ヘッドレストを取り付けていると きは、図(代表例)のように持ち 上げたヘッドレストと背もたれの 間を通す

テザーベルト1本の場合



68H31690

テザーベルト2本の場合



68H31700

7 お子さま用シートを前後左右にゆ すって、確実に取り付けられている か確認します。

▲ 警告

- ●お子さま用シートを取り付けるときは、ISOFIXアンカーやテザーアンカー周辺にシートベルトや異物などがないか確認してください。シートベルトなどがかみ込むと、お子さま用シートが正しく固定されず、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ●荷物の固定などに、ISOFIXアンカーやテザーアンカーを使用しないでください。アンカーが曲がったり損傷したりすると、お子さま用シートが正しく固定されず、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

フルフラットシート

タイプ別装備

前席と後席の背もたれを後方へ倒すと、 室内に連続的な空間が作れます。

⚠ 警告

フルフラットにしたシートに、人や荷物をのせて走行しないでください。 ブレーキや加速、衝突のときなどに、 投げ出されたり、荷物が身体にあたったりして重大な傷害を受けるおそれがあります。

▲ 注意

- ●フルフラットにしたシートの上を歩きまわらないでください。シートから足を踏み外すと、けがのおそれがあります。
- ●シートをもとにもどしたときは、クッションや背もたれをゆすって、しっかりと固定されているか確認してください。シート自体の固定が不確実な場合、走行中に突然シートが動いたり背もたれが前に倒れたりして、思わぬけがをするおそれがあります。

注記

シートに強い衝撃をあたえないでくだ さい。シートが損傷することがありま す。

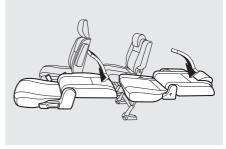
フルフラットにするときは

- 1 アームレストを持ち上げ収納しま す。
- **2** スライド機構付後席の場合、後席を 後方へいっぱいまでスライドさせま す。
- **3** 前席のヘッドレストを外し、前席を 前方へいっぱいまでスライドさせま す。



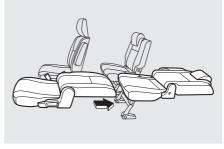
68H3093

- 4 前席と後席の背もたれを、後方へいっぱいまで倒します。
 - スライド機構付後席の場合、後席 の背もたれをお好みの角度に調節 してください。



68H3094

5 後席にあたるまで、前席を後方へスライドさせます。



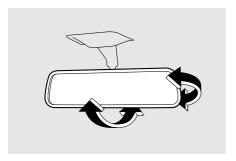
6913005

もとにもどすとき

「**フルフラットにするときは**」と逆の手順で操作します。

ルームミラー

ミラー全体を動かして角度を調節します。



68H30960

▲ 警告

必ず走行前に調節してください。走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ 事故につながるおそれがあります。

ドアミラー

角度の調節

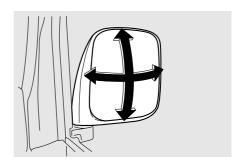
▲警告

必ず走行前に調節してください。走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ 事故につながるおそれがあります。

3. 運転装置の取扱い/各部の調節

■ 標準ドアミラー タイプ別装備

ミラー全体を動かして調節します。



68H30970

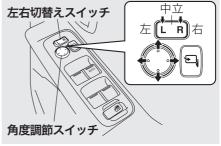
■ 電動リモコンドアミラー

タイプ別装備

ドアミラー角度調節スイッチ

エンジンスイッチが ACC または ON のときに使用できます。

- 1 左右切替えスイッチを、調節したい ミラーの側を押します。
- **2** 角度調節スイッチを押して、上下左右にミラーを動かします。



68H30981

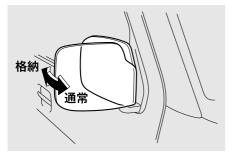
- √lm アドバイス ----

調節後は、左右切替えスイッチを中立 の位置へもどしてください。

3. 運転装置の取扱い/各部の調節

格納

狭い場所で駐車するときなどに、ドアミラーを車の後ろ方向に倒すことができます。



68H30990

◆上図のドアミラーは代表例です。お車のタイプにより異なります。

▲注意

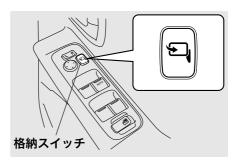
- ●ドアミラーを倒したまま走行しない でください。後方の確認ができず、 事故を起こすおそれがあります。
- ●ドアミラーは車体より張り出しています。ドアミラーを車外の人や物にあてないように気をつけてください。

■ドアミラー格納スイッチ

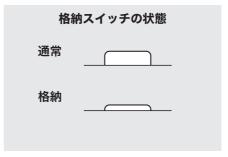
タイプ別装備

エンジンスイッチが ACC または ON のときに使用できます。

● 格納スイッチを押すごとに、格納と通 常の位置に切り替わります。



68H31000



68H31011

▲注意

- ●動いているドアミラーに触れないでください。手をはさんでけがのおそれがあります。また、ドアミラー故障の原因となります。
- ●格納スイッチでドアミラーを格納したときは、手でドアミラーを通常の位置にもどさないでください。ドアミラーの固定が不完全になるため、走行中の振動や走行風などでドアミラーが動くおそれがあります。その場合は、スイッチを通常の位置に押して、確実にドアミラーを固定してください。

注記

エンジンスイッチが ACC または ON の位置にあるときは、手でドアミラーを操作しないでください。ドアミラー故障の原因となります。

− √lm アドバイス −

- ●ドアミラーを手で動かすと、エンジンスイッチを [ACC] または [ON] にしたときに、ドアミラーが動き出すことがあります。
- ●格納スイッチが通常の位置で、ドアミラーが車の前方向に倒れていると、エンジンスイッチを「ACC」または「ON」にしたときに、ドアミラーがさらに車の前方向に倒れてしまいます。ドアミラーをもとの状態にもどすときは、一度格納操作をしてください。

ドアミラーヒータースイッチ

タイプ別装備

ドアミラーヒーターは、リヤデフォッガーと連動します。

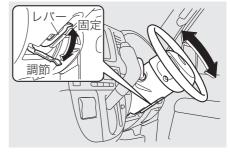
→ 3-63ページ (リヤデフォッガースイッチ)

3. 運転装置の取扱い/各部の調節 チルトステアリング

タイプ別装備

ハンドルの高さ調節

- → 2-9 ページ (ハンドル、シート、ミラーの調節は走行前に)
- 1 ハンドルの固定を解除します。
 - ◆片手でハンドルをささえながら、 ハンドル下のレバーを押し下げます。
- **2** ハンドルを上下に動かし、適切な位置に調節します。
- 3 調節後は、ハンドルを固定します。
 - ◆ その位置でハンドルを押さえたまま、レバーをもとの位置まで確実にもどします。



68H31042

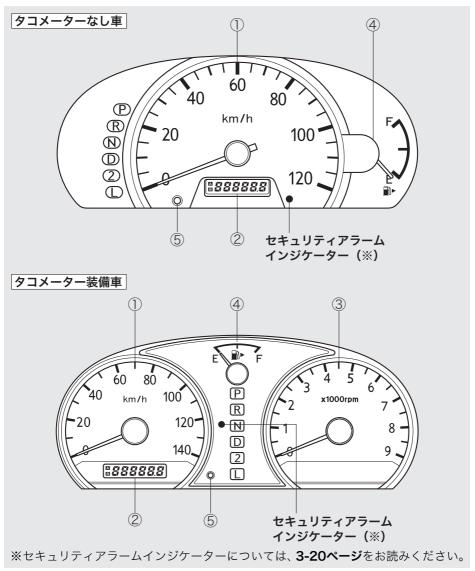
▲注意

調節後はハンドルを上下にゆすって、 確実に固定されているか確認してくだ さい。

3. 運転装置の取扱い/メーター

メーターの見かた

イラストは代表例です。お車のタイプにより、このイラストと異なることがあります。



68H31052

- ①スピードメーター(速度計)
- ②オドメーター/トリップメーター
- ③タコメーター (エンジン回転計)
- ④燃料計
- ⑤表示切替えボタン

① スピードメーター (速度計)

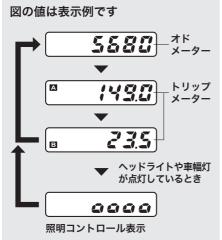
走行速度がkm/hで示されます。

② オドメーター/トリップメー ター

エンジンスイッチを ON にすると、 次のいずれかが表示されます。

- オドメーター (積算距離計)
- トリップメーター(区間距離計)

メーター内の表示切替えボタンを押す と、次の図のように表示が切り替わりま す。



68H31062

▲警告

走行中は、表示の切替え操作をしない でください。操作に気を取られて、思 わぬ事故につながるおそれがありま す。

– √lm アドバイス -

表示は、ボタンを離したときに切り替わります。

3. 運転装置の取扱い/メーター

オドメーター(積算距離計)

新車時(またはメーター交換時)からの 走行距離の累計が km 単位で表示されま す。(リセットはできません)

トリップメーター(区間距離計)

リセット後の走行距離が km 単位で表示されます。(次にリセットするまで距離 計測は継続されます)

▲ および B の 2 種類の走行距離を同時に計測できます。

く使いかたの例>

▲ : 出発時にリセットして、出発後 の距離を計測

B:給油時にリセットして、給油後 の距離を計測

● リセットするときは、表示が「0.0」 になるまで表示切替えボタンを長押し します。

- √m アドバイス —

トリップメーターの最大値は 9999.9 で、そのあと 0.0 にもどります。(距離計測は継続されます)

③ タコメーター (エンジン回転計)

タイプ別装備

↑分間あたりのエンジン回転速度(回転数)を示します。

注記

- ●エンジン保護のため、指針がレッド ゾーン(※)に入らないように運転 してください。
 - ※エンジンの許容回転を超えている ことを示す赤色表示範囲
- ●シフトダウンすると、エンジン回転が上がります。とくに注意してください。
 - → 3-70ページ (シフトダウンの上限速度)

3. 運転装置の取扱い/メーター

④ 燃料計

エンジンスイッチが ON のとき、燃料 残量の目安が表示されます。

− √m アドバイス —

- ●燃料残量警告灯が点灯したときは、 すみやかに給油してください。
 - → 3-53ページ (燃料残量警告灯)
- ●給油後は、エンジンスイッチを ON にしてから指針が正しい量を示すまでに、少し時間がかかります。
- ●坂道やカーブなどでは、タンク内の 燃料が移動するため、指針が振れる ことがあります。
- 配 の右にある ▶ 印は、給油口(フューエルリッド)が運転席側にあることを示します。

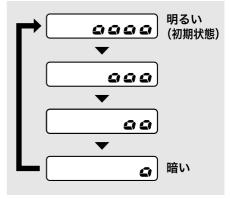
メーターの照明

ヘッドライトや車幅灯が点灯している 間、点灯します。

■ メーターの明るさ調節

4段階に調節できます。

● ヘッドライトや車幅灯を点灯し、照明 コントロール表示(3-49 ページ参 照)にしたうえで、表示切替えボタン を長押しします。明るさが | 段階ずつ 変化します。



68H31070

▲ 警告

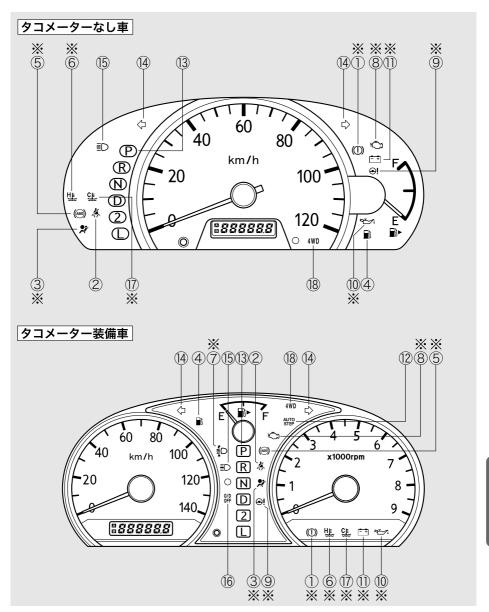
走行中は明るさ調節をしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故 につながるおそれがあります。

− √lm アドバイス −

- ●調節中に、表示切替えボタンを短押しするか 10 秒以上押さないでいると、オドメーターの表示に切り替わります。
- ●バッテリーを外すと記憶が消去され、初期状態にもどりますので、明るさ調節をやり直す必要があります。

警告灯・表示灯の見かた

イラストは代表例です。お車のタイプにより、このイラストと異なることがあります。



68H31080

3. 運転装置の取扱い/メーター

- ①ブレーキ警告灯(※)
- ②シートベルト警告灯
- ③SRSエアバッグ警告灯(※)
- ④燃料残量警告灯
- ⑤ABS警告灯(※)
- ⑥水温警告灯(※)
- (7)オートレベリング警告灯(※)
- ⑧エンジン警告灯(※)
- ⑨パワーステアリング警告灯(※)
- ⑩油圧警告灯(※)
- ⑪充電警告灯(※)
- (12)オートステップ警告灯
- (3)セレクトレバー位置表示灯
- (4)方向指示器表示灯
- (⑤ヘッドライト上向き (ハイビーム) 表示灯
- 16オーバードライブOFF表示灯
- ⑪低水温表示灯(※)
- (18)4WD表示灯

※印の警告灯・表示灯は、エンジンスイッチを ON にしたときに初期点灯するのが正常です。点灯しない場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。

① ブレーキ警告灯



68H3109

- 次のような状況になると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。
 - ブレーキ液が不足している
 - パーキングブレーキをかけている
 - ブレーキシステムに異常がある
- システムが正常で、パーキングブレーキを完全に解除しているときは、エンジンスイッチを ON にすると約2秒間点灯したあと消灯します。
- 走行中に一時的に点灯しても、そのあ と消灯し再点灯しなければ正常です。

▲警告

- ●次のようなときはただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店にご連絡 ください。
 - パーキングブレーキを完全に解除 しても消灯しないときや、走行中 に点灯したとき。ブレーキの効き が悪くなっていることがありま す。ブレーキペダルを強く踏んで 停車してください。
 - ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したままのとき。ABSに異常が発生しているだけでなく、ブレーキペダルを強く踏むと車両が不安定になるおそれがあります。
- ●パーキングブレーキの解除忘れにご注意ください。パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキ装置が過熱して、ブレーキが効かなくなるおそれがあります。

② シートベルト警告灯



68H311

運転者がシートベルトを着用していないと、エンジンスイッチが ON のときに 点灯します。

また、エンジンをかけて走行を開始してから、最初に車速が約15 km/h 以上になったときに運転者がシートベルトを着用していない場合、シートベルト警告ブザーが断続的に鳴るとともに、警告灯が点灯から点滅に切り替わります。

● 運転者がシートベルトを着用しても、 点灯または点滅したままのときは、シ ステムの異常が考えられます。マツダ 販売店で点検を受けてください。

— √lm アドバイス -

- ●運転者がシートベルトを着用すると 消灯します。また、警告ブザーが 鳴っているときは、ブザーも止まり ます。
- ●警告ブザーは運転者がシートベルトを着用しなくても、約95秒間鳴り続けたあとに止まります。ただし、警告灯は点滅から点灯に切り替わったまま、エンジンスイッチを「ACC」または「LOCK」にするまで消灯しません。

③ SRSエアバッグ警告灯



68H31110

3. 運転装置の取扱い/メーター

SRSエアバッグ、シートベルトプリテンショナーの電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。

● システムが正常な場合はエンジンス イッチを ON にしたときに、約6秒間 点灯したあと消灯します。

▲警告

次のような場合は、システムの異常が 考えられます。マツダ販売店で点検を 受けてください。

- ●運転中に点灯
- ●エンジンスイッチを ON にしても 点灯しない
- ●エンジンスイッチを ON にしたあ と、約6秒間たっても消灯しない

④ 燃料残量警告灯



68H31120

燃料の残量が少なくなると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。すみやかに給油してください。

→ 3-50ページ (燃料計)

— √lm アドバイス ——

- ●坂道やカーブなどではタンク内の燃料が移動するため、早めに点灯する ことがあります。
- ●走りかたによって、点灯・消灯が繰り返されることがあります。

3. 運転装置の取扱い/メーター

⑤ ABS警告灯

ABS装備車



68H31130

ABS(アンチロックブレーキシステム)の電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。点灯中はABSが作動しません。マツダ販売店で点検を受けてください。

◆システムが正常な場合はエンジンス イッチを ON にしたときに、約2秒間 点灯したあと消灯します。

▲警告

ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時 に点灯したままのときは、ただちに安 全な場所に停車し、マツダ販売店にご 連絡ください。ABS に異常が発生し ているだけでなく、ブレーキペダルを 強く踏むと車両が不安定になるおそれ があります。

− √m アドバイス —

点灯中はABSは作動しませんが、通常のブレーキとして使用することができます。

⑥ 水温警告灯



68H31140

エンジン回転中に、エンジン冷却水温が高くなると点滅します。また、エンジン冷却水温が異常に高くなったときは点灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンス イッチを ON にしたときに約3秒間点 灯したあと消灯します。
- 点灯したときは、オーバーヒートのお それがあります。ただちに安全な場所 に停車してください。
 - → 7-18ページ (オーバーヒートしたとき)
- 水温警告灯と低水温表示灯が同時に点滅したときは、システムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

⑦ オートレベリング警告灯

タイプ別装備



68H31150

ディスチャージへッドライト装備車では、オートレベリング(自動光軸調整)システムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンス イッチを ON にしたときに約2秒間点 灯したあと消灯します。
- 走行中に点灯した場合は、安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。再びエンジンスイッチを ON にしたときに、約2秒間点灯したあと消灯すれば、そのまま使用できます。 消灯せず再び点灯する場合は、システムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

⑧ エンジン警告灯



68H31

- エンジンの電子制御システムに異常があると、エンジン回転中に点灯します。
- エンジンの失火を検知すると、エンジン回転中に点灯または点滅します。
- システムが正常な場合はエンジンス イッチを ON にしたときに点灯し、 エンジンがかかると消灯します。
- エンジン回転中に点灯・点滅したときは、マツダ販売店で点検を受けてください。

▲警告

点滅したときは、すみやかに停車しエンジンを止めてください。触媒装置が溶損するおそれがありますので、次のことに注意してください。

- ●枯れ草などの燃えやすいものがない 安全な場所に停車する
- ●やむをえず走行する場合はアクセルペダルを大きく踏み込む走行をしないで、低速で走行する

3. 運転装置の取扱い/メーター

⑨ パワーステアリング警告灯



68H31170

電動パワーステアリングシステムに異常があると、エンジン回転中に点灯します。 マツダ販売店で点検を受けてください。

● システムが正常な場合は、エンジンス イッチを ON にしたときに点灯し、 エンジンがかかると消灯します。

▲ 注意

電動パワーステアリングシステムに異常があると、電動パワーステアリングシステムの機能が停止し、ハンドル操作が重くなります。通常より大きな力で操作することは可能ですが、すみやかにマツダ販売店で点検を受けてください。

3. 運転装置の取扱い/メーター

10 油圧警告灯



68H31180

エンジン回転中に、エンジンの内部を潤滑するエンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンス イッチを ON にしたときに点灯し、 エンジンがかかると消灯します。
- エンジンオイルの量は、オイルレベル ゲージで点検してください。点検方法 は「メンテナンスノート」を参照して ください。
- エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止めてマツダ販売店にご連絡ください。

注 記

点灯したまま走行を続けないでください。エンジンが破損するおそれがあります。

⑪ 充電警告灯



68H31190

充電系統に異常があると、エンジン回転 中に点灯します。

● システムが正常な場合は、エンジンス イッチを ON にしたときに点灯し、 エンジンがかかると消灯します。 ● エンジン回転中に点灯したときは、ベルト切れなどが考えられます。ただちに安全な場所に停車し、バッテリー保護のためエンジンを止めて、マツダ販売店にご連絡ください。

(12) オートステップ警告灯

オートステップ装備車

AUTO STEP

68H31200

- オートステップが張り出していると、 エンジンスイッチが ON のときに点 滅します。
- ●オートステップが張り出していても、 エンジンスイッチが ACC または LOCK のときは点滅しません。
- オートステップ作動中に人や物にあたったり、異物をはさみ込んだりすると作動が停止し、エンジンスイッチが ON のときはオートステップが格納されるまで点灯します。
 - **→ 3-16ページ (オートステップ)**

▲ 注意

助手席のスライドドアを完全に閉めて も、エンジンスイッチが ON のとき に点灯するときは次のことが考えられ ます。

- ●システムの異常。マツダ販売店で点 検を受けてください。
- ●オートステップが完全に格納されて いない。そのまま走行すると、張り 出したオートステップが人や物にあ たるおそれがありますので、ステッ ププレートを取り外してください。
- → 7-24 ページ (オートステップ が格納されないときは)

③ セレクトレバー位置表示灯 「オートマチック車」

タコメーターなし車	タコメーター装備車
P	P
R	R
N	N
D	D
2	2

68H31210

エンジンスイッチが ON のときに、セレクトレバーの位置を示します。

- エンジンスイッチを ON にしても点 灯しないときは、システムの異常が考 えられます。マツダ販売店で点検を受 けてください。
 - → 3-71 ページ (セレクトレバーの 各位置のはたらき)

(4) 方向指示器表示灯





68H31220

- 方向指示器/非常点滅表示灯を作動させると点滅します。
- 点滅が異常に速くなったときは、方向 指示器/非常点滅表示灯の電球切れが 考えられます。マツダ販売店で点検を 受けてください。

3. 運転装置の取扱い/メーター

(15) ヘッドライト上向き (ハイビーム) 表示灯



68H31230

ヘッドライトが上向きのときに点灯します。

⑥ オーバードライブOFF表示灯 「4速オートマチック車

O/D OFF

68H31240

オーバードライブ (O/D) スイッチが OFFのときに点灯します。

- → 3-73ページ (オーバードライブ (O/D) スイッチ)
- 点滅したときは、システムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

3. 運転装置の取扱い/メーター

⑰ 低水温表示灯



68H31250

エンジンスイッチが ON のときに、エンジン冷却水温が低いと点灯し、エンジンが暖まると消灯します。

- システムが正常な場合は、エンジンスイッチを ON にしたときに約3秒間点灯します。そのあとはエンジン冷却水温の状態により点灯または消灯します。
- 暖機を十分にしても点灯したままのときは、センサーの異常が考えられます。また、点滅したときは、システムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

18 4WD表示灯

パートタイム4WD車

4WD

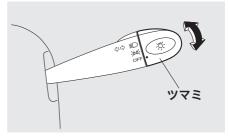
68H31260

→ 3-80ページ (2WD≒4WDの切替え操作)

ライトスイッチ

ライトの点灯・消灯

エンジンスイッチの位置に関係なく使用でき、ライトスイッチのツマミをまわすと次のように点灯・消灯します。



68H31640

ライト スイッチ の位置	ヘッドライト (前照灯)	車幅灯、 尾灯、番号灯、 計器照明灯
≣D	点灯	点灯
-500-5	消灯	点灯
OFF	消灯	消灯

注記

エンジン停止中に、長時間点灯させな いでください。バッテリーあがりの原 因となります。

ライト消し忘れ警告ブザー

ヘッドライトや車幅灯の消し忘れを防止するため、次のようなときに運転席ドアを開けると、室内ブザーが "ピーーー"と連続して鳴ります。

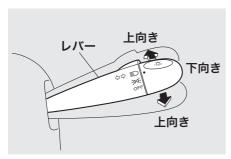
◆ キーを抜いたあとも、ライトや車幅灯が点灯している

ライトおよび車幅灯を消すと、室内ブ ザーは止まります。

ライトの上向き、下向きの 切替え

ヘッドライトを上向き (ハイビーム) に切り替えると、遠くまで照らすことができます。

- ライトが点灯しているときに、レバー を車の前方向に押すと上向きになりま す。もとの位置にもどすと、下向きに なります。
- ライトスイッチの位置に関係なく、レバーを手前に引くと、引いている間、 上向きにライトが点灯します。
- ライトを上向きにすると、メーター内のヘッドライト上向き(ハイビーム)表示灯が点灯します。
 - → 3-57 ページ (ヘッドライト上向き (ハイビーム)表示灯)



72J30801

- イトm アドバイス -

対向車や先行車があるときは、ライト を下向きにしてください。

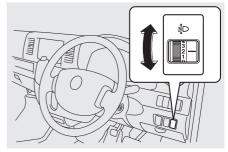
光軸調整ダイヤル

タイプ別装備

ハロゲンヘッドライト装備車は、ライト を点灯して光軸調整ダイヤルをまわす と、ライトの光軸が調整できます。

荷物や同乗者を乗せてライトの光軸が上向きになると、対向車や先行車の迷惑となります。ダイヤルを操作して、光軸を下向きに調整してください。

- ダイヤル操作は、ライトが下向き (ロービーム) に点灯しているときに 行なってください。ライトが上向き (ハイビーム) に点灯している、また は点灯していないときは、光軸が適切 に調整できているか判断できません。
- ダイヤルの目盛りは ~ 4 まであり、 光軸が9段階(0.5きざみ)に調整できます。
- ダイヤルの目盛りを大きくすると、光 軸が下向きになります。



68H31291

● 荷物や同乗者ののせかたによって変わりますが、次表の数値を参考に適切な 位置に調整してください。

〈ダイヤル位置の目安〉

ワゴンタイプ

条件	ダイヤル 位置
運転席のみ乗車	0
運転席および助手席に乗車	U
4名乗車	0.5
4名乗車で荷室満載	2.5~3
運転席のみ乗車で荷室満載	3.5~4

バンタイプ

条件	ダイヤル 位置
運転席のみ乗車	0
運転席のみ乗車で荷室満載	3~4

▲警告

走行中はダイヤル操作をしないでください。操作に気を取られて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

▲注意

車検などで基本の光軸を調整するときは、ダイヤルを0の位置にしてください。0以外の位置で基本光軸を調整すると、ライトの光軸が基準より上向きになるなど、安全上問題となるおそれがあります。

- √lm アドバイス -

●ダイヤルを操作すると、ライトの下向 き(ロービーム)と上向き(ハイビー ム)の光軸が同時に調整されます。

- ●ディスチャージへッドライト装備車 の場合、光軸が自動調整されます。
 - → 3-54ページ (オートレベリング警告灯)

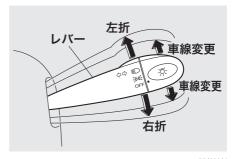
方向指示器スイッチ

エンジンスイッチが $\overline{\sf ON}$ のときに使用できます。

右折・左折をするとき

左折時:レバーを押し上げます。 右折時:レバーを押し下げます。

- 同時に方向指示器とメーター内の方向 指示器表示灯が点滅します。
- ハンドルをもとにもどすと、レバーが 自動的にもどり、方向指示器と表示灯 が消灯します。



72J30821

- √lm アドバイス –

ハンドルを切る角度が小さいと、レバーが自動的にもどらないことがあります。レバーを手でもどしてください。

車線変更をするとき

レバーを車線変更しようとする方向に軽 く押さえます。

● 押さえている間だけ、方向指示器と表示灯が点滅します。

非常点滅表示灯スイッチ

エンジンスイッチの位置に関係なく使用 できます。故障などでやむをえず路上駐 車するときや非常時に使用します。

- スイッチを押すと、すべての方向指示器とメーター内の方向指示器表示灯が 点滅します。
- もう一度押すと消灯します。



68H31310



68H31320

注記

エンジン停止中に長時間点滅させない でください。バッテリーあがりの原因 となります。

(ワイパー/ウォッシャースイッチ)

エンジンスイッチが ON のときに使用 できます。

▲ 注意

寒冷時は、ガラス面に吹きつけた ウォッシャー液が凍結して、視界が悪 くなることがあります。ガラス面をデ フロスターで暖めてから、ウォッ シャー液を噴射してください。

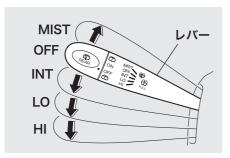
→ 5-2ページ (デフロスター)

注記

- ●ウインドーが乾いているときは、ウインドーをウォッシャー液で濡らしてからワイパーを動かしてください。空ぶきするとガラス面やワイパーブレード(ゴム部)に傷がつくおそれがあります。
- ●ワイパーブレードがガラスにはりついているときは、ワイパーを作動させないでください。ブレード部(ゴムの部分)が傷ついたり、ワイパーが故障したりするおそれがあります。
- ●ウォッシャー液が十分に出ないときは、ウォッシャースイッチを切ってください。ウォッシャーポンプが故障する原因となります。

フロントワイパースイッチ

レバーを上下に操作します。

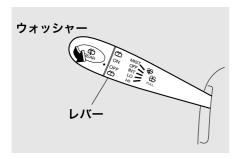


68H31331

MIST	レバーを押し上げ ている間作動
OFF	停止
INT	間欠作動
LO	低速作動
HI	高速作動

フロントウォッシャースイッチ

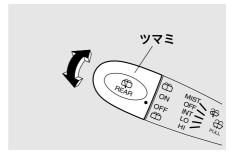
レバーを手前に引くと、ウォッシャー液 が噴射されワイパーが数回動きます。



68H31350

リヤワイパースイッチ

ツマミをまわします。

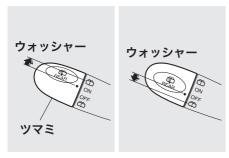


68H31370

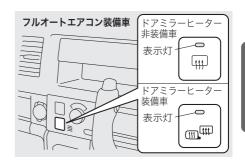
ON	作動
OFF	停止

リヤウォッシャースイッチ

- 図の ★ 方向にツマミをまわし、ON の上にある 節 (ウォッシャー) にあわせるとウォッシャー液が噴射し、同時にリヤワイパーも連動して動きます。ツマミから手を離すと ON にもどります。
- ●図の↓方向にツマミをまわし、OFFの下にある 笛(ウォッシャー)にあわせるとウォッシャー液が噴射します。 ツマミから手を離すとOFFにもどります。



68H31381



68H31411

ホーンスイッチ

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。ハンドルのホーンマークがついている部分を押すと、ホーンが鳴ります。

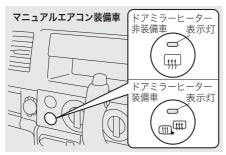


68H31391

注記

- ●バッテリー保護のため、くもりが取れたらすみやかにスイッチを切ってください。
- ●雪を溶かしたり、雨水を乾燥させた りすることには使用しないでください。
- ●バックウインドーガラスの室内側を ふくときは、熱線や端子を傷つけな いように、水を含ませた柔らかい布 で熱線に沿ってふいてください。

「リヤデフォッガースイッチ



68H31401

キーレスエントリー非装備車

エンジンスイッチが ON のときに使用でき、バックウインドーガラスの内側のくもりを取ります。

● スイッチを押すとバックウインドーガラスが暖められて、スイッチ内の表示 灯が点灯します。

もう一度押すとスイッチが切れます。

キーレスエントリー装備車

エンジン回転中に使用でき、バックウインドーガラスの内側のくもりを取ります。

- スイッチを押すとバックウインドーガラスが暖められて、スイッチ内の表示 灯が点灯します。
 - もう一度押すとスイッチが切れます。
- 約 15 分連続で使用すると、自動的に スイッチが切れます。
- 使用中にエンジンスイッチを ACC または LOCK にすると、エンジンを再始動したときに自動的にスイッチが入ります。
- ◆ドアミラーヒーター装備車では、バックウインドーガラスとドアミラーが同時に暖められます。
 - → 3-47ページ (ドアミラーヒータースイッチ)

- ۥﺳアトバイス ----

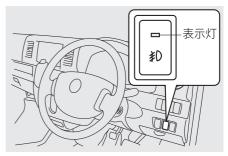
キーレスエントリー装備車の場合、エンジン停止中はスイッチが入りません。

フォグランプスイッチ

タイプ別装備

ヘッドライトや車幅灯を点灯していると きに使用でき、雨や霧などで視界が悪い ときに使用します。

■ スイッチを押すとフォグランプが点灯 し、スイッチ内の表示灯が点灯します。もう一度押すと消灯します。



68H31431

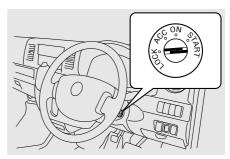
注記

バッテリー保護のため、視界が良くなったらすみやかにスイッチを切ってください。

エンジンのかけかた

エンジンスイッチの各位置の はたらき

キーをエンジンスイッチに差し込むと、 キーによるエンジンスイッチの操作がで きます。



68H31440

3. 運転装置の取扱い/エンジン始動

■ LOCK (ロック)

- ●駐車するとき、キーを抜き差しすると きの位置です。
- ◆キーを抜くと、ハンドルロックがかか ります。

■ ACC (アクセサリー)

エンジンをかけずにオーディオやドアミ ラー、アクセサリーソケットなどの電装 品(タイプ別装備)を使用するときの位 置です。

■ ON (オン)

● エンジン停止状態

エンジンをかけずにパワーウインドー やワイパーなどの電装品(タイプ別装 備)を使用するときの位置です。

● エンジン回転中

すべての電装品が使えます。通常運転 中の状態です。

■ START (スタート)

エンジンをかけるときの位置です。 始動したら、キーから手を離してくださ い。キーは自動的に ON にもどります。

注記

エンジンを止めているときは、エンジ ンスイッチを ACC または ON に したままにしないでください。また、 その状態で長時間ラジオ(タイプ別装 備)などを聞かないでください。バッ テリーあがりの原因となります。

– √lm アドバイス —

ハンドルロックは、エンジンスイッチ を LOCK から ACC にしたときに 解除されます。

ハンドルロックが解除できな いときは

キーが LOCK から ACC にまわせませ ん。ハンドルを左右に軽く動かしなが ら、キーをまわしてください。



64L40180

エンジンのかけかた

2-10 ページの「エンジンをかけるとき は、もあわせてお読みください。

パーキングブレーキがしっかりか かっていることを確認します。



68H20411

ペダル式

パーキングブレーキ

68H20401

3. 運転装置の取扱い/エンジン始動

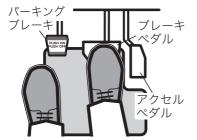
2 マニュアル車 は、チェンジレバーが N(ニュートラル) になっていることを確認します。

 $\boxed{ オートマチック車}$ は、セレクトレバーが \boxed{P} になっていることを確認します。



68H20500

- 3 右足でブレーキペダルをしっかり踏み込み続けます。
 - ●アクセルペダルは踏まないでくだ さい。



68H20491

4 マニュアル車 は、左足でクラッチペダルをいっぱいまで踏み込みます。



68H31451

■クラッチスタートシステム

マニュアル車は、クラッチペダルを いっぱいまで踏み込まないとスター ターがまわらず、エンジンを始動で きません。

5 キーをエンジンスイッチに差し込み START までまわします。



68H31460

- エンジンがかかったら、すみやかにキーから手を離します。
- ※前記の手順を何度繰り返してもエンジンがかからないときは、バッテリーあがりなどの別の原因が考えられます。マツダ販売店にご連絡ください。

注記

バッテリー保護のため、キーを START にまわした状態を8秒以上 続けないでください。エンジンがかか らないときは、キーを一度 ACC に もどし、10秒以上待ってから再びか けてください。

- √lm アドバイス -

●ヘッドライトやエアコンなどのス イッチを切った方が、エンジンはか かりやすくなります。

3. 運転装置の取扱い/エンジン始動

- ●ハンドルロックが解除できなくて、 エンジンの始動ができない場合があ ります。
 - → 3-65 ページ (ハンドルロックが 解除できないときは)

エンジンを止めるときは

エンジンスイッチを $\boxed{\mathsf{ACC}}$ にもどします。

▲ 警告

緊急時以外は、走行中にエンジンを止めないでください。

- ●ブレーキ倍力装置が働かないため、 ブレーキペダルを踏むときに強い力 が必要になります。
- ●パワーステアリング装置が働かない ため、ハンドルが重くなります。
- ●ABS(タイプ別装備)が作動しません。
- マニュアル車 は走行中、絶対にエンジンスイッチを LOCK にもどさないでください。キーが万一抜けると、ハンドルがロックされてまわせなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注記

走行中にエンジンを止めると、オートマチックトランスミッション(タイプ別装備)が損傷するおそれがあります。

キーを抜くときは

キーを抜くと、ハンドルロックがかかります。

■ オートマチック車

- 1 セレクトレバーを P 位置に入れ、 セレクトレバーのボタンから手を離 します。
 - → 3-71ページ (セレクトレバーの操作)
- **2** キーを LOCK にもどしてキーを抜きます。
- 誤操作防止のため、次の条件をみたしているときだけキーが抜けます。
 - セレクトレバーが P 位置
 - セレクトレバーのボタンから手を離している
 - → 3-74ページ

(キーインターロック)

→ 3-79ページ(駐車)

■ マニュアル車

キーを $\boxed{\mathsf{LOCK}}$ にもどしてキーを抜きます。

■ キー抜き忘れ警告ブザー

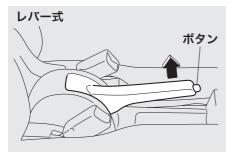
キーの抜き忘れを防止するためのブザーです。

- ◆キーを ACC または LOCK にしたまま運転席ドアを開けると、室内ブザーが "ピー、ピー、"と断続的に鳴ります。
- ◆キーを抜くと、室内ブザーが止まります。

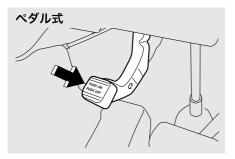
3. 運転装置の取扱い/パーキングブレーキ

(パーキングブレーキの操作

パーキングブレーキは後輪にかかりま す。駐車するときはパーキングブレーキ をしっかりとかけてください。



68H31471



▲ 警告

パーキングブレーキを解除したとき は、メーター内のブレーキ警告灯が消 灯しているか確認してください。

万一、パーキングブレーキをかけたま ま走行した場合、ブレーキ装置が過熱 してブレーキが効かなくなるおそれが あります。

→ 3-52ページ(ブレーキ警告灯)

レバー式 (引き上げ式)

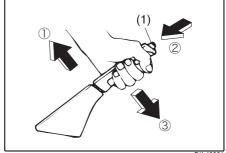
マニュアル車

■ 駐車するときは

ボタン(1)を押さずにパーキングブ レーキレバーをいっぱいに引き上げま す。

■ 解除するときは

- レバーを少し引き上げながら(①) レ バー先端のボタン(1)を押し込み (②)、そのまま下まで完全におろし ます(③)。
- ●坂道発進するときは、パーキングブ レーキをかけたまま右足でアクセルペ ダルを恒重に踏み、車が動きだす感触 を確認しながらパーキングブレーキを 解除してください。



▲ 注意

アームレスト装備車の場合、坂道発進 などで繰り返しレバー操作するときや 助手席に同乗者がいるときは、前席 アームレストを収納してください。 アームレストが操作のさまたげとなり ます。

3. 運転装置の取扱い/パーキングブレーキ

ペダル式 (足踏み式)

オートマチック車

■ 駐車するときは

右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいまで踏み込みます。

- ●パーキングブレーキをかけるときは、 確実にブレーキが効くまで一気に踏み 込んでください。
- ●一気に踏み込まないで途中でペダルから足を離してしまったときは、一度解除してから、同じ手順で再度踏み込んでください。

▲ 警告

- ●走行中は、パーキングブレーキペダルを踏まないでください。急ブレーキをかけた状態になり、事故を起こすおそれがあります。
- ●走行中は、パーキングブレーキペダ ルに足をのせないでください。カー ブを曲がるときなどに足に力がかか り、踏み込んでしまうおそれがあり ます。

▲注意

- ●パーキングブレーキの効きを強くしようとして、2度踏みをしないでください。2度踏みをすると、ペダルがもどってパーキングブレーキが解除されます。
- ●パーキングブレーキを解除するとき は、右足でブレーキペダルを踏んで ください。

■ パーキングブレーキをさらに 強く効かせたいときは

- 五足でブレーキペダルを強く踏んだままにします。
- 2 左足でパーキングブレーキを踏んで 解除してから、再度踏み込みます。

■ 解除するときは

- ◆ 右足でブレーキペダルを踏みながら、 左足でパーキングブレーキペダルをカ チッと音がするまで踏み、ゆっくりと 離します。
- ●坂道発進するときは、左足でパーキングブレーキペダルをカチッと音がするまで踏んでおき、右足でアクセルペダルを慎重に踏み、車が動きだす感触を確認しながらパーキングブレーキペダルをゆっくりともどしてください。

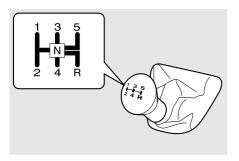
3. 運転装置の取扱い/チェンジレバー

チェンジレバーの操作

マニュアル車

チェンジレバーを操作するときは、クラッチペダルをいっぱいに踏みます。

● 誤操作防止のため、5速から R (リバース) に直接入れることはできません。 一度 N (ニュートラル) に入れてから Rへ操作してください。



68H31510

シフトダウンの上限速度

エンジンの過回転を防ぐため、次の表に 示す上限速度以下でシフトダウンしてく ださい。

シフト	上限速度(km/h)		
ダウン	ターボなし車	ターボ車	
2速 → 1速	25	30	
3速 → 2速	40	50	
4速 → 3速	65	80	
5速 → 4速	100	125	

※走行条件やお車のタイプにより、この 上限速度に達しない場合があります。

注記

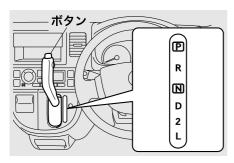
上限速度を超えた速度でシフトダウン しないでください。エンジンの回転が 上がり過ぎて、エンジンが故障する原 因となります。

→ 3-49ページ (タコメーター)

セレクトレバーの操作

オートマチック車

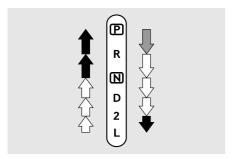
セレクトレバーの各位置のはたらき



68H31520

P パーキング	駐車するとき、エンジンを始動・停止するとき、キーを抜くときの位置 ◆駆動輪(後輪)が固定されます。
R リバース	車を後退させるときの位置 ●室内で警告ブザーが鳴り、運転者にセレクトレバーが R に入っていることを知らせます。
N ニュートラル	エンジンの動力が伝わらない状態の位置 ●エンジンを始動できますが、安全のため P の位置で始 動してください。
D ドライブ	通常走行の位置 ●車の速度とアクセルペダルの踏み込み量により、自動的に変速され走行できます。
2 セカンド	エンジンプレーキを効かせるときなどの位置 ●ギヤは1速と2速の間で自動的に切り替わります。坂道 を走行するときなどに使用します。
L n-	強力なエンジンブレーキを効かせるときなどの位置 ● 急な坂道を走行するときなどに使用します。

セレクトレバーの動かしかた



68H31530



ブレーキペダルを踏み、ボ タンを押したままセレクト レバーを動かします。



ボタンを押さずにセレクト レバーを動かします。



ボタンを押したままセレク トレバーを動かします。

注記

完全に停車させてから、セレクトレバーを R に入れてください。トランスミッションが故障する原因となります。

– √lm アドバイス -

■ シフトロックシステム

発進するときなどに、セレクトレバーの 誤操作を防ぐシステムです。

- エンジンスイッチが ON でブレーキ ペダルを踏んでいるときだけ、セレクトレバーを P から他の位置に動かせます。
- エンジンスイッチが ACC または LOCK のときは、ブレーキペダルを 踏んでいても、セレクトレバーを P から他の位置に動かせません。
- セレクトレバーのボタンを押してから、ブレーキペダルを踏まないでください。シフトロックが解除されないことがあります。
- 万一、エンジンスイッチを ON にして、ブレーキペダルを踏んでもセレクトレバーを P から他の位置へ動かせない場合は、次の手順でシフトロックを解除してください。

この場合は、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちにマッダ販売店で点検を受けてください。

▲ 注意

発進するときは、ブレーキペダルを しっかり踏んだままセレクトレバーを 操作してください。

■ シフトロックの解除のしかた

シフトロックシステムの故障やバッテリーあがりなどで、セレクトレバーを P から他の位置へ動かせないときは、 次の手順でシフトロックを解除します。

全のため、エンジンスイッチを ACC にしてパーキングブレーキ をしっかりとかけ、ブレーキペダル を踏んだ状態にします。

2 セレクトレバーパネルにあるシフト ロック解除ボタンを押しながら、セ レクトレバーを操作します。



68H31551

オーバードライブ(O/D) スイッチ

4速オートマチック車

- スイッチを押すごとに、ON と OFF が 交互に切り替わります。
- OFF のときに、メーター内のオーバー ドライブOFF表示灯が点灯します。
- オーバードライブスイッチは、エンジン始動時には自動的に ON 状態へもどります。



68H31540

■ スイッチがONのときは

通常走行に適しています。

 ◆セレクトレバーが □ のときに、1速 から4速の間で自動変速し、燃費性能 と静粛性を高めます。

- √lm アドバイス -

スイッチがONでも、AT油温、エンジン水温が低いと、4速ギヤに入らない場合があります。

■ スイッチがOFFのときは

坂道や山間路の走行に適しています。

- ◆セレクトレバーが □ のときに、1 速から3速の間で自動変速します。
- ●下り坂では、軽いエンジンブレーキが かかります。
- 上り坂や山間路ではエンジン回転の変化が少ない、なめらかな走行ができます。

■ オーバードライブOFF表示灯

O/D OFF

68H31240

メーターパネル内にあります。

- ◆オーバードライブ(O/D)スイッチが OFFのときに点灯します。
 - → 3-51ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

オートマチック車の特性

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤチェンジから解放されて運転操作が楽になりますが、オートマチック車特有の現象や操作上の注意があります。

クリープ現象に注意して

エンジンをかけて停車しているとき、セレクトレバーが[P][N]以外に入っていると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくり動きます。これをクリープ現象といいます。

▲ 注意

- ●セレクトレバーを PN以外に入れているときは、ブレーキペダルをしっかり踏んでください。
- ●エンジン始動直後やエアコン作動時は、クリープ現象が強くなることがあります。とくにしっかりブレーキペダルを踏んでください。

キックダウン

走行中(低車速時を除く)にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、自動的にシフトダウンしてエンジン回転が上昇して、力強い加速ができます。これをキックダウンといいます。

追い越しなどをしたいときは、アクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。 キックダウンして力強い加速が得られます。

▲注意

通常の加速をするときは、アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。 いっぱいに踏み込むと、キックダウン して思わぬ急加速のおそれがあります。

登坂変速制御

4速オートマチック車

セレクトレバーが D の位置で、オーバードライブ (O/D) スイッチが ON のときに作動する制御です。

●登坂中と判断すると、4速へのシフト アップを制限し、エンジン回転の変化 が少ない、なめらかな走行ができます。

キーインターロック

誤操作防止のため、次の条件をみたして いるときだけキーが抜けます。これを キーインターロックといいます。

- セレクトレバーが P 位置
- セレクトレバーのボタンから手をはなしている
 - → 3-67ページ (キーを抜くときは)

(オートマチック車を運転するとき)

R (リバース) ポジション 警告ブザー

セレクトレバーを $\boxed{\mathbb{R}}$ に入れると室内で警告ブザーが鳴り、セレクトレバーが $\boxed{\mathbb{R}}$ に入っていることを運転者に知らせます。

- √lm アドバイス -

R(リバース) ポジション警告ブザーは、車外の人に車の後退を知らせるためのものではありません。

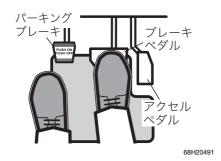
ペダルの踏み間違いに注意

ペダルの踏み間違いを防ぐため、エンジンをかける前にアクセルペダルとブレーキペダルを実際に足で踏んで、位置を確認してください。

▲警告

アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ブレーキペダルは右足で踏む



左足では適切なブレーキ操作ができません。ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけてください。

セレクトレバーを操作すると きは

- 前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーをRに入れたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐにRからNに入れる習慣をつけてください。
- 切り返しなどで前進と後退を繰り返す ときは、完全に停車してからセレクト レバーを操作してください。

▲ 警告

アクセルペダルを踏んだままセレクト レバーを操作しないでください。急発 進して事故を起こすおそれがあります。

セレクトレバーの位置は目で 確認

始動時や降車時は $\boxed{\mathrm{P}}$ 、前進時は $\boxed{\mathrm{D}}$ 、後退時は $\boxed{\mathrm{R}}$ にあることを目で確認してください。

車から離れるときは



68H20500

▲警告

エンジンをかけたまま車から離れないでください。万一、セレクトレバーが P 以外に入っていると、車がひとりでに動き出すおそれがあります。また、車に乗り込むときに誤ってセレクトレバーを動かしたりアクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ急発進のおそれがあります。

オートマチック車の運転のしかた

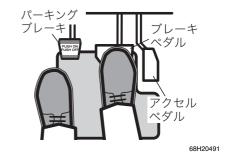
3-71 ページの「**セレクトレバーの操作**」もあわせてお読みいただき、正しい 取扱いをしてください。

運転席にすわって

- 1 ペダルが確実に踏めて、ハンドル操作が楽に行なえる位置にシートを調節し、ハンドルを調節(タイプ別装備)します。
 - → 3-31ページ (前席シート)
 - → 3-47ページ

(チルトステアリング)

- **2** アクセルペダルとブレーキペダルの 位置を右足で確認します。
- 3 パーキングレーキペダルの位置を左足で確認します。



エンジンの始動

エンジンのかけかたの詳細は、**3-64ページ**の「**エンジンのかけかた**」をお読 みください。

- 1 パーキングブレーキをしっかりとか けます。
- **2** セレクトレバーが P にあるか確認 します。



68H20500

- √m アドバイス -

セレクトレバーが N の位置でもエンジンがかかりますが、安全のため P でエンジンをかけてください。

- 3 ブレーキペダルを右足で踏みます。
- 4 エンジンを始動します。

発進

■ 通常の発進

- ブレーキペダルを右足でしっかり踏
 み込みます。
- **2** 前進時は D 、後退時は R にセレクトレバーを入れ、レバーの位置を目で確かめます。
- 3 パーキングブレーキを解除し、メーター内のブレーキ警告灯の消灯を確認します。
- 4 ブレーキペダルからゆっくりと足を 離し、アクセルペダルをゆっくり慎 重に踏んで発進します。

■ 急な上り坂での発進

- ①、②は「**通常の発進**」と同じ操作です。
- **3** 左足でパーキングブレーキペダルを カチッと音がするまで踏みます。
- 4 ブレーキペダルからゆっくりと右足 を離し、アクセルペダルを慎重に踏 みます。

5 車が動きだす感触を確認しながら、 パーキングブレーキペダルをもどし て発進します。



走行

■ 通常走行

セレクトレバーを $\boxed{\mathsf{D}}$ に入れて発進する と、走行速度とアクセルペダルの踏み込 み量により、自動的に変速され走行できます。

⚠警告

高速走行中は、セレクトレバーを 2 や L に入れないでください。急激なエンジンブレーキがかかってスリップ事故を起こすおそれがあります。また、エンジンの回転が上がりすぎて故障の原因となります。

▲ 注意

緊急時以外は、走行中にセレクトレバーを N にしないでください。エンジンブレーキがまったく効かないため、思わぬ事故の原因となります。

■ 急加速走行

追い越しなどをしたいときは、アクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。 キックダウンして力強い加速が得られます。

■ 上り坂走行

上り坂を D で走行しているときに、スピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと、キックダウンしてエンジンの回転が急に上がることがあります。

- 坂の勾配に応じて、あらかじめセレクトレバーを ② に入れておくと、エンジン回転の変化が少ない、なめらかな走行ができます。
- 急な上り坂で、1速と2速の変速を繰り返すようなときには □ に入れます。

■ 下り坂走行

下り坂を D のままで走行すると、エンジンブレーキの効きが弱くてスピードが出すぎてしまうことがあります。

- 坂の勾配に応じて、あらかじめセレクトレバーを 2 に入れてエンジンブレーキを併用します。
- 急な下り坂で、強力なエンジンブレー キが必要なときには □ に入れます。

▲警告

急な下り坂や長い下り坂では、エンジンブレーキを併用してください。下り坂でブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキ装置が過熱してブレーキが効かなくなるおそれがあります。

- √lm アドバイス -

[4速オートマチック車] は □ で走行しているときに、オーバードライブ (O/D) スイッチをOFFにすると、上り坂ではエンジン回転の変化が少ないなめらかな走行ができ、下り坂では軽いエンジンブレーキが得られます。

一時停止

- セレクトレバーは走行位置のままで 停車し、ブレーキペダルをしっかり 踏み込みます。
 - 急な坂道で一時停止するときは、 必要に応じてパーキングブレーキ をかけます。
 - ●停車時間が長くなりそうなときは、セレクトレバーを N に入れます。
- 2 再発進するときに間違えないよう、 セレクトレバーの位置とパーキング ブレーキの解除を目で確かめます。

▲ 警告

一時停止しているときに、空ぶかしをしないでください。万一、セレクトレバーが P N 以外に入っていると、急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

注記

上り坂などで、アクセル操作でバランスをとるなどして車を停止させようとしないでください。トランスミッションオイルが過熱し、故障の原因となります。

駐車

- **1** 車を完全に止めます。
- ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをしっかりとかけます。
- 3 セレクトレバーを P に入れてから エンジンを止め、ブレーキペダルか らゆっくりと足を離します。
 - ●セレクトレバーが P の位置に なっているか目で確かめます。



68H20500

▲ 警告

駐車するときは、セレクトレバーを P に入れてからエンジンを止めてください。P 以外の位置ではシフトロックが作動せず、誤操作などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 4 エンジンスイッチからキーを抜きま す。
 - → 3-67ページ

(キーを抜くときは)

後退

■ 正しい運転姿勢

車を後退させるときは身体をひねった運転姿勢になり、ペダルが踏みにくくなります。ブレーキペダルやアクセルペダルが確実に踏める姿勢で運転操作をしてください。

■ 前進や後退を繰り返すとき

車庫入れなどで前進や後退を繰り返すと きは、完全に停車させてから、次の前進 あるいは後退の操作を行なってください。

- √lm アドバイス -

前進と後退を繰り返すときなどは、セレクトレバーをRに入れていたことを忘れることがあります。車を後退させたあとは、すぐにRからNに入れる習慣をつけてください。

■ バックブザー

タイプ別装備

セレクトレバーを \mathbb{R} に入れると、車外の人に車の後退を知らせるため、警告ブザーが鳴ります。

▲注意

バックブザー付きの車であってもブ ザーだけでは、車が後退していること を車外の人へ確実に知らせることはで きません。車を後退させるときは、車 からおりて自分の目で車の後方を確認 してください。

こんなことにも気をつけて

■ 車を少し移動させるとき

少しだけ移動するときでも、ブレーキペダルやアクセルペダルが確実に踏める正しい運転姿勢をとってください。



68H20190

▲注意

坂道などで、セレクトレバーを前進の位置(D2L)にしたまま惰性で後退したり、後退の位置(R)にしたまま惰性で前進したりしないでください。エンストしてブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、故障の原因になります。

■ 停車するとき

注記

車が少しでも動いているときは、セレクトレバーを P に入れないでください。トランスミッションが故障する原因となります。

2WD与4WDの切替え操作

パートタイム4WD車

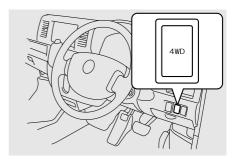
2-25ページの「**4WD車を運転するときは**」もあわせてお読みいただき、パートタイム 4WD 車の特性や操作上の注意を十分理解して正しい取扱いをしてください。

パートタイム 4WD とは、4WD スイッチの操作で、2WD (2輪駆動) または 4WD (4輪駆動) に切り替えることができる4WDシステムです。

4WDスイッチ

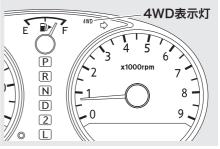
タイプ別装備

駆動状態の切替えに使用します。



68H31570

駆動状態が4WDに切り替わると、メーター内の4WD表示灯が点灯します。



68H31710

◆上図のメーターは代表例です。お車の タイプにより異なります。

3. 運転装置の取扱い/パートタイム4WD車

■ 4WDスイッチの各位置のはた らき

(2WD)

一般道路、高速道路などを通常走行する ときの位置です。通常はこの位置で走行 します。

(4WD)

悪路、砂地、積雪路などの滑りやすい路 面を走行するときの位置です。

■ 4WDスイッチの操作

ハンドルが直進状態のときに操作します。

■ スイッチを押すごとに、2WD と 4WD が切り替わります。

	スイッチの状態	メーター内の 表示灯	
OFF (2WD)		消灯	
ON (4WD)		4WD 点灯	

(2WD) = (4WD)

停車中、または車速が80 km/h 以下の走行中に操作します。

●停車中に(2WD) → (4WD) の操作をしても、4WD 表示灯が点灯しないことがあります。その場合は、車を少し前進または後退させてください。

注 記

旋回走行中または雪道などで、タイヤ を空転させたまま切替え操作をしない でください。駆動装置が損傷するおそ れがあります。

– √lm アドバイス —

- ●切替え操作を行なったときに、駆動 装置のモーター音がしますが、これ は切替え音ですので異常ではありま せん。
- ●車速が80 km/h以上のときは、スイッチを押しても(2WD)→(4WD)の切替えは行なわれません。
- ●走行中に(4WD)与(2WD)の操作 をしたとき、軽い衝撃を感じること がありますが異常ではありません。

■ 4WD表示灯

4WD

68H31260

4WD 表示灯はメーターパネル内にあります。

→ 3-51ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

- ◆4WDスイッチを ON (4WD) にして、 駆動状態が 4WD に切り替わると点灯 します。
- 4WDスイッチをONにして走行しても 点灯しないときは、システムの異常が 考えられます。スイッチをOFF (2WD) に切り替えてマツダ販売店に行き、点 検を受けてください。

ただし、停車中にONにして点灯しなく ても、走行して点灯すれば正常です。

MEMO

4. 安全装備の取扱い

シートベルト	
シートベルトについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4-2
シートベルトの着用のしかた ・・・・・・・・・・・	4-4
シートベルトの取扱いとお手入れ・・・・・・	4-5
シートベルトプリテンショナー	
(前席のみ) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4-6
シートベルト可変ロードリミッター	
(前席のみ) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4-7
お子さま用シートの	
シートベルトによる固定 ・・・・・・・・・・・・	4-7
お子さま用シートの選択について・・・・・・・	4-9
SRSエアバッグ	
SRSエアバッグ車を運転するときは・・・・・	4-15
SRSエアバッグシステムの取扱い・・・・・・・	4-17
SRSエアバッグシステムの作動・・・・・・・・	4-18
SRSエアバッグ警告灯 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4-21
廃棄と廃車・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4-21
イベントデータレコーダー(EDR)とは・・・	4-22
ABS	
ABS装備車の取扱い・・・・・・・・・・・・・・・・	4-22
	7-66

安全運転が第一

お車に装備されているシートベルト、SRS エアバッグシステム、ABS(アンチロックブレーキシステム)などの安全装備も、乗員の安全確保には限界があります。法定速度を厳守するとともに、スピードを控えめにして安全運転に心がけてください。

シートベルトについて

正しい姿勢でシートにすわり、正しく シートベルトを着用しないと、シートベ ルトが本来の効果を発揮できません。 シートベルトを着用するときは、次のこ とに注意してください。

- シートを正しい位置に調節し、上体を 起こして奥深くすわります。
- ◆ベルトがねじれないように着用します。
- ●腰ベルトは、腰のできるだけ低い位置 にかけます。
- 肩ベルトは、首と肩先の中央にかけます。
- ◆ベルトがねじれていないことを確認 し、たるみを取り除きます。
 - → 3-31ページ (正しい運転姿勢)



63J40011

▲ 警告

- ●走行前にシートベルトを正しく着用 してください。走行中に着用したり 調節したりすると、思わぬ事故を起 こすおそれがあります。
- ●背もたれを必要以上に倒さないでください。また、洗たくばさみやクリップなどでベルトをたるませないでください。シートベルトが本来の効果を発揮できません。
- ●助手席や後席の同乗者全員にシート ベルトを着用させてください。

お子さまもシートベルトを 着用

→ 2-4ページ

(お子さまを乗せるときは)

▲警告

お子さまをシートベルトで遊ばせない でください。ベルトを身体に巻きつけ るなどして遊んでいるときに、窒息な ど重大な傷害を受けるおそれがありま す。万一の場合は、ハサミでベルトを 切断してください。



妊娠中や疾患のある方は

▲ 警告

- ●妊娠中の方、疾患がある方もシートベルトを着用してください。ただし、衝突のときに局部的に強く圧迫されるおそれがありますので医師に相談して注意事項を確認してください。
- ●妊娠中の方は、腰ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にかけます。肩ベルトは、首と肩先の中央から腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。



シートベルト警告ブザー

運転席のシートベルト着用忘れを防止するためのブザーです。

● エンジンをかけて走行を開始してから、最初に車速が約15 km/h 以上になったときに運転者がシートベルトを着用していないと、メーター内のシートベルト警告灯が点灯から点滅に切り替わるとともに、シートベルト警告ブザーが断続的に鳴ります。

→ 3-53ページ

(シートベルト警告灯)

- √lm アドバイス -

- ●運転者がベルトを着用すると、警告 灯は消灯します。また、警告ブザー が鳴っているときは、ブザーも止ま ります。
- ●警告ブザーは運転者がベルトを着用しなくても、約95秒間鳴り続けたあとに止まります。ただし、警告灯は点滅から点灯に切り替わったまま、エンジンスイッチを「ACC」または「LOCK」にするまで消灯しません。

シートベルトの長さ調節

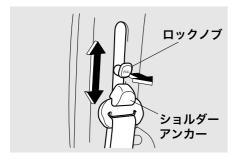
シートベルトは、長さ調節が必要ありません。身体の動きにあわせてベルトが伸縮し、強い衝撃を受けたときは自動的にベルトがロックされて身体を固定します。

肩ベルトの高さ調節 (前席のみ)

タイプ別装備

身体の大きさにあわせて、ショルダーアンカーの高さ調節ができます。

- ロックノブを引いたままアンカーを上下させ、適切な位置でノブを離します。
- 動節後は、アンカーを上下にゆすって 固定されているか確認します。



68H40030

シートベルトの着用のしかた

■ 着用のしかた

1 タングプレートとシートベルトをつかみ、ベルトをゆっくりと引き出します。

ベルトのねじれを取ります。



68H40040

- √lm アドバイス –

ベルトがロックされていて引き出せないときは、いったんゆるめてから再度引き出します。それでも引き出せない場合は、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくりと引き出してください。

2 タングプレートをバックルの差し込み口にまっすぐになるように合わせて、カチッという音がするまでしっかりと差し込みます。



68H40050

- **3** 腰ベルトを、腰のできるだけ低い位置にかけます。
- 4 肩ベルトを、首と肩先の中央にかけます。
- **5** ベルトがねじれていないことを確認し、たるみを取り除きます。

■ 外すときは

バックルのボタンを押します。シートベルトが自動的に巻きもどされますので、ベルトやタングプレートに手を添え、ゆっくりともどしてください。



68H40060

- √mアドバイス

ベルトがねじれていると、ベルトを外したときに巻き取られないことがあります。ベルトにたるみがなく巻きもどされていることを確認してください。

シートベルトを正しく着用する

▲ 警告

- ●シートベルトにねじれやたるみがあると、衝撃を受けたときに局部的に 圧迫されるおそれがあります。
- ●ベルトが腹部にかかっていると、衝撃を受けたときに強く圧迫されるおそれがあります。
- ●ベルトが肩にしっかりとかかっていないと、衝撃を受けたときに前に投げ出されるおそれがあります。
- ●アームレスト(タイプ別装備)にベルトがかかっていると、シートベルトが本来の効果を発揮できません。ベルトは、アームレストの下をとおしてください。



シートベルトの 取扱いとお手入れ

取扱い

▲警告

- ●シートベルトにほつれや擦り傷、切り傷があるときは、ベルトを交換してください。
- ●バックルが正常に動かないときは、 マツダ販売店で点検を受けてください。
- ●衝突などでベルトに強い力がかかったときは、外観に異常がなくても、 機能が損なわれていることがあります。ベルトを交換してください。
- ●バックルの内部に異物が入ったり、飲み物をこぼしたりしたときは、シートベルトが正常に機能を発揮しないおそれがありますので、マツダ販売店で点検を受けてください。
- ●ベルトをドアにはさまないでください。ドアを閉める前に、ベルトがたるみなく巻きもどされているか確認してください。
- ●ベルトを改造したり、取り外したり しないでください。

お手入れ

お手入れの方法は、布地などと同様です。

→ 6-4ページ (布地、ビニールレザー、 樹脂部品などの手入れ)

▲警告

漂白剤、溶剤、染料を使用しないでください。しみ、変色、強度低下の原因となり、シートベルトが正常に機能を発揮しないおそれがあります。

シートベルトプリテンショナ-(前席のみ)

シートベルトプリテンショ ナーとは

エンジンスイッチが $\boxed{\text{ON}}$ のときに、次のような状況になると、肩ベルトを瞬時に巻き取ります。

- ●車の前方向から強い衝撃を受けたと き。運転席・助手席SRSエアバッグシ ステムと連動しています。
 - → 4-18ページ (SRSエアバッグシステムの作動)

また、運転席側はラップアウタープリテンショナー機構により、腰ベルトも同時 に巻き取ります。



▲ 注意

プリテンショナーが一度でも作動する と、ベルトを引き出すことも巻き取る こともできなくなります。マツダ販売 店で交換してください。

正常に機能させるために

シートベルトプリテンショナーの機能に 影響をあたえる部品に手を加えないでく ださい。シートベルトが思いがけないと きに巻き取られたり、必要なときに正常 に巻き取られなくなったりすることがあ ります。

→ 2-28 ページ (部品の取付け、取外 し、修理をするときは)

SRSエアバッグ警告灯



68H31110

メーターパネル内にあります。

- シートベルトプリテンショナー、SRS エアバッグの電子制御システムに異常 があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。
 - → 3-51ページ

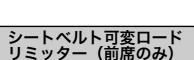
(警告灯・表示灯の見かた)

廃棄や廃車

作動していないシートベルトプリテンショナーは、決められた手順で作動させてから廃棄する必要があります。

▲注意

プリテンショナーを廃棄するときや、 装備車を廃車するときは、マツダ販売 店にご相談ください。

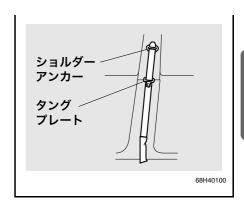


車の前方向から強い衝撃を受けると、 シートベルト巻取り装置内のシートベル ト可変ロードリミッターが作動し、乗員 に一定以上の荷重がかからないように肩 ベルトを2段階に繰り出して、衝撃を緩 和します。



▲警告

強い衝撃を受けたシートベルトは、 ショルダーアンカー部およびタングプレート部の樹脂が強いまさつで溶けてベルトに付着し、ベルトが滑りにくくなります。このような場合は、シートベルトが本来の機能を発揮できません。マツダ販売店で交換してください。



お子さま用シートの シートベルトによる固定

- 一体式後席シート車の場合、お子さま 用シートが必要なお子さまを乗せない でください。いずれの席でもお子さま 用シートを適切に取り付けることがで きません。
- お子さま用シートは、お子さまの年齢 や体格に合った適切なものを選んでく ださい。
 - → 4-9 ページ (お子さま用シートの 選択について)
- ワゴンタイプ車の場合、ISOFIXタイプ のお子さま用シート(別売り)を取り 付けるときは、3-41ページの「ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用金具」 をお読みください。

⚠ 警告

助手席には、お子さま用シートが必要なお子さまを乗せないでください。後ろ向き前向きにかかわらず、お子さま 用シートを適切に取り付けることができません。



固定のしかた (分離式後席シートの場合)

- 1 ヘッドレストは、お子さま用シート に当たらない高さに調節するか取り 外します。
 - → 3-35ページ(ヘッドレストの高 さ調節と取外し・取付け)



68H40111

▲ 警告

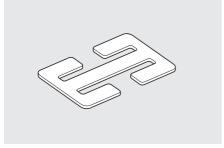
ヘッドレストを調節してもお子さま用シートに当たる場合は、ヘッドレストを取り外してください。ヘッドレストに当たった状態ではお子さま用シートが確実に固定されないため、衝突のときなどにお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 2 ワゴンタイプ車の場合、お子さま用シートと背もたれの間にすき間ができないように背もたれの角度を調節します。
- **3** 座席が確実に固定されているか確認 します。
- 4 お子さま用シートに付属の取扱説明書にしたがって、所定の部位にシートベルトを通します。
- 5 カチッと音がするまで、タングプレートをバックルにしっかりと差し込みます。
 - お子さま用シートにアームレストが当たる場合は、持ち上げて収納します。



68H40120

6 お子さま用シートにシートベルト固 定機構もロッキングクリップもそな わっていない場合は、別売りのロッキングクリップを使用してしっかり と固定します。



68H40431

◆上図のロッキングクリップ(別売り)は代表例です。

▲警告

シートベルト固定機構またはロッキングクリップでお子さま用シートを確実に固定しないと、急ブレーキをかけたときや衝突時に、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 7 お子さま用シートを前後左右にゆ すって、確実に固定されているか確 認します。
 - ●確実に固定できない場合は、お子 さま用シートに付属の取扱説明書 をご確認いただくか、マツダ販売 店にご相談ください。

▲警告

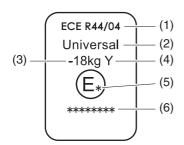
お子さま用シートは、確実に固定してください。急ブレーキをかけたときや 衝突時に、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さま用シートの 選択について

- 一体式後席シート車の場合、お子さま 用シートが必要なお子さまを乗せない でください。いずれの席でもお子さま 用シートを適切に取り付けることがで きません。
- お子さま用シートは、この項目をよく 読んだうえで、お子さまの年齢や体格 に合った適切なものを選んでくださ い。
- 2-4 ページの「お子さまを乗せるときは」もよくお読みください。
- ワゴンタイプ車は、2006年10月1日 施行の新保安基準に適合したISOFIX対 応チャイルドシート固定専用金具 (ISOFIX アンカーおよびテザーアン カー)を装備しています。(ただし、 バンタイプ車は装備していません)
 - → 3-41ページ (ISOFIX対応チャイ ルドシート固定専用金具)

ECE R44の基準に適合するお子さま用シートの認証マークについて

ECE R44 (※1) の基準に適合するお子さま用シートには、次のような認証マークが表示されています。



51K1022

- (1) 法規番号
- (2) お子さま用シートのカテゴリー(※2)
- (3) 対象となるお子さまの体重範囲
- (4) 装置の仕様
- (5) お子さま用シートを認可した国番号
- (6) お子さま用シートの認可番号
- ◆ 上図の認証マークは代表例です。
- ※1 ECE R44 とは、お子さま用シート に関する国際法規です。
- ※2 前図の「Universal」は、汎用カ テゴリーの認可であることを表し ます。

−√mアドバイス -

この車のマツダ純正お子さま用シートは、ECE R44 の基準に適合しています。

ECE R44 の基準に適合するお子さま用シートの、座席位置別適合性一覧表の見かた

→ 4-12ページ (ECE R44の基準に適合するお子さま用シートの、座席位置別適合性一覧表)

■ 質量グループについて

● ECE R44の基準に適合するお子さま用 シートは、次の5種類に分類されます。

質量グループ	お子さまの体重
グループ0	10kgまで
グループ0+	13kgまで
グループI	9~18kg
グループⅡ	15~25kg
グループIII	22~36kg

●代表的なお子さま用シートには、次のようなものがあります。

ベビーシート

後ろ向き、または横向き装着のお子さま 用シートで、首がすわっていないお子さ ま、ひとりすわりのできないお子さまに 使用します。ECE R44 基準のグループ **Q、0+**に相当します。



51K1023

チャイルドシート

前向き装着のお子さま用シートで、シートベルトが首やあごにかかるときや、腰骨にかからないようなお子さまに使用します。ECE R44 基準のグループ I に相当します。



51K1024

ジュニアシート

前向き装着のお子さま用シートで、シートベルトが首やあごにかかるときや、腰骨にかからないようなお子さまに使用します。ECE R44 基準のグループ II、III に相当します。



51K1025

■ ISOFIXタイプのお子さま用シートの、サイズ等級について

サイズ等級は、お子さま用シートに表示される分類記号です。次の一覧表をご覧ください。

サイズ等級		説明
А	ISO/F3	全高前向き幼児用チャイルドシート
В	ISO/F2	低型前向き幼児用チャイルドシート
В1	ISO/F2X	低型前向き幼児用チャイルドシート (ISO/F2とは別形状)
С	ISO/R3	大型後ろ向き幼児用チャイルドシート
D	ISO/R2	小型後ろ向き幼児用チャイルドシート
Е	ISO/R1	後ろ向き乳児用チャイルドシート
F	ISO/L1	左向き位置用チャイルドシート(キャリコット※)
G	ISO/L2	右向き位置用チャイルドシート(キャリコット※)

※キャリコットとは、お子さまを寝かせた姿勢で横向きに取り付けることができるベビーシートの一つです。

詳しくは、お子さま用シートの製造元または販売店にご相談ください。

ECE R44の基準に適合するお子さま用シートの、座席位置別適合性一覧表

■ シートベルトによる固定(一体式後席シート車)

毎早ガル プ	着席位置		
質量グループ	助手席	後席	
グループ0 (10kgまで)	X	X	
グループ0+ (13kgまで)	Х	X	
グループ I (9~18kg)	Х	X	
グループ II (15~25kg)	Х	X	
グループⅢ (22~36kg)	Х	X	

く上表に記入する文字の説明>

U : この質量グループでの使用を許可された汎用 (ユニバーサル) カテゴリーのお子 さま用シートに適しています。

UF : この質量グループでの使用を許可された汎用 (ユニバーサル) カテゴリーの前向 きお子さま用シートに適しています。

X : お子さま用シートの取付けには適していません。

● シートベルトを使用してお子さま用シートを取り付けるときは、**4-7 ページ**の「**お子 さま用シートのシートベルトによる固定**」をお読みください。

- ₅ऻ アドバイス —

- ●表に記載されていないお子さま用シートを使用する場合は、お子さま用シートの製造元または販売店にご相談ください。
- ●取り付けるときは、お子さま用シートに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。

■ シートベルトによる固定(分離式後席シート車)

毎旦ガル プ	着席位置		
質量グループ	助手席	後席	
グループ0 (10kgまで)	X	U	
グループ0+ (13kgまで)	X	U	
グループ I (9~18kg)	X	U	
グループ II (15~25kg)	X	UF	
グループIII (22~36kg)	X	UF	

く上表に記入する文字の説明>

U:この質量グループでの使用を許可された汎用(ユニバーサル)カテゴリーのお子さま用シートに適しています。

UF : この質量グループでの使用を許可された汎用(ユニバーサル)カテゴリーの前向

きお子さま用シートに適しています。

X : お子さま用シートの取付けには適していません。

- シートベルトを使用してお子さま用シートを取り付けるときは、4-7ページの「お子 さま用シートのシートベルトによる固定」をお読みください。
- ISOFIX タイプのお子さま用シートの種類によっては、上表の質量グループでの使用に適していても、取り付けができない場合があります。詳しくは、4-14 ページの「ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用金具による固定(ワゴンタイプ車のみ)」をお読みください。

- 幻m アドバイス -

- ●表に記載されていないお子さま用シートを使用する場合は、お子さま用シートの製造元または販売店にご相談ください。
- ●取り付けるときは、お子さま用シートに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。

■ ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具による固定(ワゴンタイプ車のみ)

毎旦ガリ プ	サイズ等級		チャイルドシート固定専用金具の位置	
質量グループ	71	一人守拟	助手席後席	
キャリコット	F	ISO/L1	N.A.	X
イャクコット	G	ISO/L2	N.A.	X
グループ0(10kgまで)	Е	ISO/R1	N.A.	IL
	Е	ISO/R1	N.A.	IL
グループ0+(13kgまで)	D	ISO/R2	N.A.	IL
	С	ISO/R3	N.A.	IL
	D	ISO/R2	N.A.	IL
	С	ISO/R3	N.A.	IL
グループ I (9~18kg)	В	ISO/F2	N.A.	IUF
	В1	ISO/F2X	N.A.	IUF
	Α	ISO/F3	N.A.	IUF
グループ॥(15~25kg)			N.A.	Х
グループⅢ(22~36kg)			N.A.	X

く上表に記入する文字の説明>

IUF:この質量グループでの使用を許可された汎用(ユニバーサル)カテゴリーの ISOFIX対応前向きお子さま用シートに適しています。

L : この質量グループでの使用を許可された準汎用(セミユニバーサル)カテゴリーの「マツダ純正ベビーシート」に適しています。

X : ISOFIX対応お子さま用シートの取付けには適していません。

N.A.: この位置にはチャイルドシート固定専用金具が装備されていないため、ISOFIX タイプのお子さま用シートを取り付けることはできません。

● チャイルドシート固定専用金具を使用してお子さま用シートを取り付けるときは、 **3-41ページ**の「**ISOFIX対応チャイルドシート固定専用金具**」をお読みください。

- √m アドバイス -

- ●表に記載されていないお子さま用シートを使用する場合は、お子さま用シートの製造元または販売店にご相談ください。
- ●取り付けるときは、お子さま用シートに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。

SRSエアバッグ車を 運転するときは

SRSエアバッグシステムとは

SRS とは Supplemental Restraint System (サプリメンタル レストレイント システム) の略で、補助拘束装置の意味です。

■ 運転席・助手席 SRS エアバッ グシステム

エンジンスイッチが ON の場合に、車の前方向から強い衝撃を受け、シートベルトを着用していてもハンドルや助手席側インパネに顔面があたるような強い衝突のときに、運転席・助手席 SRS エアバッグが瞬時にふくらむ構造になっています。

● 運転席・助手席 SRS エアバッグシステムは、ふくらんだ SRS エアバッグが クッションの役割をして、顔面への衝撃を軽減する効果があります。



68H40150

- シートベルトは必ず着用してください。
- → 4-4ページ

(シートベルトの着用のしかた)

▲ 警告

- ●SRS エアバッグシステムは、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトと併用することで、その効果を発揮するシートベルトの補助拘束装置です。したがって SRS エアバッグシステムが装備されている車であっても、シートベルトを必ず着用してください。
- ●シートベルトは正しい姿勢で正しく 着用してください。シートベルトを 正しく着用しないと、SRS エアバッ グの効果が十分発揮できません。



65J106

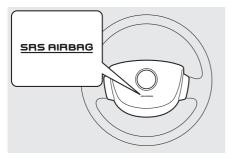
- √lm アドバイス –

助手席SRSエアバッグは、助手席に同乗者がいなくても、運転席 SRS エアバッグと同時にふくらみます。

表示と収納場所

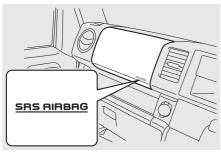
"SRS AIRBAG"の表示がある部分に収納されています。

■ 運転席SRSエアバッグ



68H40161

■ 助手席SRSエアバッグ



68H40171

▲ 警告

- ●エアバッグの収納部分に傷がついていたり、ひび割れがあったりするときは、マツダ販売店で交換してください。エアバッグが正常に作動しないおそれがあります。
- ●エアバッグの収納場所を強打したり、衝撃を加えないでください。エアバッグが正常に作動しなくなったり誤ってふくらんだりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

着座姿勢

運転者および助手席の同乗者は、シート に奥深くすわり、背もたれに背中を軽く つけてください。また、シートを前方に 出し過ぎないようにシートの位置を調節 してください。

とくに助手席の同乗者は、後席の同乗者 のさまたげにならない位置までシートを 後方に移動し、助手席SRSエアバッグか らできるだけ離れてすわってください。

→ 3-31ページ(正しい運転姿勢)



68H30660

お子さま用シートの取付け

- → 2-6 ページ (お子さま用シートの使用について)
- → 4-7 ページ (お子さま用シートの シートベルトによる固定)
- → 4-9ページ (お子さま用シートの選択について)

SRSエアバッグシステムの 取扱い

SRSエアバッグシステムを 正常に機能させるために

SRSエアバッグがふくらむ範囲に物があると、物が飛ばされたりSRSエアバッグが正常にふくらまなくなったりするおそれがあります。

▲ 警告

- ◆サスペンションを改造しないでください。車高やサスペンションの硬さが変わると、SRS エアバッグの誤作動の原因になります。
- ●車両前部にグリルガードなどを装着 するときは、マツダ販売店にご相談 ください。車両前部を改造すると、 SRS エアバッグが正常に作動しなく なるおそれがあります。
- ●無線機などを取り付けるときは、マッダ販売店にご相談ください。無線機の電波などが SRS エアバッグのコンピューターに悪影響をあたえるおそれがあります。
- ●SRS エアバッグが作動しない程度の 事故であっても、事故後はマツダ販 売店で点検を受けてください。シス テム本来の機能が損なわれている と、万一のときにSRSエアバッグの 効果が十分に発揮できないおそれが あります。
- ●SRS エアバッグは、その機能に影響をあたえる部品に手を加えると、思いがけないときにふくらんだり、必要なときに正常に作動しなくなったりすることがあります。次のような場合は、システムに悪影響をおよぼしますので、事前にマツダ販売店にご相談ください。

- ハンドルの取外し、ハンドルまわりの修理など
- インパネまわり、センターコン ソール付近の修理および電気配線 の修理
- オーディオ用品などの取付け
- ダッシュボード周辺の板金塗装お よび修理
- センターピラーまわりの修理

■ 運転席SRSエアバッグについて

▲ 警告

- ●ハンドルにもたれかかるなどして、 SRS エアバッグ収納部に手や顔、胸 などを近づけないでください。SRS エアバッグが作動したときの強い衝 撃で、重大な傷害を受けるおそれが あります。
- ●ハンドルを交換する、ハンドルの パッド部にステッカーを貼る、色を ぬる、カバーでおおうなどの改造を しないでください。万一のときに SRSエアバッグが正常にふくらまなく なるおそれがあります。



68H40180

■ 助手席SRSエアバッグについて

▲警告

- ●助手席に乗車するときや、お子さまを乗せるときは、必ず次のことをお守りください。守らないとSRSエアバッグが作動したときの強い衝撃で、重大な傷害を受けるおそれがあります。
 - インパネのSRSエアバッグ収納部 に手足を置いたり、顔や胸などを 近づけたりしないでください。
 - お子さまを SRS エアバッグ収納部 の前に立たせたり、ひざの上に抱い てすわったりしないでください。お 子さまは後席に乗せて、シートベル トを着用させてください。



68H40190

- 一体式後席シート車の場合、シートベルトを正しく着用できないお子さまは乗せないでください。いずれの席でもお子さま用シートを適切に取り付けることができません。
- 分離式後席シート車の場合、シート ベルトを正しく着用できないお子さ まは、ベビーシート、チャイルド シート、ジュニアシートをご使用の うえ、後席に乗せてください。
- ●インパネ上面には、ステッカーを貼ったり色をぬったりしないでください。 また、アクセサリーや芳香剤、ETC 車載器やポータブルカーナビなどを

取り付けたり置いたり、傘などを立 てかけたりしないでください。



68H4020

●フロントガラスやルームミラーにア クセサリー(マツダ純正用品を除く) などを取り付けないでください。

(SRSエアバッグシステムの作動)

作動したとき

- エアバッグは、高温のガスで瞬時にふくらみます。事故の発生状況や乗員の 姿勢によっては、擦過傷、打撲、やけ どなどを負うことがあります。
- ふくらんだエアバッグは、すぐにしぼ む構造になっています。

⚠警告

エアバッグが作動したあとは、エア バッグの構成部品に触れないでくださ い。作動直後は構成部品が熱くなり、 やけどのおそれがあります。

▲ 注意

エアバッグが作動すると大きな音がして白い煙のようなガスが出ますが、火 災ではありません。また、人体への影響もありません。

ただし、残留物が目や皮膚などに付着 したときは、できるだけ早く水で洗い 流してください。皮膚の弱い方などは、 まれに皮膚を刺激する場合があります。

- √lm アドバイス -

エアバッグは再使用できません。マツダ販売店で交換してください。

こんなとき作動します

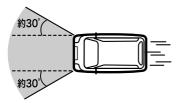
■ 運転席・助手席SRSエアバッグ

●衝突しても変形や移動をしない構造物 (コンクリートの壁など) に、約25 km/h以上の速度で正面衝突したとき



68H40210

●車両の前方約 30°以内の方向から、 ト図と同等の強い衝撃を受けたとき



68H40220

こんなとき作動することが あります

■ 運転席・助手席SRSエアバッグ

車体下部に強い衝撃を受けると、多くの 場合作動します。

● 縁石や中央分離帯などに衝突したとき



68H40230

● 深い穴や溝などに落ちたとき



68H40240

ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したとき



68H40250

こんなとき、衝撃が強いと 作動する場合もあります

■ 運転席・助手席SRSエアバッグ

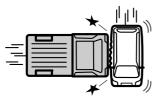
追突、横方向からの衝突、横転などでは 基本的に作動しませんが、衝撃が強いと まれに作動する場合があります。

● 追突されたとき



68H40260

● 横方向から衝突されたとき



68H40270

● 横転や転覆をしたとき



68H40280

こんなとき作動しないことが あります

■ 運転席・助手席SRSエアバッグ

衝突の相手が移動したり、車体が大きく変形したりして衝撃が吸収されたときや、衝突の角度が前方約30°を超えるとき、多くの場合は作動しません。

●停車している同程度の重さの車に、 50 km/h程度、もしくはそれ以下の速度で正面から衝突したとき



68H40290

トラックの荷台の下などへもぐり込んだとき



68H40300

● 電柱や立木などに衝突したとき



68H40310

● 前方約30°を超える角度で、コンクリートの壁やガードレールなどに衝突したとき



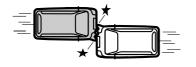
68H40320

● 衝突時に変形、移動しないコンクリートのような固い壁に正面衝突したときであっても衝突速度が約25 km/h以下のとき



68H40330

● 衝突の方向が車両の中心からずれたと き(オフセット衝突)



68H40340

SRSエアバッグ警告灯



68H31110

メーターパネル内にあります。

- SRS エアバッグ、シートベルトプリテンショナーの電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが ONのときに点灯します。
 - → 3-51ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

廃棄と廃車

作動していないエアバッグを廃棄すると きは、決められた手順で作動させてから 廃棄する必要があります。



68H40350

▲注意

エアバッグを廃棄するときや、装備車 を廃車するときは、マツダ販売店にご 相談ください。正しく取り扱わないと、 エアバッグが思いがけないときにふく らんで、けがをすることがあります。

4. 安全装備の取扱い/SRSエアバッグ

イベントデータレコーダー (EDR)とは

この車は、SRSエアバッグシステムを制御するためのコンピューターを搭載しています。このコンピューターは、SRSエアバッグシステムが正常に作動しているかどうかを常に診断するとともに、エアバッグが作動するような事故のときに、衝突時点やその前後の車両データを記録するイベントデータレコーダー(EDR)システムを備えています。

EDRに記録するデータ

- ◆ SRS エアバッグシステムの故障診断情報
- SRSエアバッグ作動に関する情報

√ アドバイス —

- ●お車のタイプなどにより、記録されるデータは異なります。
- ●EDRは、一般的なデータレコーダーと は異なり、会話などの音声や映像は記 録しません。

EDRデータの開示について

マツダおよびマツダが委託した第三者は、EDRに記録されたデータを、車両衝突安全性能の向上などを目的に取得・利用することがあります。

なお、マツダおよびマツダが委託した第 三者は、次の場合を除き、取得したデー タを第三者へ開示・提供しません。

- お車の使用者の同意がある場合
- 法令、裁判所命令その他法的強制力の ある要請に基づく場合
- ●統計的な処理を行なうなど、使用者や 車両が特定できないように加工した データを、研究機関などに提供する場合

ABS装備車の取扱い

ABSはタイプ別装備

ABS(アンチロックブレーキシステム)とは

ブレーキをかけたときのタイヤのロック を自動的に防止することで、走行安定性 や操舵性を確保しようとする装置です。

▲警告

- ●常に周囲の状況を確認して、安全運転に努めてください。ABSによる制御には限界があります。
- ◆ABS は、タイヤのグリップ限界を超 えたり、ハイドロプレーニング現象 (※)が起こった場合は効果を発揮 できません。
 - ※雨天の高速走行などで、タイヤと 路面の間に水膜が発生し、接地力 を失ってしまう現象

4. 安全装備の取扱い/ABS

制動距離について

ABSは制動距離を短くするものではあり ません。

▲注意

- ●急ブレーキをかけたときや、滑りやすい路面でブレーキをかけたときの制動距離は、ABS がついていない車と同等です。
- ●次のようなときは、ABSのついていない車より制動距離が長くなることがあります。スピードを控えめにして、車間距離を十分にとってください。
 - 凹凸道や石だたみなどの悪路
 - ・じゃり道、新雪路
 - 道路の継ぎ目などの段差を乗り越 えるとき
 - マンホールなど鉄板の上を通過するとき
 - タイヤチェーンの装着時
- ●急ブレーキ時には、ポンピングブレーキ(※)をせずに、ブレーキペダルを思い切り強く踏み込んでください。ポンピングブレーキをすると、制動距離が長くなります。
- ※ブレーキペダルを数回に分けて小 刻みに踏むブレーキのかけかた
- ●路面の状況によりますが、約10km/h 以下ではABSが作動しません。

ABS作動時の振動や音

ブレーキペダルを強く踏むと、ブレーキペダル、ハンドル、車体の小刻みな振動を感じることがあります。これはABSの作動によるもので、異常ではありません。ブレーキペダルをそのまま強く踏み続けてください。

- √lm アドバイス —

エンジンをかけて発進した直後に、一時的にモーター音などが聞こえることがあります。これはシステムをチェックしている音で、異常ではありません。

タイヤについて

▲警告

ABSは、各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。タイヤ交換時は、指定のサイズで、4輪ともサイズ、銘柄、トレッドパターン(溝模様)が同一のものを装着してください。また、著しく摩耗状態の異なるタイヤを使用しないでください。正確な回転速度が検出できなくなって ABS が正常に機能しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ABS は、こんな場合にもブレーキをかけると作動することがあります

● 滑りやすい路面を走行しているとき



68H40360

4. 安全装備の取扱い/ABS



68H40370



80J1361

● 道路の継ぎ目などの段差を乗り越える とき



道路の継ぎ目)

68H40390



道路の段差

68H40400

● 悪路を走行しているとき



68H40410



68H40420

ABS警告灯



68H31130

メーターパネル内にあります。

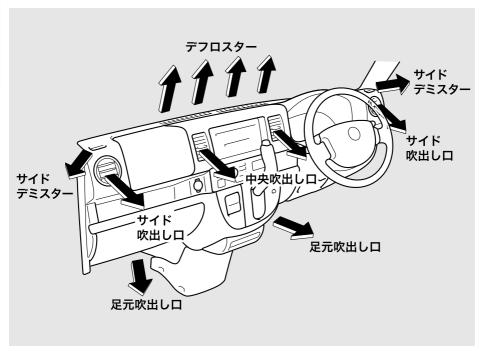
- ◆ ABS の電子制御システムに異常があると、エンジンスイッチが ON のときに点灯します。
 - → 3-51ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

5. 快適装備の取扱い

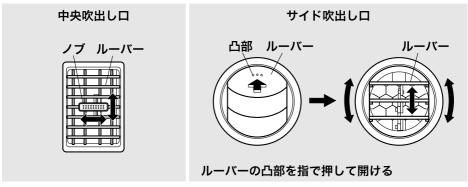
エアコン、ヒーター	
	5-2
マニュアルエアコン ・・・・・・・・・・・・・・・・	5-3
フルオートエアコン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-7
リヤヒーターの使いかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-12
エアコンの上手な使いかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-12
オーディオ	
オーディオの上手な使いかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-14
アンテナ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-14
AM/FMラジオ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-15
室内装備	
室内灯 ••••••	5-17
オーバーヘッドコンソール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-18
サンバイザー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-19
グローブボックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-20
インパネトレイ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-21
アクセサリーソケット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-21
カードケース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-22
灰皿 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	5-22
インパネセンターポケット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-23
インパネポケット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-23
リッド付インパネポケット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-23
カップホルダー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-24
フットレスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-25
センターコンソールトレイ ・・・・・・・・・・・	5-25
アームレスト(ひじ掛け)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-25
シートバックポケット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-26
ラゲッジサイドポケット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5-26

吹出し口



68H50010

- ●中央吹出し口は、ノブを上下左右に動かすと、風の向きが調節できます。
- サイド吹出し口は、ルーバーを上下または回転させると、風の向きが調節できます。
- サイド吹出し口は、開閉ができます。

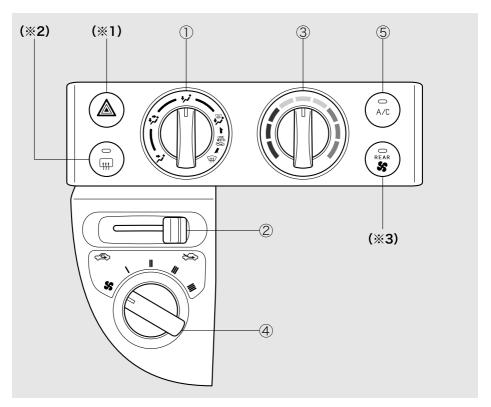


68H50020

− √lm アドバイス −

運転席や助手席のドアガラスがくもったときは、ドアガラスに風が直接あたるよう にサイド吹出し口を調節すると、より早くくもりが取れます。

マニュアルエアコン タイプ別装備



68H50030

- ①吹出し口切替えダイヤル
- ②内外気切替えレバー
- ③温度調節ダイヤル

- ④ファン(風量)調節ダイヤル
- ⑤エアコンスイッチ
- ※1 非常点滅表示灯スイッチについては、**3-61ページ**をお読みください。
- ※2 リヤデフォッガースイッチについては、**3-63ページ**をお読みください。
- ※3 リヤヒータースイッチについては、5-12ページをお読みください。

各ダイヤル、スイッチ、レバーの使いかた

① 吹出し口切替えダイヤル

使用目的にあわせて、吹出し口切替えダイヤルを左右にまわして切り替えます。

ダイヤル	目的	上半身に送風したいとき	上半身、足元に送風したいとき
	ダイヤル	**	***
68H50060 68H5007	吹出し口		68H50070

目的	足元に送風したいとき	足元への送風と窓ガラスのくもりを 取りたいとき
ダイヤル	***	
吹出し口		
	68H50100	68H50110

ダイヤル	W	USE WITH
吹出し口	68H50140	このマークは、窓ガラスのくもりを早く取るためのアドバイスです。 吹出し口切替えダイヤルを ♪ または 〒 にして内外気切替えスイッチを外気導入にすると、内気循環にくらべて窓ガラスのくもりが早く取れます。

_ √lm アドバイス -

運転席や助手席のドアガラスがくもったときは、ドアガラスに風が直接あたるようにサイド吹出し口を調節すると、より早くくもりが取れます。

② 内外気切替えレバー

レバーを左に操作すると内気循環、右に 操作すると外気導入になります。

位置	状態	
(外気導入)	外気を導入しています。 ●通常はこの位置でお使 いください。	
(内気循環)	外気をしゃ断しています。 ●トンネル内や渋滞時な ど外気が汚れていると きや、早く冷暖房したい ときにお使いください。	

- ۥﺳアドバイス -----

長時間、内気循環にするとガラスがく もりやすくなります。

③ 温度調節ダイヤル

温度調節ダイヤルを時計方向にまわすと 温度が高くなり、反時計方向にまわすと 温度が低くなります。

頭寒足熱暖房

吹出し口切替えダイヤルの位置が ジ の ときに、温度調節ダイヤルを中間の位置 に操作すると、頭寒足熱暖房になります。

- 足元に温かい風が吹き出し、上半身に は比較的低い温度の風が吹き出します。
- エアコンを作動させると、さらに温度 差のある効果的な頭寒足熱暖房ができ ます。

④ ファン(風量)調節ダイヤル

ファン調節ダイヤルをまわすと、風量が 調節できます。

ダイヤル位置	\$	1 11 111 1111
風量	停止	弱←→強

注記

長時間の停車や渋滞では、バッテリー 保護のため風量を弱くしてください。

⑤ エアコンスイッチ

エンジンをかけ、ファン(風量)調節ダイヤルを停止の位置から時計方向にまわし、エアコンスイッチを押します。除湿された風が吹き出すとともに、スイッチ内の表示灯が点灯します。

止めるときは、スイッチをもう一度押し ます。

除湿暖房

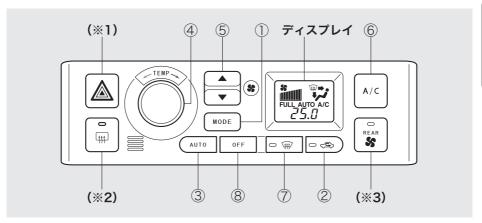
暖房しているときにエアコンスイッチを 入れると、除湿された温風が吹き出し て、ここちよい暖房になります。

- √lm アドバイス -

- ●装置保護のため、エアコンの冷却器 を通る空気の温度が0°C近くまで下が ると、エアコンが切れます。このた め、外気温度が0°C近くまで下がって いるとき外気導入にすると、エアコ ンが作動しません。
- ●エアコンスイッチを入れると、しばらくの間白い霧が吹き出すことがあります。これは湿った空気が急に冷やされて発生するもので、異常ではありません。

フルオートエアコン

タイプ別装備



68H50181

- ①モード(吹出し口)切替えスイッチ
- ②内外気切替えスイッチ
- ③オートスイッチ
- 4温度調節ダイヤル

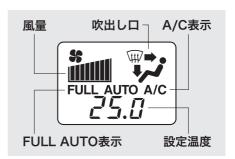
- ⑤ファン(風量)調節スイッチ
- ⑥エアコンスイッチ
- ⑦デフロスタースイッチ
- ⑧OFFスイッチ
- %1 非常点滅表示灯スイッチについては、3-61ページをお読みください。
- ※2 リヤデフォッガースイッチについては、3-63ページをお読みください。
- ※3 リヤヒータースイッチについては、**5-12ページ**をお読みください。

フルオートエアコンの使いかた

■ 通常の使いかた(自動で使う とき)

オートスイッチ③を押して温度調節ダイヤル④で希望の温度を設定すると、各機能(5-10ページ参照)が自動制御されます。

1 エンジンをかけ、オートスイッチ③ を押します。ディスプレイに次のように表示(代表例)されます。



68H50640

- 冷房や除湿をしないときは、エアコンスイッチ⑥を押してエアコンを止めてください。エンジンへの負荷が軽減され、燃費の向上につながります。ただし、エアコンを止めると、室内温度を外気温度以下にはできません。
- ② 温度調節ダイヤル④をまわして希望 の温度を設定します。設定温度は 18℃~32℃の間で、0.5℃間隔で設 定できます。
 - 25℃を基準に希望の温度を設定 してください。ただし、外気温に よっては、希望の設定温度になら ないことがあります。
- **3** 作動を停止するときは、OFFスイッチ®を押します。

— √m アドバイス *—*

- ●エンジンを停止しても設定温度を記憶しています。
- ●AUTO作動中に、ファン調節スイッチ ⑤、モード(吹出し口)切替えスイッチ①のいずれかを操作すると、操作したスイッチの機能が優先されてディスプレイのFULL AUTO表示が消えます。ただし、操作したスイッチと内外気切替えスイッチ以外は自動制御となります。
- ●AUTO作動中に、内外気切替えスイッチ②を操作すると、操作したスイッチの機能が優先されてディスプレイのFULL表示が消えます。ただし、操作したスイッチ以外は自動制御となります。
- ●AUTO作動中に、デフロスタースイッチ⑦を押すと、ディスプレイのFULL AUTO表示が消えて風量が増加し、外気導入となってエアコンが作動します。ただし、外気温が低いと、エアコンが作動しないこともあります。

- ●外気温が低くエンジンが冷えている ときや、外気温が高いときは、冷風 や熱風が吹き出すのを防ぐため、し ばらくの間、風が少量しか吹き出さ ないことがあります。
- ●エンジンスイッチが ON のときに、 ディスプレイの AUTO 表示が点滅し たときは、システムの異常が考えら れます。マツダ販売店で点検を受け てください。

■ 手動で使うとき

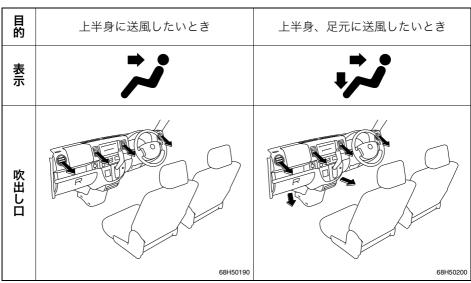
好みにあわせてスイッチを操作してください。

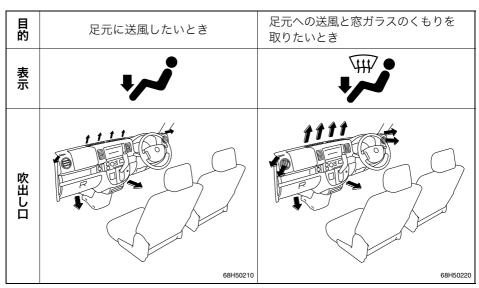
- ◆ FULL AUTOまたはAUTO作動中でも、 操作したスイッチの機能が優先されます。
- すべての作動を FULL AUTO にもどす ときは、オートスイッチ③を押します。
- ●止めるときは、OFF スイッチ®を押します。

各スイッチ、ダイヤルの使いかた

① モード (吹出し口) 切替えスイッチ

モード(吹出し口)切替えスイッチを押すごとに吹出し口が切り替わり、ディスプレイの表示も切り替わります。





- イトm アドバイス・

運転席や助手席のドアガラスがくもったときは、ドアガラスに風が直接あたるようにサイド吹出し口を調節すると、より早くくもりが取れます。

② 内外気切替えスイッチ

内外気切替えスイッチを押すごとに、内 気循環と外気導入が交互に切り替わりま す。

表示	状態
消灯 〇 全 (外気導入)	外気を導入している状態 です。
点灯 (内気循環)	外気をしゃ断している状態です。トンネル内や渋滞 時など外気が汚れている ときや、早く冷暖房したい ときにお使いください。

− √m アドバイス −

- ●長時間、内気循環にするとガラスが くもりやすくなります。
- ●外気と内気の温度差により、外気導入、内気循環のどちらかに固定される場合があります。必要に応じて、 内外気切替えスイッチを押して切り替えてください。
- ●スイッチ内の表示灯はファンやエア コンの作動の有無に関係なく、内気 循環のときに点灯します。

③ オートスイッチ

オートスイッチを押すと、ディスプレイの FULL AUTO A/C 表示が点灯し、次の機能が自動制御されます。

- 吹出し風の温度調節
- 吹出し風量の調節
- 吹出し口の切替え
- 内気循環/外気導入の切替え

頭寒足熱暖房

AUTO 作動中、吹き出し口切替え表示が のときに、頭寒足熱暖房になります。

- ●足元に温かい風が吹き出し、上半身に は比較的低い温度の風が吹き出しま す。
- エアコンを作動させると、さらに温度 差のある効果的な頭寒足熱暖房ができ ます。

④ 温度調節ダイヤル

温度調節ダイヤルをまわすと、18 $^{\circ}$ C \sim 32 $^{\circ}$ C の間で設定温度を変更できます。設定温度は、ディスプレイに表示されます。

設定温度を 18 ℃にすると最大冷房、 32℃にすると最大暖房となります。

- √lm アドバイス ―

設定温度を 18° Cまたは 32° Cにしていると、急に風量が最大となったり、急に吹出し温度が変化したりする場合がありますが、異常ではありません。

⑤ ファン(風量)調節スイッチ

ファン(風量)調節スイッチを押すと、 風量が調節できます。風量はディスプレイに表示されます。

- ・風量を大きくするときは▲、風量を小 さくするときは▼を押します。
- 連続調節するときは、長押しします。
- ファンを停止するときは、OFF スイッチ®を押します。

⑥ エアコンスイッチ

ファン作動中に使用できます。

● エアコンスイッチを押すごとに、エアコン(冷房・除湿機能)の作動と停止が交互に切り替わり、ディスプレイの表示も切り替わります。

除湿暖房

暖房しているときにエアコンスイッチを入れると、除湿された温風が吹き出して、ここちよい暖房になります。

– √lm アドバイス -

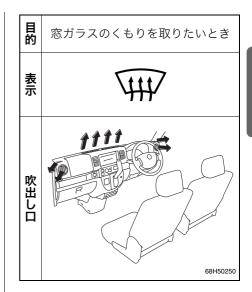
- ●装置保護のため、エアコンの冷却器 を通る空気の温度が0°C近くまで下がると、エアコンが切れます。このため、外気温度が0°C近くまで下がっているとき外気導入にすると、エアコンが作動しません。
- ●エアコンスイッチを入れると、しばらくの間白い霧が吹き出すことがあります。これは湿った空気が急に冷やされて発生するもので、異常ではありません。

⑦ デフロスタースイッチ

デフロスタースイッチを押すと、自動的 にエアコンが作動し、吹出し口が切り替 わります。同時にスイッチ内の表示灯が 点灯し、ディスプレイの表示も切り替わります。

もう一度押すと、デフロスタースイッチを押す前の制御にもどります。(オート制御の場合、吹出し口や内外気、風量の状態が変わることがあります)

- ●内気循環になっているときは、外気導入に切り替わります。
- 風量が自動的に増加します。ファン調 節スイッチを操作して、好みの風量に も調節できます。
- エアコンが必要ないときは、エアコン スイッチを押して停止してください。



— √lm アドバイス −

- ●内気循環に切り替えると、くもりが 取れにくくなります。
- ●設定温度を低くすると、窓ガラスの 外側に露がつくことがあります。
- ●設定温度を高くすると、早くくもり が取れます。
- ●外気温が低いときは、エアコンが作動しないこともあります。
- ●スイッチ内の表示灯は吹出し口がデフロスター位置にあると、ファンやエアコンを停止させた状態でも点灯します。
- ●運転席や助手席のドアガラスがくもったときは、ドアガラスに風が直接あたるようにサイド吹出し口を調節すると、より早くくもりが取れます。

⑧ OFFスイッチ

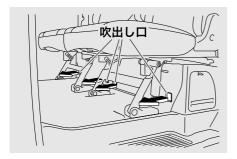
OFF スイッチを押すと、ファンが停止してエアコンも止まります。

リヤヒーターの使いかた

タイプ別装備

リヤヒーターの吹出し口

エンジン冷却水が暖まっているときにリヤヒーターを作動させると、後席足元の吹出し口から温風が吹き出てきます。



68H50280

- √lm アドバイス ―

エンジン冷却水が冷えているときは、 温風が吹き出てきません。

リヤヒータースイッチ

エンジンスイッチが $\boxed{\mathsf{ON}}$ のときに使用できます。

■ スイッチを押すと、リヤヒーターが作動し、スイッチ内の表示灯が点灯します。

もう一度押すとスイッチが切れます。



68H50261



68H50271

注 記

エンジン停止中に長時間使用しないでください。バッテリーあがりの原因となります。

エアコンの上手な使いかた

温度感知装置

フルオートエアコン

フルオートエアコンは、日射センサー、 室温センサー、外気温センサーなどに よって周囲の状況を感知し、自動制御し ています。



68H50290



68H50300

- イトm アドバイス -

日射センサーの上や周囲に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけたままにしたりしないでください。また、室温センサーにシールなどを貼って、ふさがないでください。センサー感度が低下し、正常に自動制御されなくなります。

エアコンガスを充てんする ときは

エアコンガスは、冷媒HFC134a(R134a) を使用してください。

- エアコンガスを充てんするときは、マッダ販売店にご相談ください。
- 地球環境を守るため、エアコンガスを 大気中に放出しないでください。エア

コンの修理や廃車時の処理は、マツダ 販売店にご相談ください。

◆冷房性能が低下してきたと感じた場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。

長期間使用しないときは

月に1回程度はエアコンを作動させ、エアコン装置の各部にオイルを循環させてください。油ぎれを防ぐことにより寿命をのばします。

炎天下に駐車したときは

長時間、炎天下に駐車すると、室内が高温になります。ドアや窓を開けて室内を換気しながら、冷房をしてください。

脱臭フィルターを交換する ときは

エアコンを快適に使用するために、脱臭フィルターを取り付けています。脱臭フィルターは定期的に清掃、交換してください。

・脱臭フィルターの清掃と交換は、マツ ダ販売店にご相談ください。

地域	清掃時期 の目安	交換時期 の目安
寒冷地、粉じんの多い地域	5,000 km ごと、または 6か月 ごと	車検ごと
上記以外の 地域	10,000 km ごと、または 12か月 ごと	車検ごと

5. 快適装備の取扱い/オーディオ

(オーディオの上手な使いかた)

オーディオはタイプ別装備

安全運転のさまたげにならな い音量でお聞きください

- オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用すると、スピーカーからノイズ(雑音)が聞こえることがあります。これは故障ではありません。
- オーディオが不法電波の影響を受ける と、正常に作動しないことがあります。
- オーディオの操作については、5-15ページの「AM/FM ラジオ」またはオーディオに付属の取扱説明書をお読みください。

▲警告

走行中はオーディオを操作しないでく ださい。操作に気を取られて、思わぬ 事故を起こすおそれがあります。

注記

エンジンを停止したままで長時間オー ディオを使うと、バッテリーあがりの 原因となります。

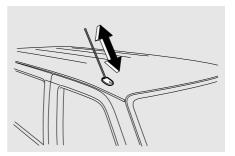
アンテナ

- √トーハアドバイス・

アンテナで受信できるラジオの電波が 刻々と変わるため、ビルの谷間などで は良好な受信状態を保てないことがあ ります。

ピラーアンテナ

ラジオを聞くときは、ピラーアンテナを いっぱいまで伸ばします。



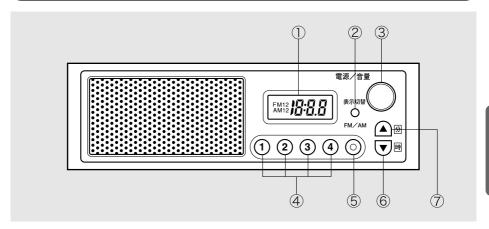
68H50310

注記

自動洗車機にかけるときや屋根の低い 車庫に入るときなどは、アンテナを収 納してください。アンテナが破損した り、曲がって収納できなくなったりし ます。

AM/FMラジオ

タイプ別装備



68H50320

- ①ディスプレイ
- ②表示切替えボタン
- ③電源/音量ノブ
- ④ワンタッチ選局ボタン
- ⑤FM/AM切替えボタン

基本操作

■ 電源を入れる

エンジンスイッチが \overline{ACC} または \overline{ON} のときに、電源/音量ノブ③を押します。



68H50330

● もう一度押すと、電源が切れます。

- ⑥ 時 修正ボタン選局ボタン (-)
- ⑦ 分 修正ボタン選局ボタン (+)

■ 音量を調節する

電源/音量ノブ③をまわします。



68H50340

● 時計方向にまわすと、音量が大きくなります。反時計方向にまわすと、小さくなります。

▲ 注意

- ●車外の音が聞こえる音量で使用して ください。
- ●電源を切るときは、音量を小さくしてください。電源を入れたときに突然大きな音が出ると、聴力障害などの原因となります。

5. 快適装備の取扱い/オーディオ

■ 聞いている放送局の周波数を 確認する

表示切替えボタン②を押します。

- 周波数は約5秒間表示され、そのあと 時計表示にもどります。
- 周波数を表示しているときに早く時計表示に切り替えたい場合は、表示切替えボタン②をもう一度押します。

選局をする

■ FM/AMを選ぶ

ラジオを聞いているときに FM/AM 切替 えボタン⑤を押します。

●押すたびに、ディスプレイのバンド表示が次のように切り替わります。

 \rightarrow FM1 \rightarrow FM2 \rightarrow AM1 \rightarrow AM2 \rightarrow

■ 自動選局をする

選局ボタン⑥または⑦を、ディスプレイに表示されている周波数が変わりだすまで長押しします。

- 周波数の高い方へ選局するときは、選 局ボタン(+)⑦を押します。
- 周波数の低い方へ選局するときは、選 局ボタン(-)⑥を押します。
- ◆放送局のあるところで、自動的に選局が止まります。
- 受信電波が弱いところでは、自動選局 ができないことがあります。
- 自動選局を取り消したいときは、選局 ボタンをもう一度押してください。

■ 手動選局をする

選局ボタン⑥または⑦を短押しして、希望の周波数にあわせます。

- 周波数の高い方へ選局するときは、選 局ボタン(+)⑦を押します。
- 周波数の低い方へ選局するときは、選 局ボタン(-)⑥を押します。
- ボタンを押すごとに FM は 0.1 MHz、 AMは9kHzずつ変化し、ディスプレイ に周波数が表示されます。

ワンタッチ選局をする

よく聞く放送局をあらかじめ記憶させて おくことにより、ワンタッチ選局ができ ます。

◆ それぞれのバンド (FM1、FM2、AM1、 AM2) に4局ずつ記憶できます。

■ 放送局を記憶させる

- FM/AM 切替えボタン⑤を押して、 希望するバンド (FM1、FM2、AM1、 AM2) に切り替えます。
- 2 記憶させたい放送局を選局します。
- 3 1~4のうちの記憶させたいワンタッチ選局ボタン④を2秒以上押し続けます。

■ 放送局を呼び出す

記憶させてあるバンドに切替え、ワンタッチ選局ボタン④を押します。ディスプレイに呼び出された放送局の周波数が表示されます。

− √lm アドバイス ―

- ●放送局を記憶させたときは、記憶ができていることを確認してください。ワンタッチ選局ボタン④を2秒以上押し続けていないときは、放送局の記憶ができません。
- ●バッテリーを外すと記憶が消去されます。設定をもう一度やり直してください。

時計を合わせる

ディスプレイが時計表示のときに、合わせることができます。

■ 時の合わせかた

表示切替えボタン②を押しながら、 時 修正ボタン⑥を押します。

● "時"が早送りされます。

■ 分の合わせかた

表示切替えボタン②を押しながら、 分修正ボタン⑦を押します。

● "分"が早送りされます。

_ イlm アドバイス ―

バッテリーを外すと記憶が消去されます。時計合わせをやり直してください。

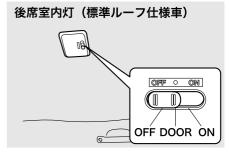
5. 快適装備の取扱い/オーディオ 室内灯



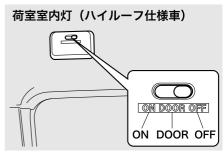
68H50350



68H50360



68H50370



68H50380

注記

エンジン停止中に長時間点灯させない でください。バッテリーあがりの原因 となります。

− √m アドバイス ―

バッテリー保護のため、次の条件をすべてみたすと、室内灯が自動的に消灯 します。 (バッテリーセーバー機能)

- ●エンジンスイッチが LOCK の位置 でキーを差していない
- ●室内灯スイッチがDOOR位置
- ●点灯したまま15分が経過

キーレスエントリー非装備車

ON

ドアの開閉に関係なく点灯します。

■ DOOR

運転席ドア、助手席側のスライドドアまたはバックドアのいずれかを開けると点灯します。

● それらのドアをすべて閉めると約15秒 間点灯し、徐々に減光しながら消灯し ます。

また、点灯中であっても次のような操作 をすると消灯します。

- エンジンスイッチにキーを差し込む
- 運転席ドアのキーまたはロックレバー による施錠

■ OFF

ドアの開閉に関係なく消灯します。

キーレスエントリー装備車

ON

ドアの開閉に関係なく点灯します。

DOOR

いずれかのドアを開けると点灯します。

すべてのドアを閉めると約 15 秒間点 灯し、徐々に減光しながら消灯します。

また、点灯中であっても次のような操作 をすると消灯します。

- エンジンスイッチにキーを差し込む
- 運転席ドアのキーまたはロックレバー による施錠
- キーレスエントリーによる施錠

OFF

ドアの開閉に関係なく消灯します。

- √lm アドバイス –

室内灯スイッチがDOOR位置のときに キーレスエントリーを作動させると、 室内灯が点灯または点滅します。

→ 3-10ページ

(アンサーバック機能)

(オーバーヘッドコンソール)

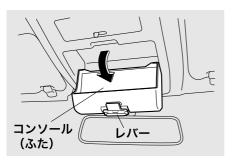
タイプ別装備

手回り品や小物などの収納にご使用くだ さい。

物を出し入れするとき以外は、ふたを 閉めてください。

標準ルーフ仕様車

開けるときは、レバーを押します。



68H50390

ハイルーフ仕様車

前後にコンソールがあります。

●後ろ側のコンソールの場合、ふたの裏側にカードホルダーがあります。



68H50400

▲ 注意

- ●ふたを開けたまま走行しないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、中の物が飛び出すおそれがあります。
- ●標準ルーフ仕様車は、コンソールに入れる物を合計300 g以下としてください。また、ハイルーフ仕様車は、後ろ側のコンソールに入れる物を合計500 g以下としてください。走行中の衝撃でふたが開いて、中の物が飛び出すおそれがあります。また、コンソール破損の原因となります。

注 記

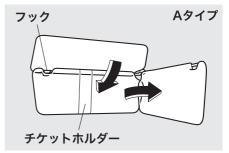
- ●炎天下で駐車するときは、コンソール内などにプラスチック素材のメガネやカードを放置しないでください。車内が高温になるため、メガネやカードの変形やひび割れを起こすおそれがあります。
 - → 2-18ページ (ライターやメガネなどを放置しない)
- ◆ふたを無理に閉めないでください。中 の物やコンソールが破損するおそれ があります。
- ●メガネを収納するときは、ケースなどに入れてください。レンズに傷が つくおそれがあります。

サンバイザー

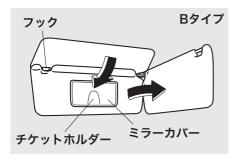
日差しがまぶしいときに使用します。横 からの日差しがまぶしいときは、フック から外して横にまわします。

チケットホルダー

運転席サンバイザーの裏側にあります。 有料道路の通行券などがはさめます。



68H50411



68H50421

注記

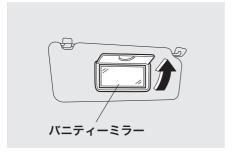
炎天下で駐車するときは、チケットホルダーなどにプラスチック素材のカードを放置しないでください。車内が高温になるため、カードの変形やひび割れを起こすおそれがあります。

→ 2-18 ページ (ライターやメガネなどを放置しない)

バニティーミラー

タイプ別装備

運転席サンバイザー裏側のミラーカバー を開けた場所にあります。



68H50431

⚠ 警告

走行中はバニティーミラーを使用しないでください。前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

グローブボックス

レバーを手前に引いてふたを開けます。



68H50440

物を出し入れするとき以外は、ふたを 閉めてください。

▲注意

ふたを開けたまま走行しないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、身体がふたにあたったり、中の物が飛び出したりするおそれがあります。

▼ボックス内の上部に、車検証などが入れられるスペースがあります。また、 手前にボックスティッシュなどが置けるスペースがあります。

車検証などを入れるスペース ボックスティッシュなどを置くスペース

68H50451

インパネトレイ

手回り品や小物などの収納にご使用くだ さい。

助手席



68H50460

▲ 警告

走行中にころがり落ちるような物を入れないでください。ブレーキペダルやアクセルペダルに物がはさまると確実なペダル操作ができなくなり、事故を起こすおそれがあります。

■ インパネフック

トレイ内にあります。買い物袋などを引っかけるときにご使用ください。

5. 快適装備の取扱い/室内装備

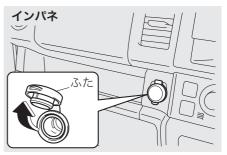
注記

フックにかける物は、2 kg 以下としてください。フックが破損するおそれがあります。

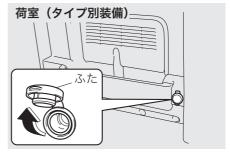
アクセサリーソケット

エンジンスイッチが ACC または ON のときに、電気製品の電源 (規定容量 12 V 120 W以下) として使用できます。

使用するときは、ふたを開けます。



68H50471



68H50481

⚠警告

- ●使わないときは、ふたを閉めてください。ソケット内に異物が入ると、 故障やショートの原因となります。
- 事故防止のため、マツダ純正用品以外 の電気製品を使用しないでください。

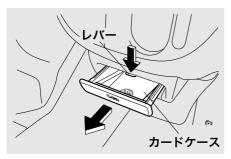
注記

- ●規定容量は、荷室(タイプ別装備)とインパネのソケットの合計で 120 W までとなります。規定容量を超える電気製品を使用すると、ヒューズが切れることがあります。
- ●エンジン停止中に長時間使用すると、バッテリーあがりの原因となります。また、エンジンがかかっていてもアイドリング状態で長時間使用すると、バッテリーがあがることがあります。

カードケース

タイプ別装備

- カードなどを出し入れするときは、 ケースを手前に引き出します。
- 取り外すときは、レバーを下に押さえ ながら引き抜きます。



68H50490

◆カードなどを出し入れするとき以外は、押し込んで格納してください。

⚠警告

灰皿としては絶対に使用しないでください。灰皿としての耐熱性はありません。火災や破損の原因となります。



68H50500

▲ 注意

ケースを開けたまま走行しないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、中の物が飛び出すおそれがあります。

注記

炎天下で駐車するときは、ケース内などにプラスチック素材のカードを放置しないでください。車内が高温になるため、カードの変形やひび割れを起こすおそれがあります。

→ 2-18 ページ (ライターやメガネ などを放置しない)

灰皿

タイプ別装備

- ●使用するときは、灰皿を手前に引き出します。
- 清掃するときは、遮熱板を下に押さえ ながら引き抜きます。

遮熱板

68H50510

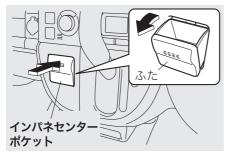
⚠警告

- ●タバコやマッチは、確実に火を消してから灰皿に入れてください。
- ●使用したあとは、押し込んで格納してください。
- ●灰皿の中に吸いがらをため過ぎたり、紙などの燃えやすい物を入れたりしないでください。出火のおそれがあります。

インパネセンターポケット

タイプ別装備

小物などを収納するときは、ふたを押し て開けます。



68H50521

物を出し入れするとき以外は、ふたを 閉めてください。

5. 快適装備の取扱い/室内装備

インパネポケット

タイプ別装備

手回り品や小物などの収納にご使用くだ さい。



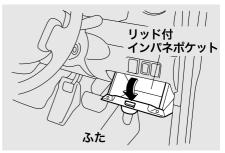
68H50530

▲ 警告

走行中にころがり落ちるような物を入れないでください。ブレーキペダルやアクセルペダルに物がはさまると確実なペダル操作ができなくなり、事故を起こすおそれがあります。

(リッド付インパネポケット

手前に引いてふたを開けます。



68H50540

物を出し入れするとき以外は、ふたを 閉めてください。

▲注意

ふたを開けたまま走行しないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに、中の物が飛び出すおそれがあります。

カップホルダー

缶ジュースやカップが置けます。

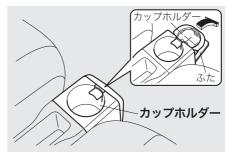
⚠警告

- ●飲み物には、ふたを閉めるなどしてこれではないように注意してと、やいいのおそれがあります。また、飲か物がイーディオ(タイプ別装備)やスイッチ類、フロア下の配線や故障、スイッチ類にかかると、火災や故障につながったり、SRS エアバッグシステムが正常に作動しなくなったります。
- ●缶ジュースやカップ以外のものを置かないでください。走行中に落ちてけがをしたり、運転の妨げになったりするおそれがあります。

前席側

センターコンソールトレイの前側にあり ます。

ふたを開けると、もう一本缶ジュース やカップが置けます。



68H50550

●使用後は、ふたを閉めておきます。

後席側

タイプ別装備

後席アームレストを倒すと、缶ジュース やカップが置けます。



691150560

◆後席アームレストを格納するときや後 席シートを格納するときは、飲み物な どをカップホルダーから取り出してお きます。

フットレスト

タイプ別装備

左足のささえとして使用します。

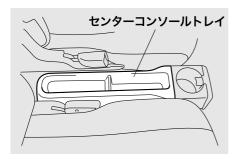


68H50570

・センターコンソールトレイ

タイプ別装備

手回り品や小物などの収納にご使用くだ さい。



68H50580

▲ 警告

走行中にころがり落ちるような物を入れないでください。ブレーキペダルやアクセルペダルに物がはさまると確実なペダル操作ができなくなり、事故を起こすおそれがあります。

5. 快適装備の取扱い/室内装備

アームレスト(ひじ掛け)

タイプ別装備

⚠警告

シートベルトは、アームレストの下を とおしてください。アームレストにベ ルトがかかっていると、シートベルト が本来の効果を発揮できません。



注記

アームレストに腰をかけたり、荷物を のせたりしないでください。アームレ ストが破損するおそれがあります。

前席

手前に倒して使用します。



68H50591

● 使用後は、持ち上げて収納します。

▲注意

マニュアル車 の場合、坂道発進などで繰り返しパーキングブレーキレバーを操作するときや助手席に同乗者がいるときは、前席アームレストを収納してください。アームレストがレバー操作のさまたげとなります。

後席

背もたれの中央部にあります。

● 手前に倒して使用します。



68H50601

使用後は、持ち上げて収納します。

シートバックポケット

タイプ別装備

雑誌や手荷物などの収納にご使用ください。

助手席



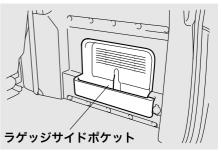
68H50621

ラゲッジサイドポケット

タイプ別装備

手回り品などの収納にご使用ください。

荷室両側



68H50630

6. お車との上手な つきあいかた

お手入れ	
外装のお手入れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6-2
内装のお手入れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6-4
タイヤの交換 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6-5
リモコンキーの電池交換・・・・・・・・・・・・・・・	6-6
寒冷時の取扱い	
冬期に入る前の準備・・・・・・・・・・・・・・・・・	6-9
出発の前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6-10
雪道を走行するとき・・・・・・・・・・・・・・・・	6-11
駐車するとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6-12
タイヤチェーンを装着するとき・・・・・・・・	6-14

外装のお手入れ

塗装面を美しく保つために

お車をいつまでも美しく保つためには、 日頃のお手入れが大切です。

- 駐車、車の保管は風通しのよい車庫や 屋根のある場所をおすすめします。
- 次のようなときはサビや塗装の変色などの原因となります。すみやかに洗車をしてください。
 - 海岸地帯や凍結防止剤を散布した道 を走行したとき。とくに車体の下ま わり、足まわりを洗車してください。
 - 鳥のふん、虫の死がい、樹液、鉄 粉、ばい煙、コールタールなどが付 着したり、酸性雨に濡れたとき。
 - ほこりや泥でひどく汚れたりしたとき。
- ワックスがけは月に 1回程度、または 水のはじきが悪くなったら行なってく ださい。ワックスがけのしかたは、 ワックス(別売り)の容器に書かれて いる取扱説明に従ってください。



●飛び石の傷や、引っかき傷などはサビ の原因となります。見つけたら早めに 補修してください。

注 記

塗装面の傷を補修するときは、マツダ 販売店にご相談ください。不適切な塗 料を使用すると、塗装がはがれる原因 となります。

洗車のときのご注意

▲注意

- ●バッテリーの上に水などが残っていたら、ふき取ってください。バッテリー内部に入ると、液面が上昇して液漏れの原因となります。
 - → 7-11ページ (バッテリーあがりのときは)
- ●車体の下まわりや足まわりを洗うと きは、けがをしないように気をつけ てください。
- ●洗車したあとはブレーキの効きが悪くなることがあります。
 - → 2-15ページ (水たまりを走行したあとや洗車 後はブレーキの効きを確認)

注記

エンジンルームやバッテリーに水などをかけないでください。エンジンの始動不良や電気部品が故障する原因となります。

手洗い洗車をするときは

- 1 十分に水をかけながら、スポンジやセーム皮のような柔らかいものを使って汚れを洗い落とします。
- **2** 汚れがひどいところは中性洗剤を使って洗い、さらに真水で洗って中性洗剤を落とします。
- 3 柔らかい布で水をよくふき取り、水 滴のあとが残らないようにします。



自動洗車機を使うときは

注 記

- ●ドアミラーを格納し、アンテナを収納してください。洗車機にひっかかり、ドアミラーやアンテナを損傷するおそれがあります。
- ●ルーフエンドスポイラー装備車は、 自動洗車機での洗車を避けてください。洗車機にひっかかり、スポイラーを損傷するおそれがあります。
- ●自動洗車機によっては、ブラシで傷がついて塗装面の光沢が失われたり、塗装の劣化が早まったりすることがあります。

高圧洗浄機を使うときは

洗車ノズルを車体から十分に離してくだ さい。

注記

- ●洗車ノズルを車体に近づけすぎたり、バンパーなどの開口部に向けたりすると、車体や部品の変形や損傷の原因となります。
- ●洗車ノズルをドアガラスやドアまわりなどの開閉部分に向けると、車内 に水が入るおそれがあります。

フロントウインドーガラスの 手入れ

油膜などが付着してワイパーのふき残しが出たときは、ガラスクリーナー(別売り)で汚れを取ってください。

アルミホイール (タイプ別装備) の手入れ

「**手洗い洗車をするときは**」をお読みください。

注記

- ●酸性、アルカリ性の洗剤を使用しないでください。塗装のしみ、変色、 ひび割れの原因となります。
- ●硬いブラシや砂入り石けんを使用しないでください。傷つきの原因となります。

内装のお手入れ

- ●砂・ほこりなどは掃除機などで吸い取るか、水またはぬるま湯を固くしぼった柔らかい布でふき取ってください。 そのまま放置すると、傷つきの原因となります。
- ・液体芳香剤やジュースなど液体類が付着したときは、すみやかにティッシュペーパーや柔らかい布でふき取ってください。こぼしたままにしておくと、しみ、変色、ひび割れの原因となります。

▲警告

車内に水などをかけないでください。 オーディオ(タイプ別装備)やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などにかかると、火災や故障につながったり、SRS エアバッグシステムが正常に作動しなくなったりするおそれがあります。また、万一アクセルケーブルの内部に水などが入ると、作動不良の原因となって思わぬ事故につながるおそれがあります。

注 記

- ●次のような成分が含まれているケミカル用品は使用しないでください。 しみ、変色、変形、強度低下などの原因となります。
 - ベンジン、ガソリン、シンナー、 ステッカーはがし剤などの溶剤
 - •酸性、アルカリ性の洗剤
 - 漂白剤や染料
- ●色物の革製品・毛皮・ビニールなどを長時間、放置しないでください。内装の変色や変質の原因となります。

− √lm アドバイス −

液体芳香剤はこぼさないように容器を 固定するか、固形タイプのものをご使 用ください。

布地、ビニールレザー、樹脂 部品などの手入れ

- 1 中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませ、汚れをふき取ります。
- **2** 真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をふき取ります。
- **3** 残った水分をふき取り、風通しの良い日陰で乾燥させます。

バックウインドーガラスの室 内側の手入れ

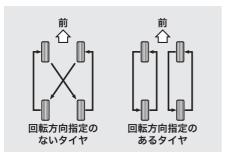
熱線や端子を傷つけないように、水を含ませた柔らかい布で熱線に沿ってふいてください。

タイヤの交換

タイヤのローテーション

タイヤのかたよった摩耗を防止して寿命をのばすために、約**5,000 km**走行ごとに行なってください。(下図参照)

- 車載ジャッキで行なうときは、応急用 スペアタイヤを使用して 1 輪ずつ交換 します。
 - **→ 7-7ページ (ジャッキアップ)**



68H60031

▲ 注意

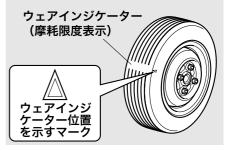
- ●応急用スペアタイヤは、通常の走行 には使用しないでください。
- ●回転方向指定のあるタイヤをロー テーションするときは、回転方向を 逆にしないでください。走行に悪影響をおよぼすおそれがあります。

– √lm アドバイス –

回転方向指定のあるタイヤは、タイヤ の側面に回転方向を示すマークがあり ます。

タイヤ交換するときは

- ●指定タイヤのサイズと空気圧は、お車のタイプにより異なります。運転席ドアの開口部に貼付してある「空気圧ラベル」で確認してください。
- 走行中にハンドルや車体に振動が出る 場合は、タイヤのバランスを点検して ください。
- 取り付ける前にタイヤの摩耗状態を点 検してください。ウェアインジケー ター(溝の深さが1.6mm浅い部分)が 現れて溝の一部が消えていたら、他の タイヤと交換してください。



68H60050

▲警告

指定のサイズで、4輪ともサイズ、銘柄、トレッドパターン(溝模様)が同一のタイヤを装着してください。また、摩耗状態が著しく異なるタイヤを使用しないでください。燃費や走行安定性が悪化するだけでなく、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、故障の原因となります。(冬用タイヤも同様です)

- ●ABS (タイプ別装備) の場合、正確なタイヤ回転速度が検出できなくなって、正常に作動しない場合があります。
- ●4WD車では、その性能が十分に発揮 できないばかりでなく、駆動系部品 に悪影響をあたえるおそれがありま す。

リモコンキーの電池交換

リモコンキーはタイプ別装備

⚠警告

電池および取り外した部品は、お子さまが誤って飲み込まないよう注意してください。

注記

故障を防ぐため、次のことをお守りく ださい。

- ●濡れた手で電池交換をしない
- ●電池以外の端子や電子部品に触れない い
- ●端子を曲げない
- ●油や異物を付着させない

– √lm アドバイス —

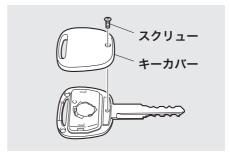
- ●電池交換の際、リモコンキーを破損 するおそれがありますので、マツダ 販売店での交換(有料)をおすすめ します。
- ●電池は、マツダ販売店や家電量販店・ホームセンターなどでご購入ください。

パワースライドドア非装備車

使用電池

リチウム電池CR1220

- 1 キーカバーを外します。
 - ■スクリューは、サイズの合ったプラスドライバー(市販品)で外します。



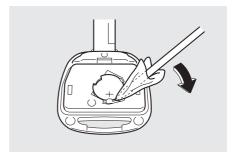
68H60180

注記

スクリューのサイズ・形状に合わない ドライバーを使用すると、スクリュー の頭がつぶれるおそれがあります。

2 ^{電池を交換します。}

◆ 古い電池を取り出します。傷つき 防止のため、布などをかぶせたマ イナスドライバー(市販品)を使 用します。



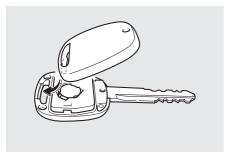
68H60190

●電池は、+極を上にして取り付けます。



68H60200

- 3 キーカバーを組み付けます。
 - ■図のように、カバーの先端を合わせてから組み付けます。



68H60210

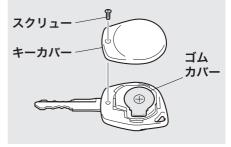
- スクリューを確実に締め付けます。
- 4 リモコンキーが正常に作動するか確認します。

パワースライドドア装備車

使用電池

リチウム電池CR1220

- 1 キーカバーを外し、ゴムカバーを外します。
 - ■スクリューは、サイズの合ったプラスドライバー(市販品)で外します。



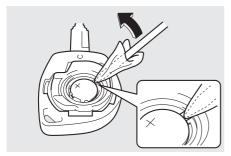
68H60220

注記

スクリューのサイズ・形状に合わないドライバーを使用すると、スクリューの頭がつぶれるおそれがあります。

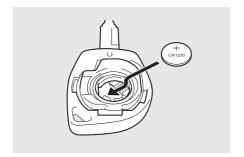
6. お車との上手なつきあいかた/お手入れ

- **2** 電池を交換します。
 - 古い電池を取り出します。傷つき 防止のため、布などをかぶせた千 枚通し(市販品)のような先のと がったものを使用します。



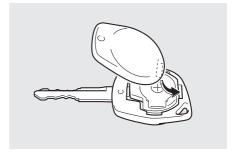
68H60230

■電池は、+極を上にして取り付けます。



68H60240

- 3 ゴムカバーを組み付け、キーカバーを組み付けます。
 - ◆キーカバーは、カバーの先端を合わせてから組み付けます。



68H60250

- スクリューを確実に締め付けます。
- 4 リモコンキーが正常に作動するか確認します。

冬期に入る前の準備

ウインドーウォッシャー液

凍結を防ぐため、外気温に応じた割合で 配合してください。

〈マツダ純正ウォッシャー液の場合〉

使用地域·季節	薄める割合	凍結温度
通常	原液1に水3	約-7℃
温暖地の冬期	原液1に水2	約-10°C
寒冷地の冬期	原液1に水1	約-20℃
極寒冷地の冬期	原液のまま	約-50℃

バッテリー

バッテリーの液量や比重を点検してください。寒くなるとバッテリーの性能が下がり、弱っているバッテリーではエンジンがかかりにくくなります。

→ 2-3ページ

(バッテリーの液面を点検する)

冷却水

エンジン内部の腐食および凍結防止のため、指定の冷却水をお使いください。

- → 8-1ページ (サービスデータ)
- **→ メンテナンスノート (日常点検)**

− √lm アドバイス ―

冷却水の濃度点検および交換は、マツ ダ販売店へお申し付けください。

スノーブレード (別売り)

スノーブレード(降雪地用ワイパーブレード)は、金属部分をゴムでおおって雪の付着を少なくするものです。標準装備のワイパーブレードでは、降雪時に雪が付着し、ふき取りにくくなることがありますので、必要に応じて交換してください。

▲ 注意

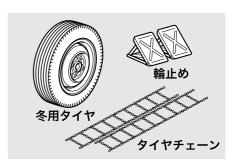
高速走行時は、通常のワイパーブレードより拭き取りにくくなることがあります。その場合には、車のスピードを落としてください。

- イトm アドバイス -

雪の降らない時季は、通常のワイパーブレードのご使用をおすすめします。

冬用タイヤ、タイヤチェーン、 輪止め

雪道や凍結路を走行するために必要です。



68H60070

出発の前に

屋根に積もった雪

出発の前に取り除いてください。走行時 に落下して、視界をさまたげるおそれが あります。



68H60080

ワイパーの凍結

ぬるま湯をかけて氷を溶かします。溶かしたあとは、再び凍結しないように水分をふき取ってください。凍結したまま無理にワイパーを作動させると、ブレード部 (ゴムの部分) が傷ついたり、ワイパーが故障したりするおそれがあります。



ガラス面の雪や霜

プラスチックの板を使うと、ガラスを傷つけずに落とせます。



ドアの凍結

ぬるま湯をドアキーの穴を避けてかけます。ドアが開いたあとは水分をふき取ってください。凍結したまま無理に開けようとすると、ドアまわりのゴムがはがれたり、破損したりするおそれがあります。



注 記

パワースライドドア(タイプ別装備) の場合、開閉可能かを手動で確認して から、自動開閉操作を行なってくださ い。凍結したまま操作を繰り返すと、 故障の原因となります。

靴に付着した雪

乗車するときによく落としてください。 そのまま乗車すると、ペダル操作時に 滑ったり、車内の湿気が多くなってガラ スがくもりやすくなったりします。



オートステップ装備車の後席への乗り降り

▲注意

降雪時は、オートステップ上の雪を取り払ってから乗り降りしてください。 滑ってけがをするおそれがあります。



雪道を走行するとき

雪道や凍結路はゆっくり走行

▲ 注意

スピードを控えめにし、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキなど「急」のつく運転はしないでください。雪道や凍結路は路面が滑りやすく、スリップ事故を起こすおそれがあります。



ブレーキの効き具合を確認

ブレーキ装置に付着した雪や氷が凍結して、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

- ●周囲の安全を確かめてから低速でブレーキペダルを数回踏み、ブレーキの効きを確かめてください。
- ブレーキの効きが悪いときは、効きが 回復するまで低速で繰り返しブレーキ ペダルを軽く踏み、ブレーキ装置のし めりを乾かしてください。

冬用タイヤ、タイヤチェーン を装着

雪道や凍結路では、冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着してください。

- 走行する地区の条例などに従って装着 してください。
 - → 6-5ページ

(タイヤ交換するときは)

→ 6-14ページ (タイヤチェーンを装着するとき)

フェンダー裏側に付着した雪 を取り除く

雪道を走行すると、フェンダーの裏側に 雪が付着してタイヤと接触し、ハンドル の切れが悪くなることがあります。

● ときどき車を止めてフェンダーの裏側 を点検してください。雪の塊が付着し ているときは、周囲の部品を傷つけな いように雪を取り除いてください。



68H60140

駐車するとき

オートステップ装備車の手入れ

雪道を走行したあとは、走行中にはねあげられた雪などがオートステップの周囲に付着して凍結し、オートステップがスムーズに作動しなくなったり、全く作動しなくなったりする場合があります。そのようなときは、オートステップスイッチを OFF にして、使用を控えてください。

→ 3-16ページ (オートステップ)

■ オートステップの手入れのし かた

- 1 パーキングブレーキをしっかりとかけます。セレクトレバーを P に入れ、エンジンを止めます。
- **2** オートステップスイッチを OFF にして、助手席側のスライドドアを 完全に閉めます。
- **3** 周囲の部品に傷をつけないように雪や氷を取り除きます。

▲注意

雪や氷を取り除くとき、手などをけが しないように気をつけてください。

パーキングブレーキ

パーキングブレーキが凍結すると解除できなくなります。

- ●長時間駐車するときは、パーキングブレーキをかけずに輪止め(市販品)をしてください。
 - | オートマチック車 は、セレクトレバーを | に入れます。
 - $\overline{\nabla}$ マニュアル車 は、チェンジレバー をRまたは1速に入れます。

凍結防止剤が散布してある道 を走行したあとは

すみやかに凍結防止剤を洗い落としてください。とくに車体の下まわり、足まわりを念入りに洗ってください。放置するとサビの原因となります。

凍結を防ぐため、洗車後はドアまわりな どの水分をふき取ってください。

- ●ドアキーの穴を避けて洗車してください。キー穴が凍結すると、ドアが解錠できなくなります。
- ●ドアまわりのゴム部品の水分は、とく によくふき取ってください。凍結する と、ドアが開かなくなります。



68H60150

屋外に駐車するときは

注記

- ●軒下や樹木の下には駐車しないでく ださい。積雪や落雪で車の屋根がへ こむことがあります。
- ●駐車するときはワイパーアームを立 ててください。雪の重みでワイパー アームが変形したり、ブレード部 (ゴムの部分)がガラスに凍結した りすることがあります。



排気管のまわりが雪でおおわれたときは

▲ 警告

排気管のまわりが雪でおおわれたまま エンジンを回転させないでください。 排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素 中毒のおそれがあります。



68H60170

(タイヤチェーンを装着するとき)

タイヤチェーン

この車に適合したマツダ純正品を装着してください。適合するタイヤチェーンについては、マツダ販売店にご相談ください。

▲警告

- ●適合品以外を装着しないでください。ブレーキ配管や車体を損傷する おそれがあります。
- ●走行中にいつもと違う音がするときは、ただちに停車して点検してください。タイヤチェーンが切れたり、一部が外れたりして車体にあたると、ブレーキ配管や車体を損傷するおそれがあります。

▲注意

- タイヤチェーンを装着して走行するときは、安全およびタイヤチェーン保護のためスピードを控えめ(30 km/h以下)にし、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキなど「急」のつく運転をしたり、突起や穴を乗り越えたりしないでください。
- ●ABS(タイプ別装備)の場合、タイヤチェーンを装着すると正確なタイヤ回転速度が検出できなくなって、正常に作動しない場合があります。

注記

タイヤチェーンを装着したまま、雪のない舗装路を走行しないでください。路面が損傷したり、タイヤチェーンの摩耗が早まったりします。また、4WD車の場合、駆動装置に無理な力がかかり、故障の原因となります。

タイヤチェーンを装着する前に

■ タイヤチェーンは後輪に装着

この車は後輪が駆動輪、または後輪が駆動輪ベースの 4WD です。前輪には装着しないでください。

■ 応急用スペアタイヤには装着 できません

後輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを前輪につけ、外した前輪の標準タイヤを後輪につけてから、タイヤチェーンを後輪に装着します。

■ ジャッキアップに適した安全 な場所で装着

7-5 ページの「**タイヤ交換の準備**」の □、□をお読みください。

■ フルホイールキャップ (タイプ別装備) を外してから装着

フルホイールキャップの傷つきを防ぐため、キャップを外してからタイヤチェーンを装着します。キャップの外しかたは**7-6ページ**をお読みください。

タイヤチェーンの装着

タイヤチェーンに付属の取扱説明書をよ くお読みください。

注 記

アルミホイール装備車の場合、タイヤチェーンでホイールに傷がつくおそれがあります。

7. 万一のとき

パンク ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7-2
バッテリーあがり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7-11
ヒューズ切れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7-13
電球切れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7-17
オーバーヒート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7-17
その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7-19

7. 万一のとき/パンク

工具、ジャッキの収納場所

後席シート下の助手席側に収納されてい ます。

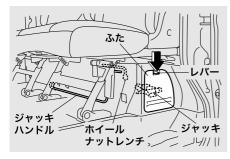
● 使用後は、所定の位置に収納し、しっかり固定してください。

▲ 注意

- ●エンジン回転中や停止直後は、工具 (ジャッキハンドル、ホイールナットレンチ) やジャッキが熱くなって いることがあります。やけどのおそれがありますので、使用する前に確 認してください。
- ●工具、ジャッキを出し入れするときは、取り出し口周囲のエッジ部分を さわらないでください。けがをする おそれがあります。

分割可倒式後席シート車

★イールナットレンチ、ジャッキを取り出すときは、レバーを押し下げてふたを外します。



68H70010

ホイールナットレンチ、ジャッキを収納したあとは、ふたの下側のつめを穴にはめてから、ふたを取り付けます。



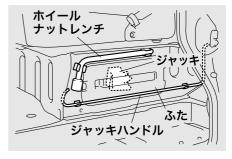
68H70020

一体式後席シート車

ジャッキを取り出すときは、ジャッキハンドルを外してからふたを外します。

→ 3-39ページ

(ふたの外しかた・取付けかた)



68H70030

ジャッキの取り出しかた

ふたを開けてから、ジャッキを縮めて 取り出します。 収納するときは、ジャッキホルダーに おさめてからジャッキを広げ、しっか り固定します。



68H70041



68H70051

注記

収納するときに、ホイールナットレン チなどで無理にジャッキを広げないで ください。ジャッキホルダーが変形す るおそれがあります。

応急用スペアタイヤの 取り出しかた

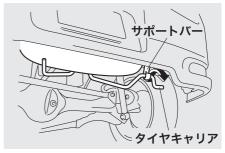
■ 取り出しかた

- 1 バックドアを開けます。→ 3-4ページ (バックドア)
- 2 ホイールナットレンチで、リヤバン パー上のボルトを反時計方向にまわ します。



68H70061

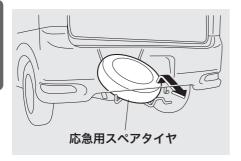
3 タイヤキャリアを少し持ち上げて、 サポートバーから外します。



68H70071

7. 万一のとき/パンク

応急用スペアタイヤをしっかり持っ て取り出します。



68H70081

■ もとにもどすには

7-3 ページの「**取り出しかた**」と逆の手 順で行ないますが、次の点にご注意くだ さい。

・応急用スペアタイヤまたは 145R12 スチールホイール装着タイヤを取り付 けるときは、ホイール裏面を上向きに して、タイヤキャリア中央のスペー サーとホイール中央の穴を合わせて取 り付けます。



68H70091

● アルミホイールまたは 155/70R13 ス チールホイール装着タイヤを取り付け るときは、ホイール表面を上向きにし て取り付けます。

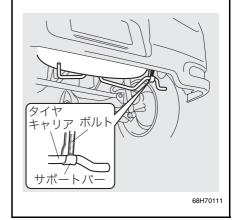


68H70101

注記

タイヤをもとにもどし、リヤバンパー 上のボルトを時計方向にまわすとき は、手応えを感じた時点で締めるのを やめてください。ボルトを締め過ぎる と、サポートバーが変形するおそれが あります。

手応えを感じたら、ボルトの先端がタ イヤキャリアにあたっているか確認し てください。



「応急用スペアタイヤの取扱い)

応急用スペアタイヤは、標準タイヤがパンクしたときに一時的に使用するものです。パンクしたタイヤはただちに修理または交換し、できるだけ早く標準タイヤにもどしてください。応急用スペアタイヤは、標準タイヤに比べて空気圧が高く、幅が細く、直径がやや小さいため、次の事項を守ってください。

■ 定期的に点検する

▲ 警告

空気圧や摩耗状態を定期的に点検してください。空気圧不足やタイヤの摩耗は、思わぬ事故につながるおそれがあります。応急用スペアタイヤの空気圧は420 kPa (4.2 kgf/cm²)です。

■ 他の車のスペアタイヤを使わない

▲警告

応急用スペアタイヤは、この車専用です。他の車に使用したり、他の車の応 急用スペアタイヤをこの車に使用した りしないでください。思わぬ事故につ ながるおそれがあります。

■ 装着したときの走行は

▲注意

●ABS(タイプ別装備)の場合、正確なタイヤ回転速度が検出できなくなって、正常に作動しない場合があります。

●応急用スペアタイヤは、高速走行には 適していません。やむをえず高速道路 を走行する場合は、最低速度(法令で は高速道路の最低速度は50km/hで す)に近い速度で走行してください。

注記

- ●4WD車では、その性能が十分に発揮 できないばかりでなく、駆動系部品に 悪影響をあたえるおそれがあります。
- ●応急用スペアタイヤは、標準タイヤに比べ直径がやや小さいため、車高が少し低くなります。突起物などを乗り越えるときは、車体を接触させないように気をつけてください。

■ 後輪には使用しない

この車は後輪が駆動輪、または後輪が駆動輪ベースの 4WD です。後輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを前輪に装着し、外した前輪の標準タイヤを後輪につけてください。

■ タイヤチェーンは装着できま せん

タイヤチェーンを装着した後輪がパンク したときは、応急用スペアタイヤを前輪 に使用し、外した前輪の標準タイヤを後 輪につけてからタイヤチェーンを再装着 してください。

タイヤ交換の準備

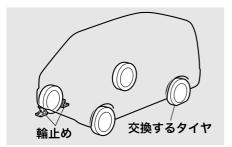
1 他車に注意をうながすため、非常点滅表示灯を点滅させます。他車の通行のじゃまにならず、安全に作業ができ、地面が硬くて平らな場所に車を移動します。

7. 万一のとき/パンク

- **2** パーキングブレーキをしっかりとかけます。
 - オートマチック車 はセレクトレバーを P に入れ、エンジンを止めます。
 - $\overline{\nabla = 1}$ マニュアル車 はエンジンを止め、チェンジレバーをRまたは 1 速に入れます。

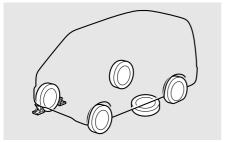
必要に応じて、停止表示板(別売り)を置きます。

3 交換するタイヤと対角線の位置にあるタイヤの前後に、輪止め(市販品)を置きます。



68H70120

- 4 工具、ジャッキ、応急用スペアタイヤを取り出します。同乗者がいるときや重い荷物をのせているときは、車からおろします。
 - 万一ジャッキが外れたときに足な どをはさまないために、取り出し た応急用スペアタイヤは、交換す るタイヤの近くの車体の下に置い てください。

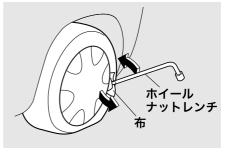


68H70130

− √m アドバイス −

応急用スペアタイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にすると傷つきにくくなります。

- **5** フルホイールキャップ(タイプ別装 備)を外します。
 - 傷つき防止のため、ホイールナットレンチの先端に布をあてがって ホイールとキャップの間に差し込み、こじて外します。



68H70140

6 ホイールナットレンチでホイール ナット4個を反時計方向にまわし、 手でナットが軽くまわるくらいまで ゆるめます。



68H70150

ジャッキアップ

ジャッキアップする前に、パーキングブ レーキをしっかりとかけてください。

- ★ートマチック車 はセレクトレバーを P に入れ、エンジンを止めてください。
- $\boxed{ マニュアル車 }$ はエンジンを止め、チェンジレバーをRまたは] 速に入れてください。

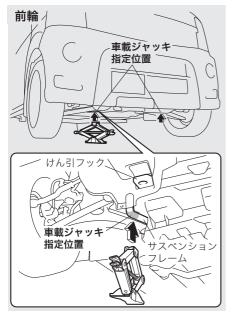
▲ 警告

万一ジャッキが外れると、身体がはさまれ重大な傷害を受けたり、車が動き出して思わぬ事故につながったりするおそれがあります。ジャッキアップするときは次のことをお守りください。

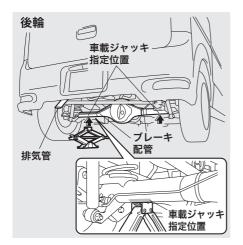
- ●地面が硬くて平らな場所でジャッキ アップしてください。
- ●ジャッキは、タイヤ交換だけに使用してください。
- ●ジャッキはこの車に付属のものを使用し、他の車のものは使用しないでください。また、この車のジャッキを他の車に使用しないでください。
- ●ジャッキは必ず指定された位置にかけてください。指定以外の位置にジャッキをかけると、ジャッキが外れたり、車を損傷したりするおそれがあります。
- ●ジャッキで必要以上に車を持ち上げ ないでください。
- ●ジャッキで車を持ち上げているとき は、車の下にもぐったり、エンジン をかけたり、車をゆすったりしない でください。
- ●ジャッキアップするときに、ジャッキの上や下に物をはさまないでください。
- ●複数のジャッキを使用して、複数輪 を同時にジャッキアップしないでく ださい。

7. 万一のとき/パンク

- 1 ジャッキハンドル取り付け部を手でまわしてジャッキを広げ、ジャッキ頭部を車載ジャッキ指定位置に軽く接触させます。
 - 前輪のときは、サスペンションフレームの"く"の字部分です。



68H70162



68H70171

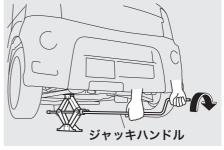
⚠ 警告

ジャッキアップするときは、車載ジャッキ指定位置の中心とジャッキ頭部の中心が確実にあっているか確認してください。中心がずれていると、ジャッキが外れてけがのおそれがあります。また、ブレーキ配管などの部品が損傷する原因となります。

▲ 注意

左側後輪をジャッキアップするとき は、顔や手などを排気管にあてないで ください。走行直後の排気管は高温に なるため、やけどのおそれがありま す。

2 ジャッキハンドルをまわして、タイヤが地面から少し離れるまで、車体を慎重に持ち上げます。



68H70181

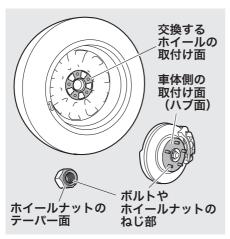
タイヤの取付け・取外し

1 ホイールナットを外して、タイヤを 取り外します。外したタイヤは、車 体の下に置きます。

- √m アドバイス ――

タイヤを地面に置くときは、ホイール 表面を上にすると傷つきにくくなりま す。

- **2** 次の場所の汚れや異物を取り除きます。
 - 交換するホイールの取付け面
 - 車体側の取付け面(ハブ面)
 - ボルトやホイールナットのねじ部
 - ホイールナットのテーパー面
 - ホイール穴のテーパー面



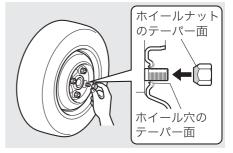
67H70250

- ◆上図は代表例です。お車のタイプ により異なります。
- このとき、ボルトやナットのねじ部、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。

▲警告

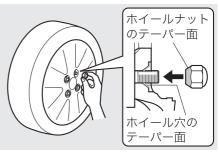
- ●前記の場所に汚れや異物、つぶれや 亀裂などの異常があると、走行中に ホイールナットがゆるむことがあり ます。
- ●ナットやボルトに、オイルやグリス を付着させないでください。必要以 上にナットを締め過ぎて、ボルトが 折れるおそれがあります。
- 3 ホイールナットのテーパー面が、ホイール穴のテーパー面に軽く接触するまで、手で時計方向にまわして締めます。

スチールホイール装備車



67H70260

アルミホイール装備車



68H70540

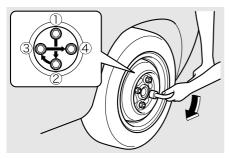
4 車体の下に置いたタイヤを取り出し、タイヤが地面に接触するまでジャッキを下げます。

7. 万一のとき/パンク

5 ホイールナットレンチを使用して、 ホイールナットを次の図の順序で2 ~3回に分けて締め付けます。

締め付けトルク: 85 N・m (870 kgf・cm)

- ★イールナットレンチの柄の先端 にかかる力は350 N (36 kgf) を 目安にしてください。
- すべてのホイールナットが確実に 締まっていることを確認してくだ さい。



68H70220

▲警告

- ●ホイールナットが確実に締まっていないと、ボルトやブレーキ部品を損傷したり、ホイールが外れたりするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。トルクレンチ(市販品)を使用せずにタイヤ交換した場合は、できるだけ早くマツダ販売店で締め付けトルクの点検を受けてください。
- ●ホイールナットレンチを足で踏んだり、パイプや棒などを追加して締め付けたりすると、ナットを締め過ぎてボルトが損傷し、事故につながるおそれがあります。

- √m アドバイス -

既定の締め付けトルクで締める場合は、トルクレンチ(市販品)のご使用をおすすめします。

- **6** フルホイールキャップ(タイプ別装 備)を付けます。
 - タイヤの空気注入口とキャップの 切り欠き部分を合わせてから、確 実に押し込みます。



68H70231

タイヤを交換したあとは

- 工具とジャッキを所定の位置に収納してください。
- ●パンクしたタイヤは、応急用スペアタイヤの収納場所に収納してください。
- タイヤを交換してしばらく走行したあと、ホイールナットにゆるみがないか確認してください。
- ▼アルミホイール装備車は、タイヤを交換してから 1,000 km 程度走行したあとに、ホイールナットにゆるみがないか点検してください。

▲ 警告

タイヤを交換したあと、車体の振動な どの異常を感じたときは、ただちに安 全な場所に停車し、マツダ販売店にご 連絡ください。

バッテリーあがりとは

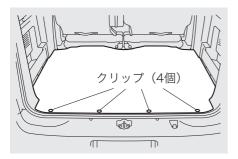
次のようなときは、バッテリーがあがっています。

- ■エンジンをかけようとしてもスターターがまわらない。または、まわっても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ヘッドライトが極端に暗かったり、 ホーンの音が小さかったりする。

「バッテリーあがりのときは

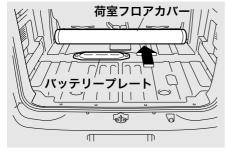
ブースターケーブルと、12 Vバッテリーを使用している他のバッテリー正常車があれば、エンジンの始動ができます。

1 荷室フロアカバーを固定しているクリップ4個を外します。



68H70241

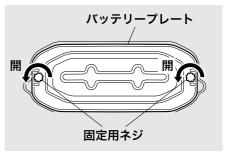
2 荷室フロアカバーを前方へ巻きます。



68H70250

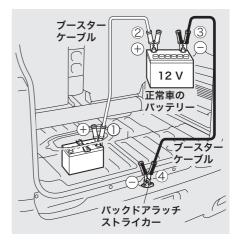
7. 万一のとき/バッテリーあがり

- 3 バッテリープレートを外します。
 - 固定用ネジは、反時計方向にまわ して外します。



68H70260

- 1 本目のブースターケーブルを①→②の順序で接続し、2 本目のブースターケーブルを③→④の順序で接続します。
 - ①バッテリーあがり車の ④端子
 - ②バッテリー正常車の ①端子
 - ③バッテリー正常車の ⊖端子
 - ④バッテリーあがり車のバックドア ラッチストライカー



68H70272

●①~④の数字は、ブースターケー ブルを接続する順序を表していま す。

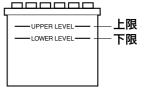
7. 万一のとき/バッテリーあがり

- 5 バッテリー正常車のエンジンを始動し、エンジンの回転を少し高めに保ちます。
- 6 バッテリーあがり車のエンジンを始動します。
- 7 取り付けたときと逆の順序で、ブースターケーブルを外します。
- 8 お近くのマツダ販売店でバッテリー を完全充電します。

▲ 警告

- ●バッテリーからは水素ガスが発生しています。水素ガスは、火気や火花に引火すると爆発のおそれがありますので、次のことをお守りください。
 - バッテリーを充電するときやブースターケーブルをつなぐときは、必ずバッテリー液面を確認してください。バッテリー液面が下限以下のままで充電などすると、バッテリーの発熱や爆発のおそれがあります。また、バッテリーの寿命を縮めるおそれがあります。

バッテリー補充液を上限まで補給 してから、充電などを行なってく ださい。



68H2005

- 充電は火気のない風通しのよいところで、すべてのバッテリーキャップを外して行なってください。
- ④の接続のときに、バッテリーあがり車の⊝端子につながないでください。発生した火花が水素ガスに引火し、爆発のおそれがあります。バッテリーから離れたバック

- ドアラッチストライカーに接続し てください。
- 乾いた布でバッテリーをふかない でください。静電気が発生して引 火のおそれがあります。
- ●バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚につくと、失明などの重大な傷害を受けるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量のきれいな水で洗浄し、医師の診察を受けてください。

▲注意

- ●ブースターケーブルは確実に接続してください。エンジン始動時の振動などでブースターケーブルが外れると、バッテリー正常車のファンベルトや冷却ファンに巻き込まれるおそれがあります。
- ●ショート防止のため、ブースターケーブルの⊕端子は、バッテリーの⊕端子以外の部分(⊝端子、ボデー、ブラケットなど)と接触させないでください。
- オートマチック車 は押しがけができません。マニュアル車 も安全のため、押しがけをしないでください。

バッテリーあがりを 防ぐためには

- エンジンを停止したままライトをつけたり、長時間ラジオ(タイプ別装備)などを聞いたりしないようにしましょう。
- 渋滞などで長時間アイドリングを続けている場合は、電装品の使用を極力避けてください。
 - → 2-3ページ (バッテリーの液面を点検する)

ヒューズが切れたときは

電気装置が作動しないときや、電球が切れていないのにランプが点灯しないとき は、ヒューズ切れが考えられます。

- ヒューズは、次の場所にあります。
 - エンジンルーム内(運転席シートの下)
 - 運転席足元 (インパネ内)
 - バッテリールーム内
- 装備仕様の違いにより、所定の位置に ヒューズがない場合があります。ま た、装備がなくてもヒューズだけがあ る場合があります。

エンジンルーム内のヒューズ

運転席シートを引き上げた場所にあります。

→ 3-28ページ (エンジンルーム)

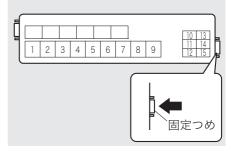


68H70280

ヒューズの表は、ボックスのふたの裏側にあります。

★ボックスのふたは、助手席側の固定つめを押しながら外します。

7. 万一のとき/ヒューズ切れ



68H70292

● 次の表は、各ヒューズが受け持つ主な 装備を表しています。

位置	表示	容量	接続先名称
1	LAMP	40A	照明装置
2	ABS	50A	ABS
3	RDTR	30A	ラジエーター ファン
4	注)RR DOOR	30A	パワー スライドドア
5	LAMP 2	40A	照明装置
6	IGN	40A	エンジン スイッチ
7	P/S	30A	パワー ステアリング
8	4WD	20A	4WD
9	IGN 2	40A	エンジン スイッチ
10	H/L L	15A	ヘッドライト (左)
11	CPRSR	10A	エアコン コンプレッサー
12	H/L R	15A	ヘッドライト (右)

7. 万一のとき/ヒューズ切れ

位置	表示	容量	接続先名称
13	FI	15A	燃料噴射装置
14	ST	30A	スターター
15	FR BLW	25A	フロント ブロアー

- 注)RR DOOR ヒューズの接続先の1つに、オートステップ装備があります。
 - → 7-16ページ (オートステップ用 ヒューズが切れたとき)

運転席足元のヒューズ

リッド付インパネポケットを外した場所 にあります。

- ポケットを外すときは、ふたを開けて から両側にあるストッパーを片側ずつ 内側に押し込んで外してから引き出し ます。
- ポケットを取り付けるときは、下部の ツメをはめてからストッパーを片側ず つ内側に押し込んでもとにもどしま す。

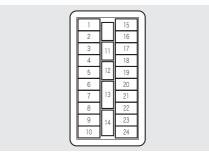


68H70531



68H70300

ヒューズの表は、外したポケットの裏側にあります。



68H70311

● 次の表は、各ヒューズが受け持つ主な 装備を表しています。

位置	表示	容量	接続先名称
1	STOP	15A	制動灯
2	D/L	20A	ドアロック
3	注)RADIO DOME	15A	ラジオ 室内灯
4	FR FOG	15A	フロント フォグランプ
5	HID L	15A	ディスチャージ ヘッドランプ(左)
6	HID R	15A	ディスチャージ ヘッドランプ(右)
7	BACK	10A	後退灯

7. 万一のとき/ヒューズ切れ

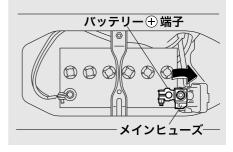
位置	表示	容量	接続先名称
8	METER	10A	メーター
9	IG COIL	15A	イグニッション コイル
10	ST SIG	7.5A	スターター
11	WIP	15A	ワイパー
12	IG2 SIG	7.5A	シート ヒーター
13	P/W	30A	パワー ウインドー
14	DEICER	20A	デアイサー
15	P/WT	20A	パワーウインドー タイマー機能
16	RR BLW	7.5A	リヤ ブロアー
17	ACC 2	15A	アクセサリー
18	RR DEF	20A	リヤ デフォッガー
19	HAZ HORN	15A	非常点滅表示灯 ホーン
20	TAIL	10A	尾灯
21	A/B	10A	エアバッグ
22	AT	10A	АТ
23	ABS	10A	ABS
24	ACC	15A	アクセサリー ソケット

- 注)RADIO DOME ヒューズの接続先の 1 つに、オートステップ装備があります。
 - → 7-16ページ (オートステップ用 ヒューズが切れたとき)

バッテリールーム内のヒューズ

バッテリーの ⊕端子に、メインヒューズ (80 Aのヒューズ1個) があります。

バッテリープレートの外しかたは、7-11ページをお読みください。



68H70320

ヒューズの点検と交換

ヒューズの点検・交換には、ヒューズ抜き(低背ヒューズ用、市販品) および交換用ヒューズ(別売り) が必要となります。点検・交換の際は、マツダ販売店にご相談ください。

点検のしかた

- **1** エンジンスイッチを <u>LOCK</u> にします。
- 2 故障の状況から、点検すべきヒューズをヒューズの表で確認します。 ヒューズ抜き(市販品)をヒューズ に差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか点検します。

7. 万一のとき/ヒューズ切れ

- **3** 切れているときは、同じ容量の ヒューズと交換します。
 - ◆交換したヒューズがすぐに切れる ときは、電気系統の故障が考えら れます。マツダ販売店で点検を受 けてください。





正常なヒューズ の例

切れたヒューズ の例

68H70351

⚠警告

ヒューズは、同じサイズで同じ容量の ものと交換してください。サイズの違 うヒューズ、容量の大きいヒューズ、 針金、銀紙などを使用すると、配線が 焼損したり火災が発生したりする原因 となります。

オートステップ用ヒューズが 切れたとき

オートステップはタイプ別装備

オートステップが作動しないときや、メーター内のオートステップ警告灯が点灯したままのときは、オートステップ用ヒューズが切れていることが考えられます。

- → 3-56ページ
 - (オートステップ警告灯)
- → 7-13ページ
 - (エンジンルーム内のヒューズ)
- → 7-14ページ

(運転席足元のヒューズ)

▲警告

オートステップが張り出した状態で オートステップ用ヒューズが切れたと きは、走行を開始してもオートステッ プは自動的に格納されません。張り出 したオートステップが人や物にあたる おそれがありますので、ステッププ レートを取り外してください。

→ 7-24ページ (オートステップが格納されない ときは)

- イトーハアドバイス ―

バッテリーやオートステップ用ヒューズの交換などをすると、1回目の助手席側スライドドアの開閉時にオートステップは作動しません。

その場合、一度ドアを閉め、再度ドア を開けると、オートステップが作動す るようになります。

電球の点検

ライトやランプ、方向指示器/非常点滅 表示灯などを点灯または点滅させて、電 球切れがないか点検してください。

- √m アドバイス ―

- ●制動灯は他の人に見てもらうか、壁 などを利用して点検してください。
- ●メーター内の方向指示器表示灯の点滅が異常に速くなったときは、方向指示器/非常点滅表示灯の電球切れが考えられます。

ヘッドライトなどのレンズ内 面のくもり

レンズ内面に大粒の水滴がついていると きやランプ内に水がたまっているとき は、マツダ販売店で点検を受けてくださ い。

– √lm アドバイス ----

ヘッドライトやリヤコンビネーションランプなどは、ランプ内外の温度差により一時的にレンズ内面がくもることがありますが、機能上の問題はありません。(窓ガラスがくもるのと同じ現象です)

電球を交換するときは

電球が切れているときは、ワット数および型式が同一の電球と交換してください。 電球のワット数および型式は、サービス データ(8-3ページ)をご覧ください。

▲警告

ディスチャージへッドライトの電球交換は、絶対に行なわないでください。 高電圧を使用しているため、感電のお それがあります。交換の際は、マツダ 販売店にご相談ください。

▲注意

ハロゲン電球(ヘッドライトやフォグランプ)は高圧ガスを封入しているため、とくに慎重に扱ってください。割れるとガラスが飛散して、けがのおそれがあります。

注記

ハロゲン電球を扱うときは、油脂類が付着していない、きれいな手袋をはめてください。使用時電球が高温になるため、素手で扱ってガラス部分に油などが付着すると、発熱による早期電球切れのおそれがあります。

オーバーヒートとは

次のようなときは、オーバーヒートです。

- メーター内の水温警告灯が点灯
- エンジンルームまたはボンネットから 蒸気が立ちのぼっている

7. 万一のとき/オーバーヒート

水温警告灯



68H311

メータパネル内にあります。

- エンジン回転中に、エンジン冷却水温 が高くなると点滅します。また、エン ジン冷却水温が異常に高くなったとき は点灯します。
 - → 3-51ページ

(警告灯・表示灯の見かた)

オーバーヒートしたときは

- 1 車を安全な場所に止めます。
- 2 エンジンをかけたままでドア、エンジンルームおよびボンネットを開けて、エンジンルーム内の風通しをよくします。
 - エンジンルームまたはボンネットから蒸気が立ちのぼっているときは、エンジンルームおよびボンネットを開けずに次の手順を行なってください。
 - **→ 3-27ページ (ボンネット)**
 - → 3-28ページ

(エンジンルーム)

▲警告

エンジンルームまたはボンネットから 蒸気が立ちのぼっているときは、エンジンルームおよびボンネットを開けないでください。蒸気や熱湯が吹き出して、やけどのおそれがあります。

- 3 冷却ファンの作動を確認し、水温警告灯が消灯するのを待ってエンジンを止めます。
 - ◆冷却ファンが作動していないとき や、水温警告灯が消灯しないとき は、ただちにエンジンを止め、マ ツダ販売店にご連絡ください。
- 4 エンジンが十分に冷えてから、冷却 水の量やホースなどからの水漏れを 点検します。

▲ 警告

ラジエーターキャップは、エンジンが 十分に冷えてから外してください。エ ンジンが熱いときは冷却水に圧力がか かっているため、蒸気や熱湯が吹き出 してやけどのおそれがあります。



- **5** 冷却水の量が不足しているときは補給します。
 - ◆水漏れなどの異常があるときは、 マツダ販売店にご連絡ください。
 - 冷却水がなく、やむをえず水だけを補給したときは、できるだけ早くマツダ販売店で冷却水の点検または交換をしてください。

発炎筒

- 発炎筒は、助手席足元の左側面のホル ダーに取り付けています。
- 点火すると約5分間発炎します。踏切 や高速道路などの危険な場所で故障し たときに、非常用信号として使用しま す。
- 使用方法は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。
- 発炎筒に表示されている有効期限が切れる前に、新品と交換してください。発炎筒はマツダ販売店でご購入ください。



68H70390

A警告

- お子さまにはさわらせないでください。やけどや火災などの思いがけない事故を起こすおそれがあります。
- ●必ずホルダーに保管してください。
- ●点火するときは、筒先を顔や身体に 向けないでください。やけどのおそ れがあります。
- ●ガソリンなどの可燃物の近くでは使用しないでください。火災の原因となります。
- ●トンネル内など、換気が悪い場所で 発炎筒を使用すると、煙で視界が悪 くなります。トンネル内での合図は 非常点滅表示灯をご使用ください。

故障したときは

故障したときの連絡は

お買い求めのマツダ販売店やJAFなどの ロードサービス事業者にご連絡ください。

停止表示板を常備する

万一のために、停止表示板(別売り)を 車に備えてください。高速道路や自動車 専用道路では、車の後方に停止表示板を 置くことが法令で義務づけられています。

路上で故障したときは

車を路肩などに止め、非常点滅表示灯を 点滅させます。必要に応じて停止表示板 (別売り) や発炎筒で他車に注意をうな がします。



68H70401

全員車から降り、ガードレールの外など 安全な場所に、すみやかに避難してくだ さい。

踏切内で動けなくなったときは

脱輪など、踏切内で動けなくなったときは、ただちに踏切の非常ボタンを押してください。



68H70410

踏切の非常ボタンがわからないときは、 発炎筒で列車に合図してください。



68H70420

エンストした車を少し移動させるときは

踏切や交差点などでエンストして動けなくなったときは、付近の人に押してもらって、車を安全な場所まで移動させてください。

このとき、| オートマチック車 | はセレクトレバーを | N | に入れます。

マニュアル車 はチェンジレバーをN (ニュートラル) に入れます。



プライス

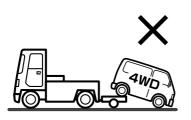
マニュアル車、オートマチック車と もエンジンスイッチを START の位置で保持して緊急避難的に車を動かす ことはできません。

けん引してもらうときは

- レッカー車でけん引するとき、フルタイム4WD車は必ず4輪を持ち上げてください。それ以外の車は4輪または駆動輪である後輪を持ち上げてください。
- 故障車を移動するには、車両運搬車を 利用する方法もあります。
- エンジンがかかっていても車が動かなかったり、いつもと違う音がするときは、駆動装置の故障が考えられます。けん引する前に、マツダ販売店にご連絡ください。

▲警告

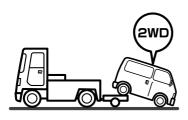
フルタイム 4WD 車は、前輪だけまた は後輪だけを台車にのせた(車輪が回 転できない)状態で絶対にけん引しな いでください。車が台車から飛び出す などの思いがけない事故につながるお それがあります。また、駆動装置が破 損する原因となります。



68H704

■ パートタイム4WD車

後輪だけを持ち上げてけん引するときは、安全や駆動装置の保護のため、必ずけん引の前に 2WD に切り替えてください。



68H70450

→ 3-80ページ (4WDスイッチ)

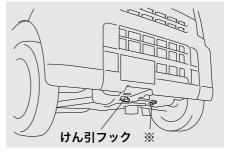
▲警告

パートタイム4WD車は、4WDのままで前輪だけまたは後輪だけを台車にのせた(車輪が回転できない)状態で絶対にけん引しないでください。車が台車から飛びだすなどの思いがけない事故につながるおそれがあります。また、駆動装置が破損する原因となります。

ロープけん引

ロープをかける位置は

ロープは、けん引フックにかけます。



68H70460

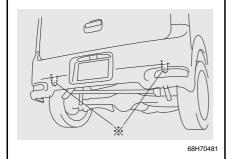
● けん引フックカバー(タイプ別装備) は、慎重に引き抜いてください。



68H70471

注 記

- ●この車で他車をけん引することはで きません。
- ●フロント側およびリヤ側に装備されている※印のフックは、車を輸送するときの固定用フックです。けん引には使用しないでください。フックや車体が破損するおそれがあります。



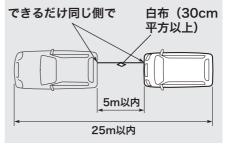
ロープでけん引してもらうと きは

- **1** けん引フックにロープをかけます。
 - ●ロープをかけるときは、できるだけ同じ側で水平にかけてください。

注 記

けん引中に、ロープがバンパーを傷つ けるおそれがあるときは、あらかじめ バンパーを外してください。

2 ロープの中間に白い布(30cm 平方 以上)をつけます。



68H70491

- 3 エンジンはかけたままにします。
 - エンジンがかからないときは、エ ンジンスイッチを LOCK 以外の 位置にします。
 - ●ハンドルを左右にまわして、ハンドルロックが解除されているか確認します。
 - パートタイム4WD車は、4WDスイッチを操作して、駆動状態を 2WDにします。
 - → 3-80ページ (2WD54WDの切替え操作)

▲ 警告

エンジンがかからない車の運転は

- ●キーを抜いたりエンジンスイッチを LOCK の位置にしたりしないでく ださい。ハンドルがロックされてま わせなくなります。
- ●ブレーキ倍力装置が働かないため、 いつもより強めにブレーキペダルを 踏んでください。
- ●パワーステアリング装置が働かない ため、通常より大きな力をかけて操 作してください。

▲注意

故障やバッテリーあがりなどでハンドルロックが解除できないときは、ロープでけん引しないでください。

4 オートマチック車 はセレクトレバーを N に入れます。

マニュアル車 はチェンジレバーを N (ニュートラル) に入れます。

_ √m アドバイス −

オートマチック車 の場合、故障やバッテリーあがりなどで、エンジンスイッチを ON にしてブレーキペダルを踏んだ状態でもセレクトレバーを P から他の位置へ動かせないときは、3-72ページの手順でシフトロックを解除してください。

- 5 けん引中はロープをたるませないようにします。追突防止のため、前の車の制動灯をよく見て運転してください。
 - ●後続車に注意をうながすため、けん引される車は非常点滅表示灯を 点滅させてください。

⚠警告

長い下り坂や急な下り坂があるときは、ロープけん引をせず、レッカー車を依頼してください。エンジンブレーキがまったく効かないため、下り坂でブレーキペダルを踏み続けるとブレーキ装置が過熱して、ブレーキが効かなくなるおそれがあります。

注記

- ●けん引する車は、急発進などけん引 フックやロープに大きな衝撃が加わ る運転をしないでください。けん引 フックや車体が破損するおそれがあ ります。
- オートマチック車 を、やむをえず ロープでけん引してもらうときは、 トランスミッション保護のため、速 度30 km/h以下、走行距離30 km 以内にしてください。

オートステップが 格納されないときは

▲警告

故障や凍結などで、助手席側のスライドドアを完全に閉めてもオートステップが格納されない場合、張り出したオートステップが人や物にあたるおそれがあります。次の手順でステッププレートを取り外し、マツダ販売店で点検を受けてください。

▲ 注意

車両の部品などで手や腕などをけがしないよう、長袖の上着と手袋を着用してください。

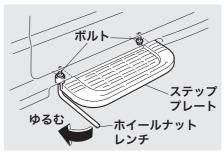
■ ステッププレートの取り外し かた

- 1 パーキングブレーキをしっかりとかけます。セレクトレバーを P に入れ、エンジンを止めます。
- **2** 助手席側のスライドドアを開け、ホイールナットレンチを取り出します。
 - → 7-2ページ (工具、ジャッキの収納場所)



68H70501

- **3** オートステップスイッチを OFF にして、助手席側のスライドドアを 完全に閉めます。
- 4 ステッププレートの裏側奥にあるボルト2本をホイールナットレンチでゆるめ、取り外します。
 - ボルトをゆるめる方向は、上から 見た場合、時計方向となります。
 - ボルトが固くて外れないときは、 無理に外そうとしないで、マツダ 販売店にご相談ください。



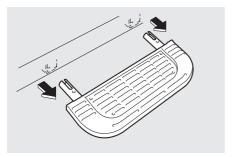
68H70511

ホイールナットレンチを使用した あとは、所定の位置に収納し、 しっかり固定してください。

▲ 注意

ホイールナットレンチは、ボルトの頭 に確実にはめてください。不確実な場 合、レンチが外れて思わぬけがの原因 となります。

- 5 両手でステッププレートを持って、 水平方向に引き抜き、取り外しま す。
 - 取り外したボルトおよびステップ プレートは、点検を受けるまで、 荷室などに収納してください。



68H70521

万一、事故が起きたときは

処置のしかた

- 事故の続発を防ぐため、他の交通の さまたげにならない安全な場所に車を移動し、エンジンを止めます。
- 2 負傷者がいるときは、医師、救急車などが到着するまでの間、安全な場所で応急手当を行ないます。ただし、頭部に傷があるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしてください。その場合でも、後続事故の心配があるときは、安全な場所に移動します。
- 3 事故が発生した場所、状況、負傷者 や負傷の程度などを警察官に報告 し、指示を受けます。
- 4 相手方、事故の状況をメモします。
- 5 ご購入されたマツダ販売店や保険会 社へ連絡します。

外傷がなくても医師の診断を 受けましょう

後遺症が出るおそれがあります。

MEMO

項	目	デ ー タ				
小大 45V	使用燃料	無鉛レギュラーガソリン				
燃料	タンク容量			40 L		
	グレード	オイル名		APIサー ビス分類	SAE粘度	使用温度範囲 (外気温 ℃)
エンジンオイル	クレート	純正モーターオー ゴールデンSN		SM	5W-30	-30~40
21-170		オイル交換時			2.8 L	
	規定量	オイル、オイルフィ ルター同時交換時			3.0 L	
		MT車	ロング	グライフギヤ	'オイル 75	5W-80 (GL-4)
	グレード	3AT車		AT	F (M-III)	
トランス		4AT車		ATF	(JWS3317	7)
オイル		MT車		1.4 L		
	規定量	3AT車	3AT車 3.4 L			
		4AT車 5.5 L				
1 = 3.7 =	グレード	ロングライフギヤオイル 75W-90 (GL-4)				
トランスファー オイル(4WD車)	規定量	パートタイム4WD車	車 1.2 L			
71 170 (1000-7)		フルタイム4WD車	イム4WD車 1.4 L			
	グレード	ロングライフハイ	′ポイ	ドギヤオイ	ル 80W-	-90 (GL-5)
デファレンシャル [†] オイル	規定量	フロント(4WD車)	0.7 L			
*1 172	規正里	リヤ	1.3 L			
	グレード	マツダ純正ロングライフクーラント				
	70 1	スズキ純正スーパーロングライフクーラント(青)				、(青)
			<i>□</i>	·ボなし車	MT車	5.9 L
冷却水		リヤヒーター	, –	小なし半	AT車	5.8 L
사내전대	規定量	付車		ターボ車	MT車	6.0 L
	沈仁里		ノー小半		AT車	6.2 L
		リヤヒーター	MT車 5.2 L		.2 L	
		なし車	AT車 5.1 L		.1 L	

- ●油脂類などの交換時期、規定の冷却水濃度は、「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 指定外のATオイル、冷却水は絶対に入れないでください。
- ◆冷却水は、マツダ純正品とスズキ純正品を混ぜないでください。

項	目		デ ー タ		
点	グレード	ウイン	ンドーウォッシャー液	;	
ウォッシャー液	タンク容量	1.5 L			
ブレーキ液	グレード	ブレ	ノーキフルード BF-3		
スパーク プラグ	タイプ		_KR7BI8(イリジウム XU22HPR(イリジウ	-	
7 77	電極のすき間		0.7~0.8 mm		
バッテリー	タイプ		38B20L		
		ソリッド	基準値(新品時)	12.0 mm	
フロント	ディスク	ディスク	限度値	10.0 mm	
ブレーキ	厚さ(※)	ベンチレーテッド	基準値(新品時)	17.0 mm	
		ディスク	限度値	15.0 mm	
リヤブレーキ	ドラム内径	基準値(新品時)		200.0 mm	
7770-4	(※)	限度値		202.0 mm	
ブレーキ	遊び		$1\sim 6~\text{mm}$		
ペダル	床板とのすき間		方向に115 mm以上 み力 300 N (31 kg	f))	
	遊び	ターボなし車		10~20 mm	
	近り、	ターボ車	10~15 mm		
	床板とのすき間	81~101 m	ım(クラッチが切れた	ことき)	
クラッチ ペダル		遊び 床板とのすき間 68H80040			
パーキング ブレーキレバー	引きしろ	5~8 ノッチ 〔操作力 200 N (20 kgf)〕			
パーキング ブレーキペダル	踏みしろ	6~8 ノッチ (踏み込み力 300 N (31 kgf))			

- 指定外のブレーキ液は絶対に入れないでください。
- ※点検して限度値に達していたら、ディスクやドラムを新品に交換してください。なお、点検するには、ブレーキ装置の分解とマイクロメーターやキャリパーゲージによる測定が必要です。マツダ販売店にご相談ください。

項	目	デ ー タ			
		2公司-松/川	新品時	3∼4 mm	
		発電機側	再張時	5~6 mm	
		エアコン	新品時	6∼7 mm	
		コンプレッサー側	再張時	7∼8 mm	
ファンベルト	たわみ量 (100 N (10 kgf)で 押したとき)	エアコン コンプし	ノ ノ ノッサー側	発電機側 68H80011	
ハンドル	遊び	0 ~ 30 mm(ホイール外周)			
タイヤ	ローテーション 時期	5,000 km走行ごと			

■ 電球の容量

:	名 称	ī	ワット数 (型式)	名 称	ワット数 (型式)
1.0	ハロゲン	Į.	60/55 W(H4)	後退灯	16 W (W16W)
ヘッドライト	ディス	上向き	55 W(H1)	番号灯	5 W(W5W)
	チャージ車	下向き	35 W(D2R)	前席室内灯	8 W
車幅灯		•	5 W(W5W)	後席室内灯	10 W
制動灯/	尾灯		21/5 W(P21/5W)	荷室室内灯	8 W
1 4 14 -	- 00	前面	21 W(PY21W)	ハイマウントストップランプ	5 W(W5W) ×4
方向指示	、器 点滅表示灯	側面(※)	5 W	フォグランプ	35 W(H8)
7 9511371	(/////3X/)	後面	21 W(PY21W)		

※側面の方向指示器/非常点滅表示灯は、ランプ本体の交換となります。

■ タイヤ/ホイール

指定タイヤのサイズと空気圧は、お車のタイプにより異なります。運転席ドアの開口部 に貼付してある「**空気圧ラベル**」で確認してください。

タイヤの空気圧

バンタイプ車

タイヤの	タイヤサイズ	積載条件	空急	表圧
種類	ライドリイス	惧 戦未计	前輪	後輪
標準	145R12 6PR LT	軽積載(※)	240 kPa (2.4 kgf/cm ²)	260 kPa (2.6 kgf/cm ²)
タイヤ	145K12 OPK LI	定積載	260 kPa (2.6 kgf/cm ²)	350 kPa (3.5 kgf/cm ²)
応急用スペ アタイヤ	T125/70D14	_	420 kPa (4.2 kgf/cm ²)	420 kPa (4.2 kgf/cm ²)

[※]軽積載とは、2名以下乗車の場合は積載量150 kg以下、3名以上乗車の場合は積載量50 kg以下を示します。

ワゴンタイプ車

タイヤの	タイヤサイズ	空気圧	
種類	941942	前輪	後輪
標準タイヤ	155/70R13 75S	220 kPa (2.2 kgf/cm ²)	240 kPa (2.4 kgf/cm ²)
保年ダイパ	165/60R14 75H		
応急用 スペアタイヤ	T125/70D14	420 kPa (4.2 kgf/cm ²)	420 kPa (4.2 kgf/cm ²)

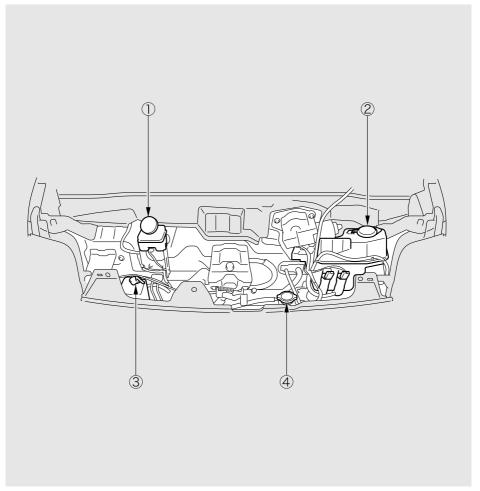
ホイールのサイズ

	適合ホイール			
車のタイプ	タイヤサイズ	リムサイズ	インセット (オフセット)	取付ピッチ円 直径(PCD)
バンタイプ車	145R12	12×4.00B	45 mm	
ワゴンタイプ車・	155/70R13	13×4.50B	50 mm	100 mm
	165/60R14	14×4 1/2J	50 mm	

タイヤチェーン

この車に適合したマツダ純正品を装着してください。適合するタイヤチェーンについては、マツダ販売店にご相談ください。

ボンネットを開けて



68H80020

太字は日常点検が必要な部品の一部です。詳しくはメンテナンスノートをご覧ください。

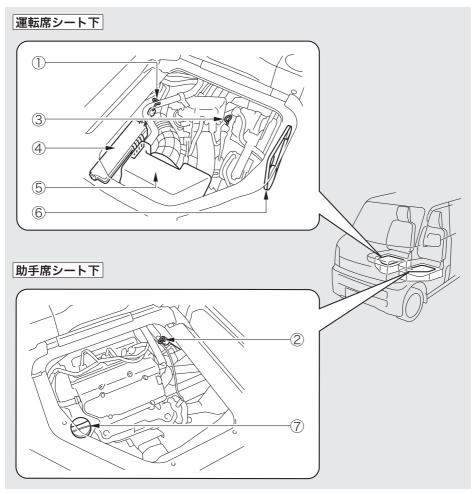
- ①ブレーキフルードリザーバータンク
- ③冷却水リザーバータンク

②ウォッシャータンク

④ラジエーターキャップ

エンジンルームをのぞいて

イラストは代表例です。お車のタイプにより、このイラストと異なることがあります。



68H80031

太字は日常点検が必要な部品の一部です。詳しくはメンテナンスノートをご覧ください。

- ①ATオイルレベルゲージ (ターボ車)
- ②ATオイルレベルゲージ (ターボなし車)
- ③エンジンオイルレベルゲージ

- ④ヒューズボックス
- ⑤エアクリーナー
- ⑥ファンベルト
- ⑦エンジンオイルフィラーキャップ

ア	ABS(アンチロックブレーキシステム)
	警告灯 ・・・・・・・・・3-54、4-24
アームレスト(ひじ掛け)・・・・・・ 5-25	装置 · · · · · · · · · · · 4-22
Rポジション警告ブザー ···· 2-20、3-75	エコドライブ・・・・・・・ 2-29
アクセサリーソケット・・・・・・ 5-21	SRSエアバッグ警告灯
アルミホイール	3-53、4-6、4-21
タイヤ交換7-5	SRSエアバッグシステム ・・・・2-24、4-15
タイヤチェーン・・・・・・・・・ 6-14	エンジンオイル・・・・・・ 2-28、3-56、8-1
アンサーバック機能・・・・・・・・・・ 3-10	エンジン回転計(タコメーター)・・・3-49
アンテナ・・・・・・ 5-14	エンジンキー・・・・・・・・・・3-2
	エンジン警告灯 ・・・・・・・・・・・・ 3-55
	エンジンスイッチ・・・・・・・3-64
1	エンジンのかけかた・・・・・・・3-64
ISOFIX 3-41	エンジンフード(ボンネット)・・・・・3-27
ISOFIXアンカー ・・・・・・・ 3-41	エンジンブレーキ ・・・・・・・・・・・ 2-13
ISOFIX対応チャイルドシート	エンジンルームをのぞいて・・・・・・ 8-6
固定専用金具・・・・・・・ 3-41	エンジンを止めるときは・・・・・・・ 3-67
イベントデータレコーダー(EDR)・・・ 4-22	エンスト・・・・・・ 7-20
インパネセンターポケット・・・・・ 5-23	
インパネトレイ・・・・・・・ 5-21	
インパネフック・・・・・・・ 5-21	才
インパネポケット・・・・・・・ 5-23	 オイル(エンジンオイル)
7277-1717271	2-28, 3-56, 8-1
ウ	取り出しかた、取扱い・・・・・・ 7-3、7-5
ウインドー	オーディオ・・・・・・5-14
ウインドーロックスイッチ・・・・・ 3-23	オートステップ · · · · · · · · 3-16
後席ウインドー・・・・・・・・・ 3-24	オートステップが格納されないときは
	- バステックが特別されないことは - ······7-24
手動ウインドー・・・・・・・・ 3-26	オートステップ警告灯 ・・・・・・・ 3-56
バックウインドーガラスの手入れ・・・6-4	オートステップ言言灯 ・・・・・・・・ 3-30 オートステップ装備車の正しい使いかた
パワーウインドー・・・・・・・・3-22	オートスナック表開車の正しい使いがに
フロントウインドーガラスの手入れ・・・6-3	
ウェアインジケーター・・・・・・6-5	オートマチック車(運転)・・・・・・・3-76
ウォッシャー液・・・・・・ 6-9、8-2、8-5	オートマチック車
ウォッシャースイッチ・・・・・・ 3-61	(セレクトレバー)・・・・・・・3-71
	オートレベリング警告灯・・・・・・ 3-54
T	オーバードライブ(O/D)スイッチ
	OFF表示灯 · · · · · · · · · 3-57、3-73
エアコン、ヒーター	下り坂走行・・・・・・・・3-78
吹出し口5-2	装置 · · · · · · · 3-73
フルオートエアコン・・・・・・5-7	オーバーヒート・・・・・・・・7-17
マニュアルエアコン・・・・・・5-3	オーバーヘッドコンソール・・・・・5-18
AM/FMラジオ ····· 5-15	お子さま用シートの
	シートベルトによる固定 ・・・・・・・ 4-7

オ お子さま用シートの 選択について・・・・・・・・・4-9 お子さまを乗せるときは・・・・・・2-4 オドメーター(積算距離計)・・・・3-49	キー抜き忘れ警告ブザー・・・・・3-67 シートベルト警告ブザー・・・・・4-3 ライト消し忘れ警告ブザー・・・・3-58 携帯電話・・・・・・・・・2-11 警報装置・・・・・・・・・3-19 けん引・・・・・・・・・・・7-20
カードケース・・・・・・・・5-22 外気導入(エアコン、ヒーター)・・5-5、5-10 外装のお手入れ・・・・6-2 ガソリン(燃料)・・・・2-20、8-1 カップホルダー・・・・5-24 仮眠するときは・・・・2-17 冠水した場所・・・・・2-15 寒冷時の取扱い・・・・6-9	エ具・・・・・ 7-2 光軸調整ダイヤル・・・・3-59 後席シート・・・・・3-34 故障したときは・・・・7-19 サービスデータ・・・・8-1 サンバイザー・・・5-19
キー(エンジンキー)・・・・・・3-2 キーインターロック・・・・・3-74 キースイッチ(エンジンスイッチ)・・・3-64 キーナンバープレート・・・・3-2 キー抜き忘れ警告ブザー・・・3-67 キーレスエントリー・・・3-9 キックダウン・・・・3-74、3-78 キャップホルダー・・・・3-31 給油・・・・・2-19、3-30、8-1	シート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
夕空気圧・・・・・・・8-4区間距離計(トリップメーター)・・・3-49くもり取り(リヤデフォッガー)・・・3-63クラッチスタートシステム・・・・3-66クリーブ現象・・・・・・2-20、3-74車のお手入れ・・・・・・6-2グローブボックス・・・・・5-20	後席室内灯・・・・・・・・・・5-17 前席室内灯・・・・・・・・・5-17 荷室室内灯・・・・・・・・・5-17 シフトダウンの上限速度 マニュアル車・・・・・・・・3-70 シフトロック・・・・・・3-72、3-79 ジャッキ(収納場所)・・・・・・・・7-2 ジャッキアップ(タイヤチェーン)・・・6-14 ジャッキアップ(パンクしたとき)・・・・7-7 集中ドアロック(パワードアロック)・・・3-8
ケ 警告灯の見かた ············3-51 警告ブザー Rポジション警告ブザー ··· 2-20.3-75	充電警告灯・・・・・・・3-56樹脂部品の手入れ・・・・・・6-4出発の前に・・・・・・2-2手動ウインドー・・・・・3-26

ジュニアシート・・・・・・・2-5、4-7、4-11	暖機運転 · · · · · · 2-29
ス 水温警告灯・・・・・・・3-54、7-18 スタック(立ち往生)・・・・・・2-16 スピードメーター(速度計)・・・・3-49 スペアタイヤ(応急用スペアタイヤ) 取り出しかた、取扱い・・・・7-3、7-5 スライドレバー・・・・・3-31、3-34	チェーン(タイヤチェーン)・・・・・・6-14 チェンジレバー・・・・・・・3-70 チケットホルダー(サンバイザー)・・・5-19 チャイルドシート・・・・・2-5、4-7、4-11 チャイルドプルーフ・・・・・・3-8 駐車するときは・・・・・2-16、3-79、6-12 チルトステアリング・・・・・・3-47
さ 積算距離計(オドメーター)・・・・・3-49 セキュリティアラーム・・・・3-19 セレクトレバー 位置表示灯・・・・3-57 操作・・・・・・6-2 前照灯(ヘッドライト)・・・3-58 前席シート・・・・・3-31 センターコンソールトレイ・・・5-25	テ 停止表示板・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ク 夕 ターボ車の運転・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ドア・・・・・3-3 ドアミラー・・・・・3-45 ドアミラー角度調節スイッチ・・・3-45 ドアミラー格納スイッチ・・・3-45 ドアミラーヒータースイッチ・・・3-47 ドアロック解除機能・・・3-8 凍結防止剤・・・・6-2、6-13 凍結路・・・・6-11 時計(時計合わせ)・・・5-17
交換したあとは・・・・・・・ 7-10 交換するときは・・・・・・・ 6-5 交換の準備・・・・・ 7-5 チェーン・・・・・ 6-14 ホイールサイズ・・・・ 8-4 ローテーション・・・・ 6-5 タコメーター(エンジン回転計)・・・ 3-49 立ち往生(スタック)・・・・・ 2-16	トリップメーター(区間距離計)・・・3-49 ナ 内気循環(エアコン、ヒーター)・・5-5、5-10 内装のお手入れ・・・・・・・・・6-4 長い荷物を積むとき・・・・・・3-33

日常点検 2-2	必読!・・・・・・2-2 ヒューズ切れ・・・・・ 7-13 表示灯の見かた・・・・ 3-51 日よけ(サンバイザー)・・・・ 5-19
木 燃料・・・・・2-20、8-1 燃料給油口・・・・3-30 燃料計・・・・3-50 燃料残量警告灯・・・3-53 燃料タンク容量・・・・8-1	フ ブースターケーブル・・・・・ 7-11 フォグランプスイッチ・・・・ 3-64 フットレスト・・・・・ 5-25 フューエルキャップ・・・・ 3-30 フューエルリッド・・・・・ 3-30 フルオートエアコン・・・・ 5-7
パーキングブレーキ 寒冷時の取扱い・・・・6-13 操作・・・3-68 ブレーキ警告灯・・・3-52 パートタイム4WD・・・2-25、3-80 灰皿・・・・5-22 ハイドロプレーニング現象・・2-15 はさみ込み防止機構・・3-24 発炎筒・・・・7-19 バックブザー・・3-79	フルタイム4WD・・・・・・・・ 2-25 フルフラットシート・・・・・・・ 3-43 フルホイールキャップ(取付け)・・・ 7-10 フルホイールキャップ(取外し)・・・・7-6 ブレーキ ブレーキ液・・・・・・・ 8-2 ブレーキ管告灯・・・・・・ 3-52 ブレーキ倍力装置・・・2-13、3-67、7-23 ブレーキペダル・・・・・ 8-2 フロントシート・・・・・・ 3-31
バックミラー(ルームミラー)・・・・3-45 バッテリーあがり・・・・・・5-20 パワーウインドー・・・・・3-22 パワーステアリング警告灯・・・・3-55 パワースライドドア・・・・・3-11 パワースライドドア装備車の 正しい使いかた・・・・・2-22 パワードアロック・・・・3-8 パンク(タイヤ交換)・・・・・7-2 ハンドルロックが	へッドライト(前照灯)・・・・・3-58 ヘッドライト上向き表示灯・・・・3-57 ヘッドレスト 後席・・・・3-35 前席・・・・2-5、2-6、4-7、4-10
解除できないときは・・・・・3-65 とター(エアコン)・・・・5-2 吹出し口・・・・・5-2 フルオートエアコン・・・5-7 マニュアルエアコン・・・5-3 非常点滅表示灯スイッチ・・・3-61	ホイールキャップ(取付け)・・・・7-10 ホイールキャップ(取外し)・・・7-6 ホイールサイズ・・・・8-4 方向指示器スイッチ・・・・3-60 方向指示器表示灯・・・3-57 ホーンスイッチ・・・・3-63 ボンネット・・・・・・3-27 ボンネットを開けて・・・8-5

マ	ワット数(ランプ類)・・・・・・・8-3
マニュアルエアコン・・・・・・5-3 マニュアル車(チェンジレバー)・・・3-70 万一のとき・・・・・・7-1	リ リクライニングレバー・・・・・・・3-32 リッド付インパネポケット・・・・・5-23
ミラー ドアミラー・・・・・ 3-45 バニティーミラー・・・・ 5-20 ルームミラー・・・ 3-45	リバース(R)ポジション警告ブザー ・・・・・・・・2-20、3-75 リモコンキーの電池交換・・・・・・6-6 リヤシート・・・・・・・3-34 リヤデフォッガースイッチ・・・・5-12 リヤワイパー/ウォッシャースイッチ・・・・3-62
メーターの照明・・・・・・・ 3-50 メーターの見かた・・・・・ 3-48	ル ルームミラー・・・・・・・・・3-45 ルームランプ(室内灯)・・・・・・5-17
油圧警告灯・・・・・・・ 3-56 雪道を走行するとき・・・・・・ 6-11	レ 冷却水(ラジエーター液) オーバーヒート・・・・・・・ 7-18 寒冷時の取扱い・・・・・・ 6-9 規定水量・・・・・・8-1
横風が強いときは・・・・・ 2-14 4WD車の運転・・・・ 2-25 4WDスイッチ・・・・ 3-80 4WD表示灯・・・・ 3-58	ワ ワイパー 寒冷時の取扱い・・・・・6-9、6-10、6-13 ワイパースイッチ・・・・・・・3-62
ライト消し忘れ警告ブザー・・・・・3-58 ライトスイッチ・・・・・・3-58 ラゲッジサイドポケット・・・・5-26 ラジエーターキャップ・・・・7-18、8-5 ラジオ・・・・・・5-15 ランプ	ワックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・6-2
後席室内灯・・・・・・ 5-17 前席室内灯・・・・・ 5-17 電球の交換(ランプ類)・・・・ 7-17 荷室室内灯・・・・ 5-17 フォグランプ・・・・ 3-64	

MEMO

お問い合わせ、ご相談はお近くのマツダ販売店または、 下記へお願いいたします。

> マツダ(株)コールセンター 全国共通フリーダイヤル

00 0120-386-919

O。0120-386-919 受付時間

平日 9:00~17:00 土・日・祝日 9:00~12:00 13:00~17:00 携帯電話からもご利用になれます。

弊社における個人情報の取扱いは、 弊社ウェブサイトに掲載しています。 (http://www.mazda.co.jp)

発行元マツダ株式会社

〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地3-1 発行 2012年 5月 印刷 2012年 5月 224頁 初版